

取扱説明書

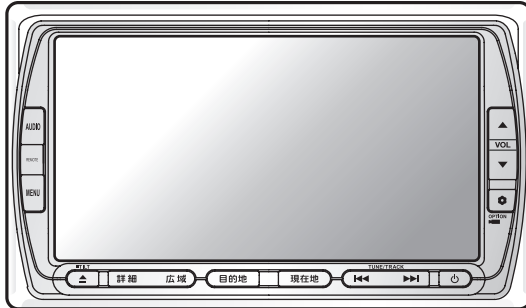
Gathers

Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズSSDナビコンボ

VXS-102VFi

ナビゲーション・オーディオ編



gracenote. **MP3**



Bluetooth®

WMA

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- ・当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合の一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- ・Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い求めの販売店にご依頼ください。
- ・商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ・本機に保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容に従って初期化（データの消去）するようにしてください。

■著作権保護のために…

- ・本機に保存された画像データ／音楽データ等（その他録音データ）を、本書に記載した内容に従って初期化（データの消去）するようにしてください。本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償、及び無償）・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて

個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は
お買い求めの販売店へご相談ください。

本書の構成

本書では、本機をさらに使いこなすための使いかたを説明しています。仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。

はじめに

本書の構成	P.3
本書の見かた	P.4

ナビゲーション・オーディオ編

ナビゲーション編

目的地の設定	P.11
ルートの設定と誘導	P.33
情報を利用する	P.51

オーディオ・ビジュアル編

ラジオを聴く	P.85
テレビを観る	P.91
DVDを観る	P.111
CD・MP3・WMAの音楽を聴く	P.125
MUSIC RACKを使う	P.135
USBメモリーのオーディオを聴く	P.145
iPod [®] を聴く／iPod [®] ビデオを観る	P.149
Bluetoothオーディオを聴く	P.157

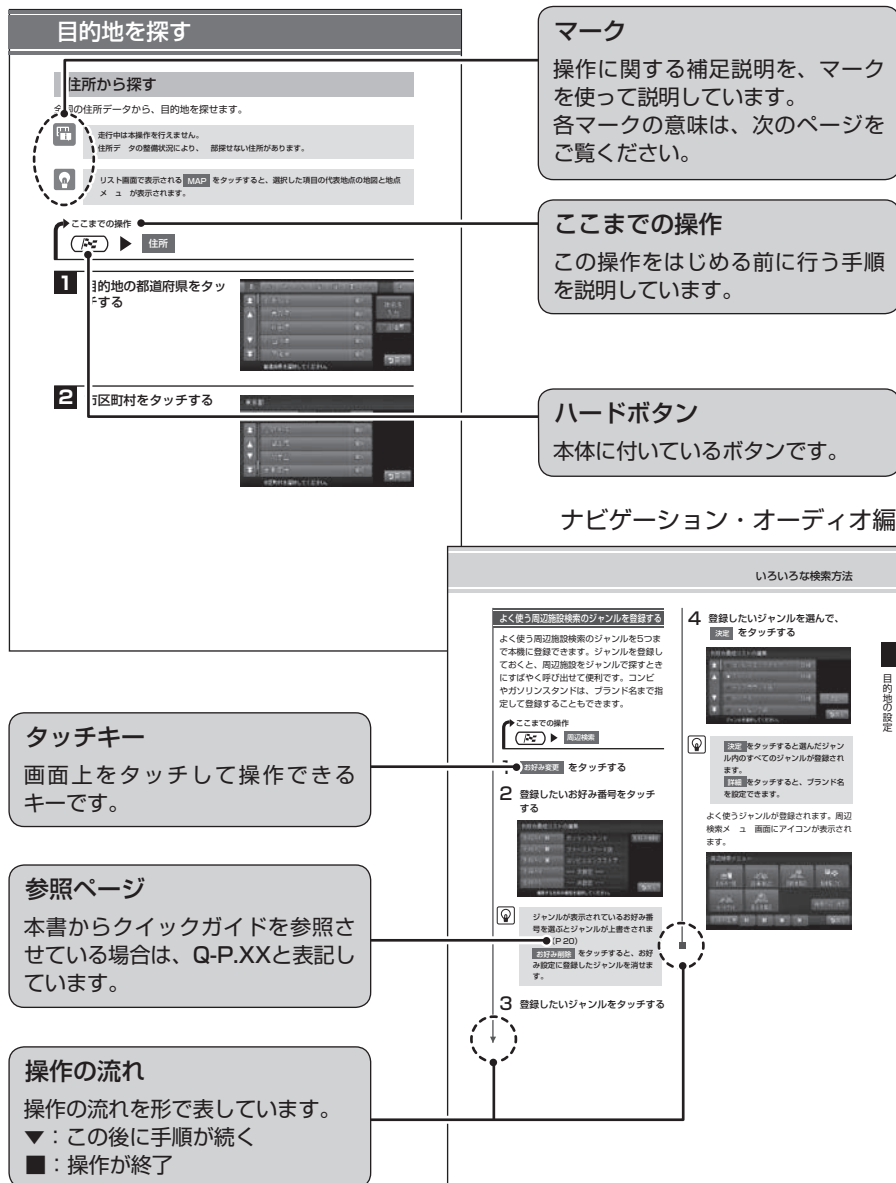
設定編

各種設定	P.163
製品を廃棄・譲渡・転売するときは	P.199
便利な機能（アクセサリ）の使い方	P.201
困ったときに	P.229
付録	P.255
索引	P.268

本書の見かた

本書は、以下のサンプルページのスタイルを基本に作られています。

クイックガイド



マークの意味



用語説明

よく使う用語や分かりにくい用語の意味を説明しています。



お知らせ

操作の前に注意していただきたいことや、知っておいていただきたいことを説明しています。



アドバイス

本機を使いこなすための補足説明です。



警告・注意・お願い

安全のために必ず守っていただきたいことや、お車や本体のために気を付けていただきたいことを説明しています。



注意



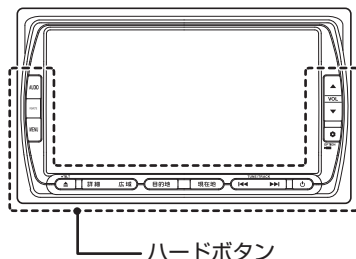
お願い

※各マークの色はクイックガイドとナビゲーション・オーディオ編で異なります。

ハードボタンについて

本体に付いているハードボタンを操作するときは、本書では以下のように表記しています。

例：目的地を押す



ハードボタン

タッチキーについて

本機は、画面を指先で触れるだけで操作ができるタッチパネル形式を採用しています。

画面上のキーをタッチして操作をするときは、本書では以下のように表記しています。

例：住所をタッチする



タッチキー

目次

ナビゲーション・オーディオ編

目的地の設定	11	電話を受ける	81
いろいろな検索方法	12	電話の設定をする	82
電話番号やジャンルから探す	13	ラジオを聴く	85
周辺検索メニューから探す	16	よく聴く放送局を登録して	
その他のメニューから探す	22	利用する	86
登録リストを編集する	28	放送局をリストに登録する	87
登録地点の情報を編集する	28	放送局リストを利用する	88
こんな画面が表示されたら	30	ラジオの設定を変更する	89
検索結果画面表示について	30	受信エリアを切り替える	89
施設情報について	31	テレビを観る	91
ルートの設定と誘導	33	地上デジタル放送とは	92
設定したルートを変更する	34	テレビを視聴する前に	94
ルートを再設定する	35	B-CASカードとは	94
ルートを比較する	36	B-CASカードについて	94
ルートの優先路・計算条件を変える	37	B-CASカードを台紙からはがす	94
設定したルートを編集する	40	B-CASカードを使う	95
経由地の設定をする	40	ワンセグ放送と12セグ放送を	
設定したルートを削除する	45	切り替える	96
設定したルートを確認する	46	ワンセグ／12セグの	
ルートを表示する	46	自動切替機能について	96
ルート上の情報を確認する	48	地上デジタル放送を観る	97
情報を利用する	51	選局する	97
情報メニューを見る	52	よく観る放送局を登録して	
FM VICS情報を利用する	53	利用する	99
ビーコンVICS情報を利用する	57	放送局をリストに登録する	100
ラジオの交通情報を受信する	60	放送局リストを利用する	102
本機の情報を見る	61	メインチャンネル／サブチャンネルを	
メンテナンス情報を利用する	62	選局する	103
ETC情報を利用する	65	便利な放送を利用する	104
電話を利用する	69	データ放送を利用する	
Bluetoothとは	69	(12セグ放送のみ)	104
携帯電話を登録する(ペアリング)	71	緊急放送を観る	105
電話をかける	74	音声を切り替える	106
		地上デジタル放送の	
		受信設定をする	107

地上デジタル放送の設定をする	107	情報を表示する	134
DVDを観る	111	トラック情報、CD-TEXT、 TAG情報を表示する	134
本機で使えるDVD	112	MUSIC RACKを使う ...	135
再生できるディスク	112	MUSIC RACKについて	136
再生できないディスク	112	タイトル表示について	136
いろいろな再生方法	113	録音設定を変更する	137
DVDビデオの再生方法	113	自動録音の設定を変更する	137
DVD-VRの再生方法	114	手動録音の設定をする	138
リピート・スキャン再生をする	115	いろいろな再生方法	139
いろいろな操作方法	116	アルバム・トラックを選ぶ	139
画面サイズを切り替える	116	リピート・スキャン・ ランダム再生をする	141
字幕・音声・アングルを 切り替える	117	アルバム・トラック情報を 編集する	142
DVDビデオの初期設定を 変更する	118	アルバムを編集する	142
モニターサイズを設定する	119	トラックを編集する	144
言語を設定する	120	USBメモリーのオーディオを 聴く	145
パレンタルレベルとパスワードを 設定する	121	USBメモリーの音楽を聴く ...	146
常に再生状態を表示する	124	音楽データの保存方法について ...	146
CD・MP3・WMAの音楽を 聴く	125	USBメモリーについて	146
本機で使えるCD	126	操作画面について	147
再生できるディスク	126	USBメモリーのオーディオを 再生する	148
再生できないディスク	126	iPod[®]を聴く／ iPod[®]ビデオを観る	149
本機で使えるMP3・WMA ...	127	接続できるiPod	150
再生できるMP3・WMAファイル	127	いろいろな再生方法	152
MP3ファイルについて	127	トラックを選ぶ	152
WMAファイルについて	128	リピート・シャッフル再生をする	154
MP3・WMAの記録メディアに ついて	129	情報を表示する	155
いろいろな再生方法	131	トラック情報を表示する	155
フォルダ、トラックを選ぶ	131	iPodの接続方法を切り替える	156
リピート・スキャン・ ランダム再生をする	133	接続方法を切り替える	156

目次

Bluetoothオーディオを聴く

Bluetoothオーディオを使う	157
Bluetoothオーディオを使う	158
Bluetoothオーディオを本機に 登録する（ペアリング）	158
操作画面について	161
Bluetoothオーディオを再生する	162

各種設定 163

ナビゲーションの設定をする	164
ナビ画面の設定をする	165
地図上のアイコンの設定をする	168
走行軌跡の設定をする	170
走行中の地図の設定をする	171
ルート案内画面の設定をする	173
音声案内の設定をする	175
VICS情報の設定をする	177
ETCの設定をする	181
その他の設定をする	183
特別設定をする	188
OPTIONボタンの操作方法	190
オーディオの設定をする	191
音質を設定する	191
画面の設定をする	194
画面の設定をする	194
スクリーンの設定をする	196
オープニング画面を設定する	198

製品を廃棄・譲渡・

転売するときは 199

データを消去（初期化）する	200
ナビゲーション内のデータ消去に ついて	200

便利な機能（アクセサリ）の 使い方 201

オーディオリモコンスイッチを

使う	202
スイッチの使い方	202
リモコンを使う（別売）	204
各部の名称とはたらき	204
リモコンを操作する	206
接続したビデオを観る（別売）	208

VTR機器／ポータブルオーディオを 接続して使う	208
VTR機器接続の設定を切り替える	210

リア席モニターを使う（別売）

リア席モニターに表示できる映像	211
-----------------	-----

リアカメラシステムを使う 212

リアカメラシステムの操作	213
--------------	-----

フロントカメラ／

コーナカメラを使う（別売）

カメラ映像を自動で映し出させる	215
カメラ画面について	217
カメラ映像を手動で映し出させる	218

SDカードを使う（別売） 219

利用可能なSDカード	219
SDカードに関するご注意	219
SDカードのデータを編集する	220

アルバム情報の取り込み／書き出し	221
------------------	-----

オープニング画面の取り込み／削除	222
------------------	-----

登録地点の取り込み／書き出し	224
----------------	-----

登録地点の編集	225
---------	-----

スクリーンデータの取り込み／削除	226
困ったときに… ..	229
自車位置がずれていたら	230
自車位置のずれを修正するには	230
3Dセンサーによる上下道路判定に ついて	230
自車位置の精度について	231
故障かなと思ったら	235
ナビゲーション関連	235
オーディオ関連	237
電話	241
リアカメラシステム	242
フロントカメラ／コーナーカメラ システム	243
その他	243
よくある質問について (Q&A)	244
エラーメッセージ一覧	251
付録.....	255
収録データベースについて ...	256
VICSシステムの問い合わせ先	259
VICS情報有料放送サービス 契約約款	260
カントリーコード一覧	261
お手入れ	262
仕様	263
商標について	265
索引	268

Memo



ナビゲーション編

目的地の設定

本機では、さまざまな方法で目的地を検索できます。

いろいろな検索方法	12
登録リストを編集する	28
こんな画面が表示されたら…	30

いろいろな検索方法

本機に収録されているデータから、効率良く目的地を探し出すことができます。



- 検索結果として表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を示しています。そのため、そのまま目的地として設定すると、まれに施設の裏側や高速道路上など、車で行くのに適さない場所に誘導されることがあります。あらかじめご了承の上、目的地付近の経路をお確かめいただくよう、お願いいたします。



- 目的地や経由地を道路上に設定するときは、国道・主要地方道路・都道府県道路・主要一般道路・高速道路・有料道路に設定してください。

目的地を設定すると、以下のような地点メニュー画面が表示されます。



ここに行く をタッチすると、目的地までのルートが設定され、ルート案内が開始されます。
(Q-P.64)

また、目的地までのルートの条件を変更することもできます。(P.33)

電話番号やジャンルから探す

ここまでの操作

目的地



タッチキー	検索方法	参照ページ
電話	目的地の電話番号を入力して探す	P.14
住所	住所を入力して探す	Q-P.54
名称	行きたい施設の名称を入力して探す	Q-P.57
ジャンル	ジャンルを選択して施設を探す	P.14
登録リスト	本機に登録した地点から探す	Q-P.58
周辺検索	自車位置や目的地などの周辺の施設を探す	P.16
履歴	過去に表示した地図の履歴から探す	P.15
その他	ハイウェイや緯度経度などから探す	P.22
お気に入り	よく行く地点から探す	Q-P.61
自宅へ戻る	自宅を目的地として設定する	Q-P.53
目的地解除	目的地を解除する	P.45



- 走行中は選択できる項目が限定されます。
- 目的地メニュー画面は、レイアウトや表示内容を変更することができます。詳しくは「スクリーンの設定をする」(P.196)をご覧ください。

電話番号から探す



- 携帯電話やPHSの電話番号からは目的地・地点を探せません。
- 電話帳に掲載されていない電話番号では目的地・地点を探せません。
- データの整備状況により、探せない施設や位置が正確ではない施設があります。
- 敷地が広大である場合や近くに道路がない場合など、位置が正確ではない施設の場合、警告音と共に「ピンポイントのデータではありません…」というメッセージが表示され、その後に地図が表示されます。このとき地図に示された位置はおおよその位置であり、正確な施設の位置とは異なります。ご注意ください。
- 電話番号で目的地・地点を探したときに、複数の施設が見つかる場合があります。この場合は、施設がリストで表示されるので、リストから目的の施設を選択してください。

ここまでの操作

目的地

電話

1 目的地の電話番号を市外局番から入力する



2 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

ジャンルから探す

「食べる・飲む」、「遊ぶ・見る」などのジャンルを選択して、該当する施設を探します。

ここまでの操作

目的地

ジャンル

1 ジャンルをタッチする



2 施設のジャンルをタッチする



選択したジャンル内に詳細なジャンルがない場合は、施設リスト画面が表示されます。手順3に進んでください。



- **詳細** をタッチすると、さらにジャンルを選択できます。

3 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。



- 対象となる施設の数が1万件を超えた場合は、都道府県を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県をタッチしてください。

■キーワードを入力してジャンルを絞り込む

施設に関連した言葉をキーワードとして入力し、ジャンルを絞り込みます。

ここまでの操作

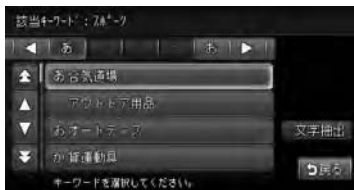


1 キーワードを入力して **決定** をタッチする



- キーワードの入力途中でも対象が絞られた場合は、自動的にジャンルのリストが表示されます。

2 目的のジャンルをタッチする



3 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。



- 似た名前の別のジャンルに目的の施設データが含まれる場合があります。目的の施設が見つからない場合は、似た名前のジャンルも探してみることをおすすめします。
- 対象となる施設の数が1万件を超えた場合は、都道府県を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県をタッチしてください。

履歴から探す

今まで目的地として設定した地点の一覧から探します。

ここまでの操作



1 目的の地点をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。



- **地点削除** をタッチすると、地点を選択して履歴から削除できます。
- 履歴は最大10件まで保存されます。

周辺検索メニューから探す

自転車位置や目的地などの周辺の施設を検索できます。

→ここまでの操作

目的地

▶ 周辺検索

またはナビゲーションコントロールバーの

周辺検索



タッチキー	検索方法	参照ページ
お好み一括	お好み最短リスト (P.17) に登録されているすべてのジャンルの施設を、自転車周辺で一括して探す	P.18
お好み最短検索	お好み最短リスト (P.17) に登録されているジャンルの施設をジャンルごとに探す	P.18
自転車周辺 目的地周辺 表示先周辺	自転車、目的地、地図をスクロールさせた表示先周辺の施設をジャンルごとに探す	P.19
駐車場ニアピン	目的地に最も近い駐車場を探す	P.19
駐車場リレー検索	目的地として設定した駐車場が満車などで使用できない場合、その周辺の他の駐車場を探す	P.20
ルートサイド	目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定する	P.21
検索アイコン消去 *	検索アイコンの表示を地図上から消去する	—

※「検索アイコン」とは、周辺検索で検索した施設のアイコンの上に矢印が付いたものです。



- 目的地が設定されていない場合は、周辺検索メニューで選択できる項目は限定されます。
- 走行中はナビゲーションコントロールバーの **周辺検索** から「お好み検索」の各アイコンのみ選択できます。アイコン選択時は検索した施設を地図上に表示します。

よく使う周辺施設検索のジャンルを登録する

よく使う周辺施設検索のジャンルを5つまで本機に登録できます。ジャンルを登録しておくと、周辺施設をジャンルで探すときにすばやく呼び出せて便利です。コンビニやガソリンスタンドは、ブランド名まで指定して登録することもできます。

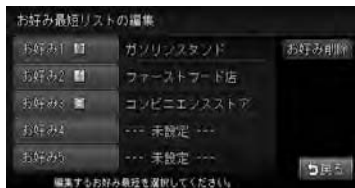
ここまでの操作

目的地 ▶ 周辺検索

1 お好み変更 をタッチする

お好み最短リストが表示されます。

2 登録したいお好み番号をタッチする

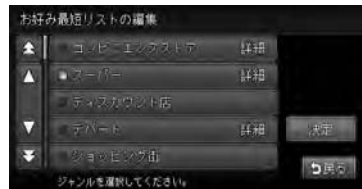


- ジャンルが表示されているお好み番号を選択すると、ジャンルが上書きされます。
- **お好み削除** をタッチすると、お好み設定に登録したジャンルを削除できます。

3 登録したいジャンルをタッチする

4 登録したいジャンルを選択して

決定 をタッチする



- **決定** をタッチすると、選択したジャンル内のすべてのジャンルが登録されます。
- **詳細** をタッチすると、ブランド名を設定できます。

よく使うジャンルが登録され、周辺検索メニュー画面に選択したジャンルのアイコンが表示されます。



よく使うジャンルから探す

「よく使うジャンル」として登録したジャンルで、現在地周辺の施設を探せます。周辺100km以内の地域で、最大100件までの施設を探せます。

ここまでの操作

目的地 ▶ 周辺検索

1 お好みのジャンルのアイコンをタッチする



2 施設をタッチする

3 決定 をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

よく使うジャンルを一括で探す

「お好み設定」に登録されたすべてのジャンルの施設を、現在地周辺10km以内の地域で1ジャンルにつき5件まで一括で探せます。



- 「お好み設定」にジャンルを登録するには、「よく使う周辺施設検索のジャンルを登録する」(P.17)をご覧ください。

ここまでの操作

目的地 ▶ 周辺検索

1 お好み一括 をタッチする

2 行きたい施設のジャンルをタッチする



- ジャンルのキーをタッチすると、次の候補施設が表示されます。
- ガイド** をタッチすると、施設の情報が表示されます。
- 地図は北方向上向きで表示されます。表示されている地図を拡大・縮小できますが、地図をスクロールしたり、向きを変えたりすることはできません。

3 施設の場所を確認して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

現在地・目的地・地図表示位置周辺から探す

現在地・目的地・地図をスクロールして表示した先の周辺にある施設を探します。

ここまでの操作

目的地 ▶ 周辺検索 ▶
 自車周辺、目的地周辺、表示先周辺

のいずれか



- 目的地を設定していない場合は、**目的地周辺** は表示されません。

1 施設のジャンルをタッチする

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

2 目的の施設をタッチする



- 施設の名前の横に施設までの距離と方向が表示されます。

3 場所を確認して **決定** をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

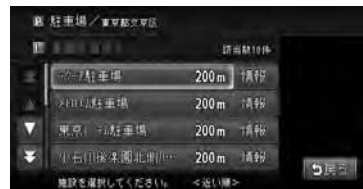
目的地周辺の駐車場を探す

目的地に最も近い駐車場を目的地として設定できます。目的地の半径800m以内にある駐車場を最大10件まで探します。目的地までのルートが設定されていないと、この操作はできません。

ここまでの操作

目的地 ▶ 周辺検索 ▶
駐車場2アピン または地点メニューの **P**

1 行きたい駐車場をタッチする



- 駐車場の名前の横に駐車場までの距離が表示されます。

2 場所を確認して **決定** をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。



- **前の駐車場**、**次の駐車場** をタッチすると候補の前／次の駐車場が表示されます。
- 目的地は黄色い旗、駐車場は白い旗で表示されます。

別の駐車場を探す(駐車場リレー検索)

ジャンル検索、お好み最短検索、駐車場ニアピンで、目的地として設定した駐車場が満車のときに、別の駐車場を探します。



- 以下の場合には、駐車場リレーは解除されます。
 - 目的地を解除または変更した場合
 - **他の駐車場** が表示されている状態で車のエンジンスイッチを切った場合
 - 一度目的地に近づいてから1km以上離れた場合
 - 目的地周辺に他の駐車場がなく、駐車場ニアピンで検索した場合、この操作はできません。

1 目的地到着後、**他の駐車場** をタッチする



周辺の駐車場が、地図上に10件まで表示されます。

2 行きたい駐車場を選択して **決定** をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。



- 目的地は黄色い旗、駐車場は白い旗で表示されます。
- **前の駐車場** をタッチすると前の駐車場、**次の駐車場** をタッチすると次の駐車場が表示されます。
- 一度行った駐車場は、水色のアイコンから赤の横線のあるアイコンに変わって区別されます。目的地を解除するか、エンジンを切ると、アイコンの色区別は解除されます。

ルート沿いの施設を探す

目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定できます。立寄地は目的地までのルート沿いにある施設のことで、経由地とは異なります。
目的地までのルートが設定されていないと、この操作はできません。



- 立寄地に近づく、メロディなどの音声で案内されます。
- ルートを再計算すると、立寄地は解除されます。

ここまでの操作



1 ジャンルをタッチする

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

2 目的の施設をタッチする



- 施設の名前の横に施設までの距離と方向が表示されます。

3 場所を確認して 立寄地に設定 をタッチする



地図上の立寄地に **立寄地点** というアイコンが表示されます。



目的地の設定

その他のメニューから探す

緯度・経度や郵便番号を入力して目的地を検索できます。

→ここまでの操作

目的地



その他



タッチキー	検索方法	参照ページ
ハイウェイ	サービスエリア、高速道路の入り口・出口などを探す	P.23、 P.24、 P.25
緯度・経度	目的地の緯度・経度を入力して探す	P.25
郵便番号	目的地の郵便番号を入力して探す	P.26
マップコード	目的地のマップコードを入力して探す	P.26
メモリーカードから	メモリーカード内の登録地を目的地に設定する	P.27



- 走行中は、本操作を行えません。
- **ハイウェイ** から目的地検索を行うと、検索結果として道路の分岐点や合流点上の地点が表示されることがあります。この場合、適切なルートとならないことがありますので、地点の位置を適宜調整していただくようお願いいたします。

道路名から探す

ハイウェイの施設を、道路名や路線図から検索して探します。

ここまでの操作



1 道路別 をタッチする

2 道路の種類をタッチする

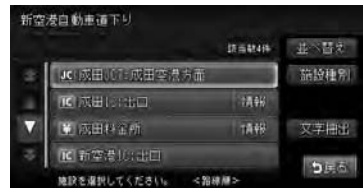


- **高速道路** をタッチした場合でも、高速道路以外の有料道路が目的地候補として表示される場合があります。

3 路線をタッチする



4 目的の施設をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

目的地の設定

ハイウェイの最寄りの入り口から探す

現在地の近くにあるハイウェイの入り口を探します。



1 最寄りの入り口 をタッチする

2 入り口をタッチする



• 入り口までの距離と方向が表示されます。

3 場所を確認して **決定** をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

目的地周辺のハイウェイの出口を探す

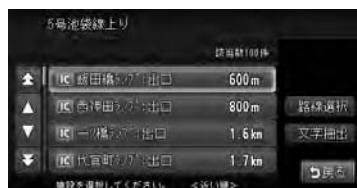
目的地周辺にあるハイウェイの出口を探します。

目的地が設定されていないと、この操作はできません。



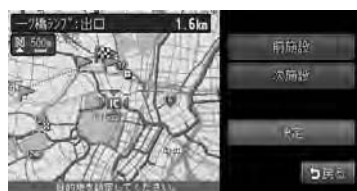
1 目的地周辺出口 をタッチする

2 施設をタッチする



• 出口までの距離が表示されます。

3 場所を確認して **決定** をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

ハイウェイの施設名から探す

ハイウェイの施設名を入力して探します。

ここまでの操作



1 名称 をタッチする

2 施設の名称を入力して 決定 をタッチする

3 施設をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

緯度・経度から探す

ここまでの操作



1 北緯と東経を入力して 決定 をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

郵便番号から探す

ここまでの操作

目的地 ▶ その他 ▶ 郵便番号

1 郵便番号を入力して **決定** をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。



- 入力した郵便番号に該当するデータが見つからない場合は、メッセージが表示されて郵便番号の入力画面に戻ります。

マップコードから探す

マップコードから目的地を探します。本機では、標準、高精度どちらのマップコードにも対応しています。マップコードは、出版物などで調べられます。



- マップコード……6～12桁の数字と*で構成された、地点を表すコードのこと。6～10桁のコードを標準マップコード、12桁のコードを高精度マップコードと呼び、場所を表す精度が異なります。

ここまでの操作

目的地 ▶ その他 ▶

マップコード

1 マップコードを入力して **決定** をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。



- マップコードに関するお問い合わせ先は以下のとおりです。
ホームページ：
<http://guide2.e-mapcode.com/>
電話：
0566-61-4210（株式会社デンソー MCプロジェクト）

SDカードから探す

別売のSDカード（メモリーカード）に保存した登録地点から目的地を探します。



- SDカードに登録地がすでに保存されている必要があります。SDカードに地点を登録する方法については、「登録地点を書き出す」（P.224）をご覧ください。
- SDカードの操作について詳しくは、「SDカードを使う（別売）」（P.219）をご覧ください。
- インターナビのパーソナル・ホームページから取り込んだ登録地を表示させるには、インターナビメニューの「地点情報カード取り込み」から地点を本機に取り込む必要があります。詳しくは取扱説明書のインターナビ・プレミアムクラブ編をご覧ください。

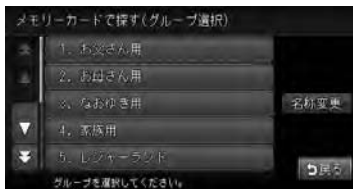
ここまでの操作

目的地

▶ その他 ▶

メモリーカードから

1 目的の登録地点が含まれているグループをタッチする



2 地点をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

目的地の設定

登録リストを編集する

登録地点の情報を編集する

地点のデータを編集する

ここまでの操作

目的地

登録リスト

1 編集したいグループをタッチする
グループを設定していない場合は、手順2に進んでください。

2 編集 をタッチする



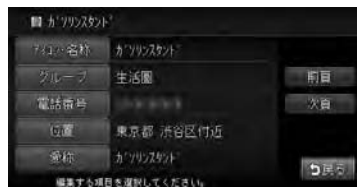
3 データ編集 をタッチする



4 編集したい登録地点をタッチする



5 編集したい項目をタッチして、登録地点の内容を編集する



アイコン・名称 :

アイコン選択画面が表示されます。アイコンを選択して **決定** をタッチすると、名称入力画面が表示されます。自宅に設定したアイコンは変更できません。

グループ :

グループ選択画面が表示されます。登録地を所属させるグループを選択して **決定** をタッチします。

電話番号 :

電話番号入力画面が表示されます。電話番号を入力して、**決定** をタッチします。

位置 :

位置調整画面が表示されます。位置を調整して、**決定** をタッチします。

愛称 :

カナ入力画面が表示されます。愛称を入力して **決定** をタッチします。

音声選択 :

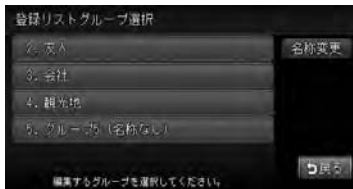
車が登録地に近づいたときの音声案内の種類を設定します。音声選択画面から音声を選択して **決定** をタッチします。

グループの名称を編集する

ここまでの操作

目的地 ▶ 登録リスト

- 1 いずれかのグループをタッチする
- 2 **編集** をタッチする
- 3 **グループ編集** をタッチする
- 4 **名称変更** をタッチする



- グループ名をタッチすると、グループに所属させる登録地点を変更できます。

- 5 名称を変更するグループをタッチする



- 6 名称を入力して **決定** をタッチする
- グループの名称が変更されます。

リストから地点を削除する

ここまでの操作

目的地 ▶ 登録リスト

- 1 **グループ** をタッチする
グループを設定していない場合は、手順2に進んでください。
- 2 **編集** をタッチする
- 3 **地点削除** をタッチする
- 4 削除する地点を選択して **決定** をタッチする



- **アイコン選択** をタッチすると、アイコンを選択して登録地点を絞り込めます。

- 5 **はい** をタッチする
選択した地点が登録リストから削除されます。

こんな画面が表示されたら…

検索結果画面表示について

施設によっては、目的地検索後に以下のメッセージが表示される場合があります。

「ピンポイントのデータではありません。周辺の地図を表示します。実際の場所とは大きく異なる場合があります。」

ピンポイントで地点を検索できなかった場合に表示されます。正確な位置ではありませんので、施設位置をご確認の上、位置調整をしてください。

「施設入口地点を表示します。」

表示されている場所が施設の入口であるため、そのまま目的地として設定すると、車で走行するには適さない場所に誘導される場合があります。

「経路誘導に最適な地点を表示します。」

目的地が（山の上など）誘導に適さない場所にある場合、車で行ける最適な地点を表示します。

目的地と誘導地点が離れている場合は、誘導地点が地図画面の中心に表示され、目的地は黄色の旗で表わされます。



専用駐車場や契約駐車場を併設した施設を選択すると、地図表示の前に駐車場のリスト画面が表示されることがあります。この場合、施設または駐車場を選択すると、それぞれの場所の地図が表示されます。駐車場を選択した場合は、中心位置に駐車場地点が、目的地施設の地点に黄色の旗が表示されます。

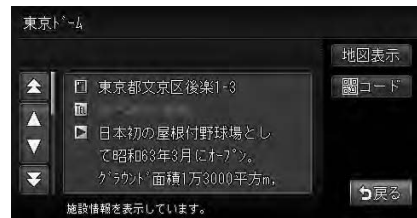
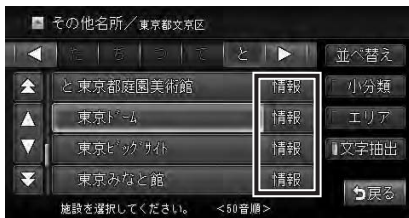


施設情報について

情報 を利用する

目的地を探すときに表示される施設リスト画面に、**情報** が表示されている施設には、住所や電話番号などの施設情報が登録されています。

情報 をタッチすると、施設情報画面が表示されます。



電話番号が登録されているときにBluetooth対応携帯電話を接続すると表示され、タッチして電話をかける
詳しくは、「電話を利用する」(P.69)をご覧ください。

地図表示

施設の地図と地点メニューを表示する

コード

QRコードを表示する

QRコードとは、携帯電話のカメラなどで読み取れるバーコードのことです。QRコードを利用して、施設地図情報やガイド情報を携帯電話で確認できます。詳しくは、「施設情報をQRコードで読み取る」(P.32)をご覧ください。

こんな画面が表示されたら…

前施設 次施設 、 施設情報 を利用する

施設リスト画面から目的の施設をタッチした後に表示される地図画面に、**前施設** **次施設**、**施設情報** が表示されることがあります。

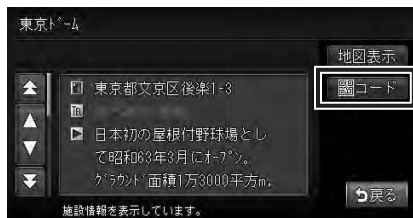


前施設 次施設	施設リストの前後の施設を表示する
施設情報	登録されている施設の情報を表示する

施設情報をQRコードで読み取る

施設情報画面で **コード** をタッチすると、施設情報が含まれたQRコード（携帯電話のカメラなどで読み取れるバーコード）が表示されます。

地図情報 または **ガイド情報** をタッチして携帯電話でQRコードを読み取ると、施設情報の詳細を確認できます。



地図情報	施設の地図情報を携帯電話に表示する
ガイド情報	施設のガイド情報を携帯電話に表示する
縮小	QRコードを縮小表示する



ナビゲーション編

ルートの設定と誘導

目的地を探したら、ルートを設定します。ルートが設定されると案内が始まりますので、ルート案内に従って走行してください。

設定したルートを変更する	34
設定したルートを編集する	40
設定したルートを確認する	46

設定したルートを変更する

設定したルートを、好みの条件で計算しなおします。

ここまでの操作

ナビゲーションコントロールバーの **ルート**



タッチキー	設定の内容	参照ページ
再計算	現在の計算条件で、ルートを再設定する	P.35
有料優先	有料道を優先して、ルートを再設定する	P.35
一般優先	一般道を優先して、ルートを再設定する	P.35
迂回計算	渋滞など、現在地から10km以内の避けたい場所を迂回するルートを設定する	P.35
複数計算	計算条件を変えて、最大6つのルートを表示する	P.36
計算条件	設定したルートの計算条件を変更する	P.37
ルート編集	経由地の追加や削除、目的地の位置を修正する	P.40
経由地削除	経由地を削除する*	P.44
ルート確認	設定したルート上を、画面上で移動しながら確認する 現在地から目的地までのルートを全体表示する	P.46
走行デモ	設定したルート上をデモ走行する	P.47
目的地解除	設定した目的地を解除する	P.45

※経由地を設定したルートを走行中に表示されます。



• 走行中は選択できる項目が限定されます。

ルートを再設定する

計算条件を変えずに再設定する

設定したルートと同じ条件で再計算します。オートリルート機能が「しない」に設定されているときに、ルートから外れてしまった場合に便利です。オートリルート機能については、「ルート案内画面の設定をする」(P.173)をご覧ください。



- 立寄地が設定されている場合、ルートを再設定すると、立寄地の設定は解除されます。

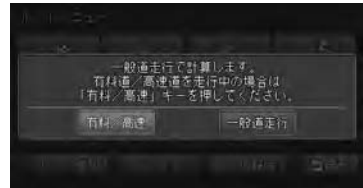
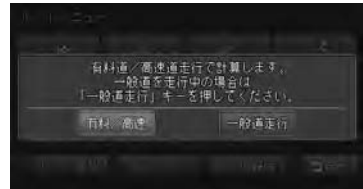
ここまでの操作

ルート



再計算

現在の条件でルートが再計算されます。



迂回ルートを再設定する

渋滞など、避けたい場所を迂回したルート(現在地から10km)を再計算できます。



- 別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続している場合、あらかじめ渋滞考慮計算を適用しておくと、ビーコンからのVICS渋滞情報を考慮した迂回ルートが設定されます。渋滞考慮計算の設定については、「ルート案内画面の設定をする」(P.173)をご覧ください。

優先路を変更して再設定する

オートリルート機能が「しない」に設定されているときに、ルートから外れてしまった場合、優先的に走行するルートを選んで、ルートを設定しなおせます。オートリルート設定については、「ルート案内画面の設定をする」(P.173)をご覧ください。

ここまでの操作

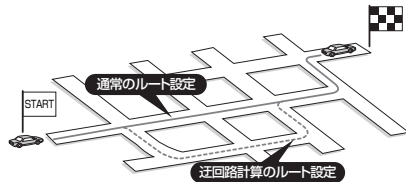
ルート



有料優先 または

一般優先

選択した道路を優先してルートを再計算します。



ここまでの操作

ルート



迂回計算

迂回するルートが再計算されます。



- 現在地の近くに有料道路がある場合に以下の画面が表示されます。現在走行中の道路をタッチしてください。

ルートを比較する

複数のルートを比較する

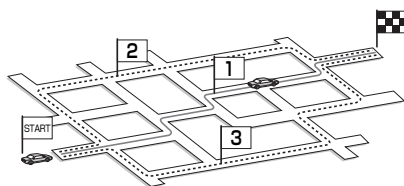
計算条件を変えて、最大で6つのルートを計算します。複数のルートの中から好みのルートを選んで設定できます。目的地の位置によっては、6つのルートを表示できない場合もあります。また、6つのルートの内容がすべて同じになる場合もあります。



- ルートに経由地を設定している場合は、複数ルートの計算はできません。
- 複数ルートには料金が表示されますが、一部の有料道路や変則的な料金体系の高速道路には対応していない場合があります。そのため、表示される料金は実際の料金と異なる場合があります。

6つのルート計算条件は、以下のとおりです。

- 1: 有料道路、標準
- 2: 一般道路、標準
- 3: 有料道路、標準2 (1の別ルート)
- 4: 一般道路、標準2 (2の別ルート)
- 5: 有料道路、距離優先
- 6: 一般道路、距離優先



ここまでの操作

ルート ▶ 複数計算、
または地点メニューの 複数計算

1 希望のルートを選択してタッチし、**決定** をタッチする



- 各ルートには、総走行距離と料金が表示されます。実際の料金が表示より高い可能性がある場合は、「¥〇〇以上」と表示されます。
- 地図では、複数のルートが色別に表示されます。ルートを選択すると、選択したルートが前面に表示されます。

2 案内開始 をタッチする



選択したルートが設定されます。

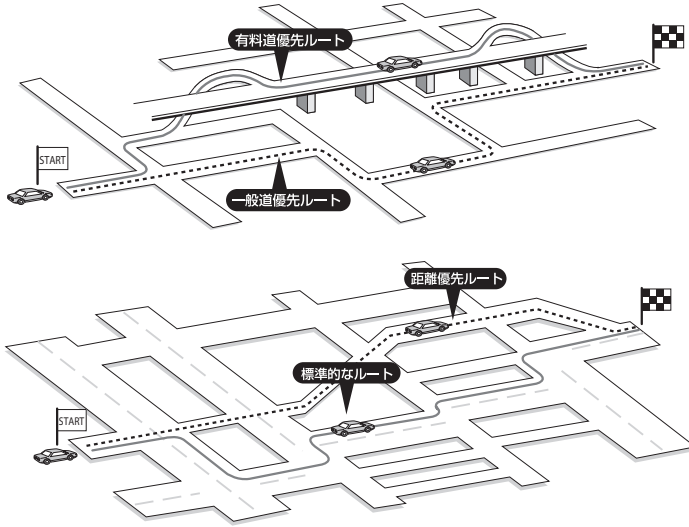


- 地図の拡大／縮小やスクロールでルートを確認できます。

ルートの優先路・計算条件を変える

計算条件を変える

計算条件を細かく指定して変え、ルートを設定できます。



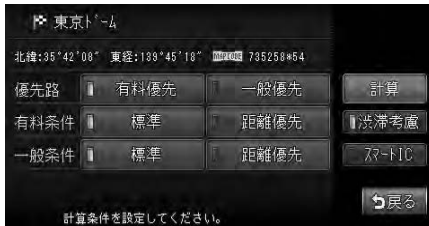
ここまでの操作

ルート



計算条件

計算条件を選択し、**計算** をタッチすると、選択したルートが設定されます。



設定したルートを変更する

設定できる計算条件は以下のとおりです。

設定項目	設定の内容	設定値
優先路	有料道路と一般道路のどちらを優先するかを設定する	有料優先／一般優先
有料条件	〔優先路〕で 有料優先 を選択した場合の詳細な計算条件を設定する	標準：標準条件 距離優先：距離を優先
一般条件	〔優先路〕で 一般優先 を選択した場合の詳細な計算条件を設定する	
区間設定	経由地を設定した場合に、区間ごとに優先路を設定する	する／しない
スマートIC ^{※1}	利用できるスマートICを考慮してルート計算をする ^{※2}	利用する／利用しない
渋滞考慮 ^{※3}	インターナビ交通情報やビーコンVICSの渋滞情報を考慮してルート計算をする	する／しない

※1 スマートICとは、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアなどから一般道路に出入りできるETC専用のインターチェンジです。

※2 スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所があります。そうしたスマートICでは、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、それらを考慮したルート計算は行っていないかもしれません。ご利用の際はご注意ください。

※3 渋滞情報を考慮するには、インターナビ交通情報を受信しているか、VICS光・電波ビーコンユニットが接続されている必要があります。



- **有料優先** を選択しても、有料道路を使わないルートが設定される場合があります。
- **一般優先** を選択しても、有料道路を使うルートが設定される場合があります。
- 道路状況によっては、計算条件を変えても同じルートが設定される場合があります。また、道路状況によっては設定どおりのルートが計算されない場合があります。
- 現在地が有料道路上にある場合、または近くに有料道路がある場合は、一般道路と有料道路のどちらを走行しているかを確認する画面が表示されます。走行している道路のキーをタッチすると、その条件で計算されます。
- スマートICは、ETC車載器を搭載した車両のみご利用できます。
- 計算条件画面でスマートICをオンの状態に設定した場合に、スマートICを含むルートの計算を行うと確認画面が表示されます。営業時間を確認して、**はい** または **いいえ** を選択してください。

経由地ごとに優先路を設定する

経由地を設定した場合は、区間ごとに優先路を設定できます。経由地の設定については、「経由地を追加する」(P.42)をご覧ください。

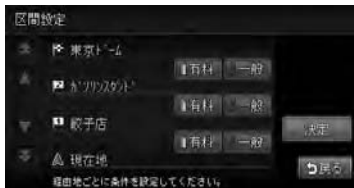
ここまでの操作

ルート ▶ 計算条件

1 [区間設定] の **する** をタッチする



2 経由地ごとの優先路を設定する



3 **決定** をタッチする

4 **計算** をタッチする

設定した条件でルートが再計算されます。

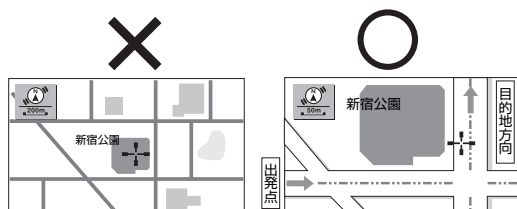
設定したルートを編集する

経由地の設定をする

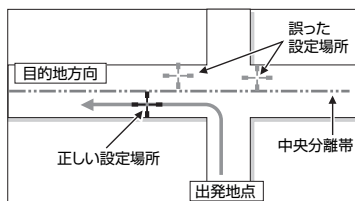
ルートの途中で寄り道をしたいときなど、ルートに経由地を5つまで設定できます。設定された順番に経由地を通り、目的地に向かうルートが計算されます。また、目的地の位置を修正することもできます。

経由地を設定してルートを変える際には、以下のことにご注意ください。

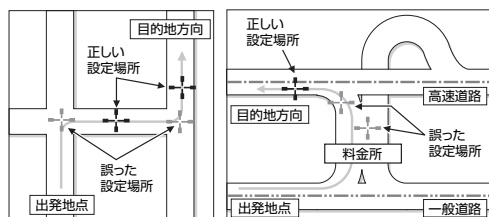
1. 経由地を設定するときは、国道・主要地方道路・都道府県道路・主要一般道路・高速道路・有料道路に設定してください。
2. 施設を経由地として設定した場合、経由地までの道路が細街路のときは、施設近くの経路対象道路を通るルートが計算されます。



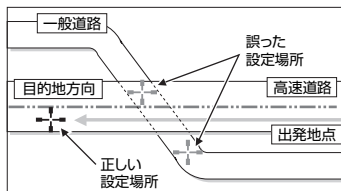
3. 上下線や一方通行路に経由地を設定するときは、車線を正確に設定してください。



4. 交差点やインターチェンジなどに経由地を設定しないでください。交差点やインターチェンジ付近に経由地を設定したい場合は、目的地方向に少し離れた道路に設定してください。



5. 高速道路と一般道路が交差している場所や、高速道路が一般道路上に高架になっている道路には、経由地を設定しないでください。



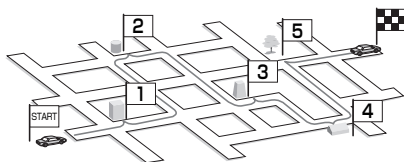
- 設定した経由地を通過しないで先に進んだ場合、通過しなかった経由地に向かって、ルートが自動的に設定されることがあります。
- ルート編集後に計算条件画面で **計算** をタッチせずに終了すると、設定済みのルートは計算されず、ルート案内は始まりません。

経由地を追加する

最大で5つまでの経由地を設定できます。



- 経由地を設定すると、複数ルートの計算はできません。



ここまでの操作

ルート ▶ ルート編集



- 地点メニューの **経由地追加** をタッチして、手順2に進んでも同様の操作です。

1 地点追加 をタッチする



1つめの経由地を設定するときは、手順3に進みます。

2つめ以降の経由地を設定する場合は、手順2に進みます。

2 追加したい箇所の ◀追加 をタッチする



3 経由地を探す

探し方は、目的地を探す方法と同様です。詳しくは「目的地の設定」(P.11)をご覧ください。

4 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

5 計算 をタッチする

経由地が追加され、新しいルートが設定されます。

経由地の順序を並べ替える

複数の経由地を設定した場合、経由地の順番を並べ替えられます。

ここまでの操作

ルート



ルート編集

1 地点並替 をタッチする

2 順序を変えたい地点をタッチする



3 地点を移動したい位置の ◀移動 をタッチする



4 戻る をタッチする



5 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

6 計算 をタッチする

経由地の順番が変わり、新しいルートが設定されます。

目的地、経由地の位置を修正する

ルートに設定した目的地や経由地の位置を変えたり、調整できます。

ここまでの操作

ルート ▶ ルート編集

1 位置を調整したい地点をタッチする

2 位置調整 または 検索から変更 をタッチする



位置調整 :

地図画面が表示され、スクロールして位置を修正します。

検索から変更 :

目的地検索と同様の方法で、位置を修正できます。

3 選択した方法で位置を修正し、決定 をタッチする



4 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

5 計算 をタッチする

目的地または経由地の位置が調整され、ルートが計算されます。

経由地を削除する

設定した経由地をルートから削除します。

ここまでの操作

ルート ▶ ルート編集

1 地点削除 をタッチする

2 削除したい地点を選択し、決定 をタッチする



• 複数の地点を選択できます。

3 はい をタッチする

4 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

5 計算 をタッチする

経由地が削除され、新しいルートが計算されます。

設定したルートを削除する

目的地を解除する

目的地を解除すると、経由地も同時に削除されます。

ここまでの操作

ルート ▶

目的地解除



• 目的地 → 目的地解除 をタッチしても同様の操作です。

1 確認画面で はい をタッチする

目的地が解除され、ルート誘導が中止されます。

設定したルートを確認する

走行する前に設定したルートを確認できます。



- ・走行中にルートの確認はできません。必ず車を安全なところに停車して操作してください。
- ・地図をスクロールした状態では、ルートの確認はできません。

ルートを表示する

地図上でルートを確認する

ここまでの操作

ルート ▶ ルート確認

ルート確認画面が表示されます。



自動後退、自動前進：

ルートを自動的に前進または後退させます。**解除**をタッチすると自動後退、自動前進が止まります。

後退、前進：

タッチしている間、ルートを前進または後退させます。



- ・立体地図表示時は、自動的に平面地図に切り替わって表示されます。
- ・走行を始めると、ルート確認は解除され、現在地地図画面が表示されます。
- ・自動前進または自動後退時に、地図の拡大／縮小はできますが、詳細に大きさは変えられません。

ルートの全体を確認する

ここまでの操作

ルート ▶ ルート確認

1 全ルート表示 をタッチする

現在地から目的地までの全ルートが表示されます。

この画面では、地図の拡大／縮小、スクロールができます。



ルートをデモ走行する

ここまでの操作

ルート ▶ 走行デモ

デモ走行が自動的に始まります。



- デモ走行中でも地図スクロールやメニューの操作を行えます。
- **デモ中止** をタッチすると、デモ走行を中止できます。
- 再度 **走行デモ** をタッチすると、デモ走行を中止できます。
- 走行を始めると、ルート確認は解除され、現在地地図画面が表示されます。

ルート上の情報を確認する

目的地の地図を表示する

目的地の地図を表示できます。

ここまでの操作

ナビゲーションコントロールバーの

経路情報

1 目的地表示 をタッチする

目的地の地図が表示されます。



• この画面から、目的地の変更や修正はできません。

次の案内地点を表示する

ここまでの操作

ナビゲーションコントロールバーの

経路情報

1 次の案内 をタッチする

現在地から次の案内地点までの地図と、案内地点の拡大地図が表示されます。



渋滞情報を表示する

渋滞のあるルートと現在地の距離により、表示される情報の種類が異なります。

現在地から2km以内：

渋滞の起点までの地図*、起点までの距離と渋滞距離、音声案内が案内されます。

現在地から2km～10km以内：

音声でのみ案内されます。

現在地から10km以上先：

案内されません。

※渋滞の長さに応じて、地図の大きさが

100m/200m/500m/1kmの4段階で自動的に切り替わって表示されます。



- ナビゲーションの設定で音声案内を「しない」に設定している場合でも、渋滞情報は音声案内されます。
- 渋滞の距離が短い場合は、地図上に表示されていても音声案内がされないことがあります。
- VICS情報更新時は、現在地地図画面に戻ります。

ここまでの操作

ナビゲーションコントロールバーの

経路情報

1 渋滞情報 をタッチする

現在地から渋滞の起点までの地図が表示され、音声でも案内されます。



- 画面上部に現在地から渋滞の起点までの距離と渋滞距離が表示されます。

音声案内をもう一度聞く

1つ前の音声案内を、再度流します。



- ナビゲーションの設定で音声案内を「しない」に設定している場合は、本操作を行えません。ナビゲーションの設定については、「音声案内の設定をする」(P.175)をご覧ください。
- 音声案内の対象となる地点を通過した後は、通過した地点に対する音声案内はされません。

ここまでの操作

ナビゲーションコントロールバーの

経路情報

1 再音声 をタッチする

現在地図画面が表示され、1つ前にされた音声案内が再度案内されます。

60km以内の誘導情報を確認する

60km以内にある、信号の有無、案内地点といったルート上の情報を確認できます。



- 表示される料金は、実際の料金と異なる場合があります。

ここまでの操作

ナビゲーションコントロールバーの

経路情報

1 誘導情報 をタッチする

2 案内地点をタッチする



案内地点確認画面が表示されます。



- 以下の情報が表示されます。
目的地までの距離／到着予想時間／全料金／有料道路施設の名前／自転車位置から案内地点までの距離／交差点の名前／信号機の有無／案内区間の渋滞情報／案内区間の所要時間
- 、 は、以下の場合に表示されます。
ルートが増加した車線を通る／5車線以上ある交差点／5差路以上ある交差点／ルートが狭角で右左折する案内地点
- ルートによっては、直近区間料金が表示される場合があります。

Memo



情報を利用する

FM VICS情報やビーコンVICS情報など、さまざまな交通情報を受信して、ドライブに役立てられます。車のメンテナンス情報や本機の情報、ETC履歴の情報などもご利用ください。

情報メニューを見る	52
電話を利用する	69

情報メニューを見る

VICSを利用して、渋滞情報などの交通情報を確認できます。また、車のメンテナンスに関する情報をお知らせすることもできます。

ここまでの操作



タッチキー	情報の内容	参照ページ
FM VICS	FM VICSで受信した渋滞情報や所要時間、緊急情報などを表示する	P.55
ビーコン	光ビーコンや電波ビーコンから受信した交通情報などを表示する（別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時）	P.58
交通情報	交通情報（ラジオ）を受信する	P.60
SSD情報	本機のメモリー情報を表示する	P.61
メンテナンス	車のメンテナンスに関する情報をお知らせするための設定をする	P.62
電話	Bluetooth対応携帯電話を利用して電話を使う	P.69
QQコール	QQコールのサービスを開始する（QQコール設定時）	—
ETC	ETCの履歴や情報を表示する（別売のETC車載器接続時）	P.65
VICS設定	VICSに関する設定メニュー画面を表示する	P.177
高速道交通情報 一般道交通情報	渋滞情報表示のON/OFFを切り替える	P.179



• 走行中は選択できる項目が限定されます。

FM VICS情報を利用する

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、日本道路交通情報センターからの情報を基にした道路情報サービスです。

また、VICS画面、VICS情報のランドマーク、受信マークについては、「VICS情報画面の見かた」(Q-P.51)、「VICS受信画面」(Q-P.136)をあわせてご覧ください。

FM VICS情報について

渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。

本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。



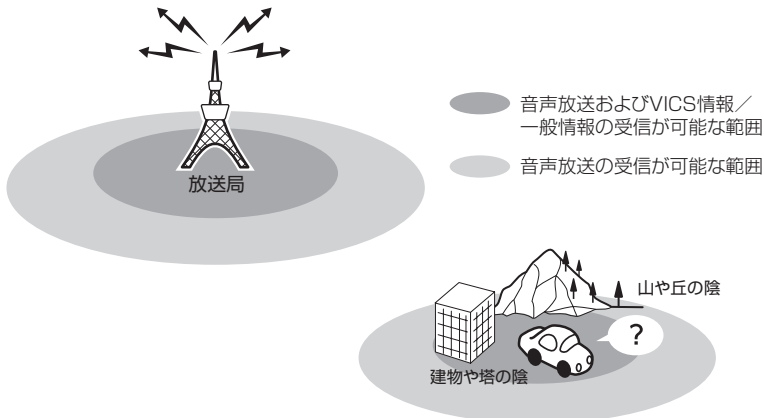
- 表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。



- VICS画面、VICS情報のランドマークおよび受信マークについては、「VICS情報画面の見かた」(Q-P.51)、「VICS受信画面」(Q-P.136)をご覧ください。

■VICS情報／一般情報が取得できないときは

VICS情報／一般情報は、音声放送と比べて受信できる距離が半減するため、電波が強くなければ受信できません。受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合もあります。また、すべてのFMラジオ放送局でVICS情報、一般情報を放送しているわけではないので、放送状況を確認してください。



■FM VICS情報の更新に伴う表示変更について

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。

この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク(主要交差点ごとに道路を区切った単位)というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。

VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。現在お使いのナビゲーションまたは地図ソフトの対応などにつきましては、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。また詳しくは、「VICSシステムの問い合わせ先」(P.259)をご覧ください。

VICS情報	詳細
情報提供時間 ^{※1}	FM多重、VICS光、電波ビーコンともに24時間
情報の種類	渋滞情報：渋滞区間を表示します。
	所要時間情報：主要地点間の現在の所要時間を表示します。
	交通障害情報：事故、故障車、路上障害物、工事、作業などについてお知らせします。
	交通規制情報：通行止め、速度規制、車線規制などの臨時規制とその原因についてお知らせします。
	駐車場情報：駐車場、SA/PAの満車・空車情報についてお知らせします。
情報画面の種類 ^{※2}	文字情報 ^{※3} (レベル1)
	図形情報(レベル2)
	地図情報(レベル3)

※1 メンテナンスなどで、情報提供を休止する場合があります。

※2 画面例については、P.56をご覧ください。

※3 発信していない地域もあります。

FM VICS情報／FM文字多重放送を見る

ここでは、文字情報で渋滞情報を表示させる手順を例として説明しています。NHK-FM受信時の操作です。



- 民放のFM文字多重放送局を受信しているときは、タッチキーが「見えるラジオ」や「アラジン」と表示され、FM VICS以外の情報を楽しめます。
- FM VICS情報を受信する放送局の設定については、「VICS情報の設定をする」(P.177)をご覧ください。
- 地図の大きさを詳細に変えているときは、各FM VICS情報が表示されない場合があります。
- FM VICS情報が更新されていない場合は、更新前に受信した情報が表示されます。
- エンジンスイッチを切って、約1時間経過した場合、または新たにFM VICS情報を受信できない場合、VICS情報は消去されます。
- VICS情報を受信すると、『VICS情報を受信しました』とアナウンスされるよう設定することもできます。2回目以降のアナウンスは、『ボーン』という音でお知らせします。アナウンスを設定したい場合は、「VICS情報の設定をする」(P.177)をご覧ください。



- VICS情報を非表示にすることもできます。詳しくは「VICS情報の設定をする」(P.177)をご覧ください。

ここまでの操作



FM VICS

1 見たい情報をタッチする



文字情報 :

文字による渋滞情報を表示する*

図形情報 :

渋滞情報を図形表示で確認する

所要時間 :

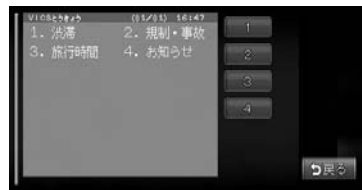
各地への所要時間を見る

緊急情報 :

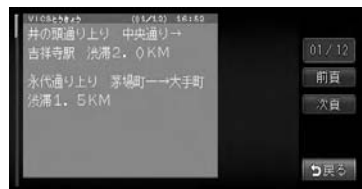
FM VICS情報から受信した緊急情報を見る

※地域によっては、情報が発信されない場合があります。

2 見たい項目の番号をタッチする



FM VICS情報が表示されます。



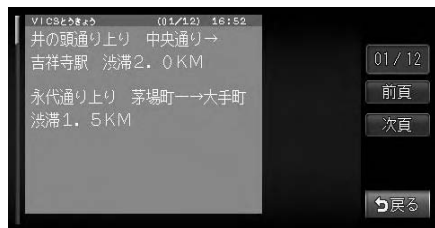
情報を利用する

FM VICS情報の種類

本機で表示できるFM VICS情報画面は、以下のとおりです。

文字情報

渋滞情報などが文字で表示されます。



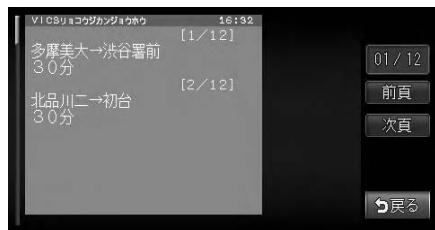
図形情報

渋滞情報が図形で表示されます。



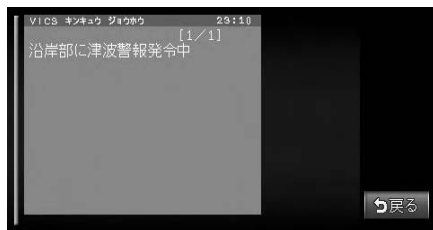
所要時間

各地への所要時間が表示されます。



緊急情報

緊急情報が表示されます。



ビーコンVICS情報を利用する

別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に受信できる情報です。

ビーコンVICS情報について

VICS光・電波ビーコンユニットから受信した最新の簡易図形情報や災害発生時の緊急情報は、自動的に表示され、しばらくすると消えます。また、音声でもお知らせします。

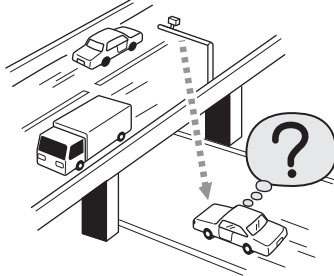
消えた後に、再度最新VICS情報を表示させるには、「ビーコンVICS情報を見る」(P.58)からの手順で手動で表示させます。

ビーコンVICS情報は、車の走行状態や状況により、受信できなかったり、誤受信することがあります。

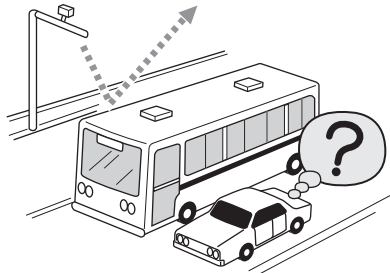
ビーコン情報の受信については、以下の点にご注意ください。

■一般道路走行中には

- 高速道路と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道路のVICS情報を受信することがあります。

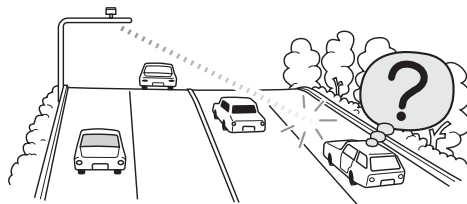


- 道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがある場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
- VICS光・電波ビーコン受信状況により、VICS情報が受信しにくかったり、対向車線のVICS情報を受信することがあります。



■高速道路走行中には

- トンネル内や幅員の広い道路では、VICS情報を受信できないことがあります。
- 道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがある場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
- 豪雪や豪雨時などには、VICS情報を受信しにくいことがあります。



■VICS光・電波ビーコンアンテナ（別売）の取り扱いについて

- 別売のVICS光・電波ビーコンアンテナの表面に、シールなどを貼らないでください。

ビーコンVICS情報を見る

ここでは、ビーコンVICS情報の文字情報を見る方法を例として説明しています。

ここまでの操作



ビーコン

1 見たい情報をタッチする



文字情報 :

渋滞情報を表示する

図形情報 :

渋滞情報を図形表示で確認する

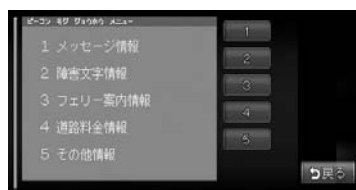
所要時間 :

各地の所要時間を見る

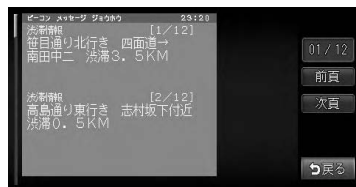
注意警戒 緊急情報 :

ビーコン情報から受信した緊急情報／
注意警戒情報を見る

2 見たい項目の番号をタッチする



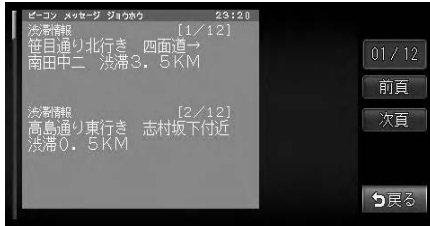
ビーコンVICS情報が表示されます。



ビーコンVICS情報の種類

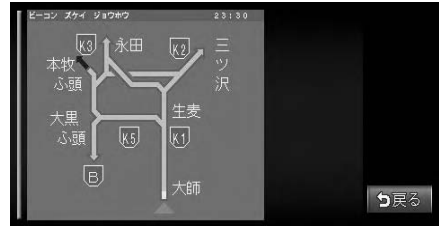
文字情報

渋滞情報などの文字情報が表示されます。



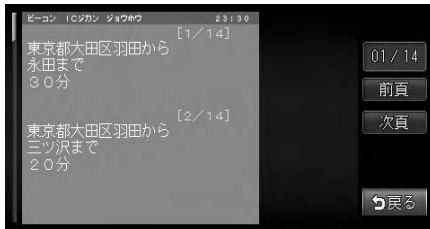
図形情報

渋滞情報が簡易な図形で表示されます。



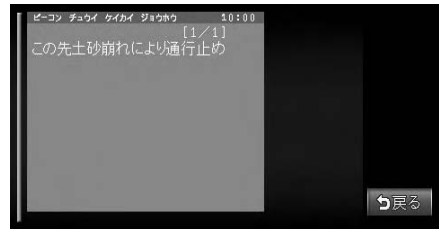
所要時間

各地への所要時間が表示されます。



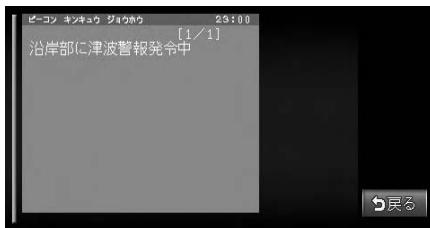
注意警戒情報

通行止めなどの注意警戒情報が表示されます。



緊急情報

警報発令などの緊急情報が表示されます。



情報を利用する

ラジオの交通情報を受信する

ここまでの操作



交通情報を受信します。



AVコントロールバーから受信する周波数を選択するときは、**1620** または **1629** をタッチします。



- AV操作キーに、「TI」と表示されます。
- AVコントロールバーの **解除** をタッチすると、交通情報を聞く前に使っていたオーディオに戻ります。

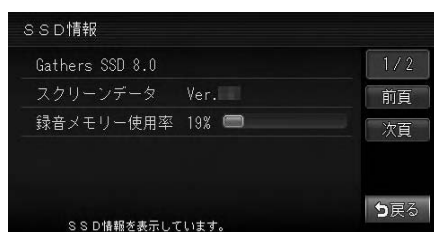
本機の情報を見る

ここまでの操作



SSD情報（メモリー情報）画面が表示されます。

次頁 をタッチすると本機の製品情報が表示されます。



SSD情報画面には、スクリーンデータのバージョン情報やMUSIC RACKのメモリー使用率などが表示されます。

製品情報画面には、地図のバージョンアップに使用する確認コードなどが表示されます。

情報を利用する

メンテナンス情報を利用する

あらかじめ日付や距離を設定しておくことで、車のオイルや消耗品の交換、点検、免許更新などの時期を通知できます。

設定できるメンテナンス項目は、以下のとおりです。各項目に対して、日付、距離、お知らせ設定、更新間隔設定／更新機能を設定できます。

オイル関連	エンジンオイル交換、オイルフィルター交換、ミッションオイル交換、ブレーキオイル交換
タイヤ関連	空気圧チェック、タイヤローテーション、タイヤ交換
消耗品	ワイパーブレード、エアクリナー、クーラント、バッテリー、ブレーキパッド
点検・車検	車検 ^{※1} 、定期点検 ^{※1}
免許証・保険	免許証更新、自動車保険更新
オリジナル1～3 ^{※1※2}	

※1 日付とお知らせ設定のみを設定できます。

※2 任意の項目を設定できます。



- お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と、実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。

お知らせ設定をする

メンテナンス時期を設定する方法について説明しています。

ここでは、エンジンオイル交換のメンテナンス時期を設定する方法を例として説明しています。

ここまでの操作



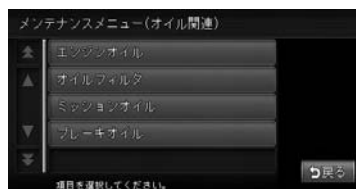
メンテナンス

1 オイル関連 をタッチする

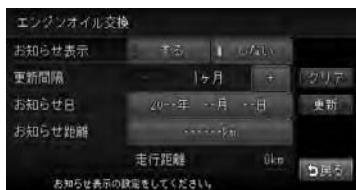


- オリジナル1、オリジナル2、オリジナル3 をタッチした場合は、手順3に進んでください。

2 エンジンオイル をタッチする



3 各項目を設定する



設定した年月日や走行距離に達すると、次に本機を起動したときにメッセージが表示されます。詳しくは、「メンテナンス時期がお知らせされたら・・・」(P.63) をご覧ください。



- **更新** をタッチすると、お知らせ日
が設定した更新間隔で更新され、走
行距離が0に戻ります。

設定できる項目は以下のとおりです。
設定項目の内容は、メンテナンス項目
によって異なります。

お知らせ表示：

メンテナンス時期をお知らせ表示する
かどうかを設定できます。

更新間隔：

1ヶ月単位でお知らせする更新間隔を設定
できます。

お知らせ日：

お知らせする日を設定できます。

お知らせ距離：

お知らせする走行距離を設定できます。
計測される走行距離と実際の走行距離
では誤差が生じる場合があります。

名称*：

メンテナンス項目の名前を設定できま
す。

※手順1で **オリジナル1**、

オリジナル2、**オリジナル3** を選択
したときのみ表示されます。

■メンテナンス時期がお知らせされたら・・・

メンテナンス項目が設定され、メンテナ
ンス時期に達すると、お知らせのメッセー
ジが表示されます。

1 確認 をタッチする



- **後で見る** をタッチすると、後からメ
ンテナンス項目を確認できます。「お
知らせ設定をする」(P.62)の手順1、
2で が表示されている項目がお
知らせされた項目です。**更新** をタッ
チすると、 は消えます。

2 項目をタッチする



次のメンテナンス時期を設定しま
す。詳しくは、「お知らせ設定をする」
(P.62) をご覧ください。



- **お店へ行く** をタッチすると、登録
した販売店までのルートが設定され
ます。詳しくは、「販売店情報を登録
する」(P.64) をご覧ください。

販売店情報を登録する

販売店の情報を登録しておく、メンテナンス情報お知らせ時に販売店ヘルート案内できます。

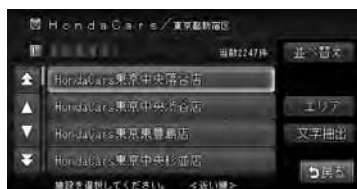
ここまでの操作



1 販売店リスト をタッチする

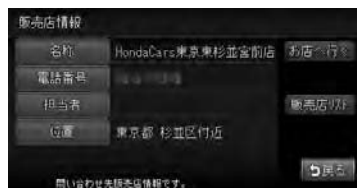


2 販売店を選択してタッチする



3 決定 をタッチし、 はい をタッチする

4 販売店を設定する



販売店が登録されます。設定した販売店の名称、電話番号、位置は自動で入力されます。



- 販売店の名前や電話番号、担当者を編集したい場合は、販売店情報画面で各項目をタッチして入力してください。

販売店を登録したら

販売店情報を登録したあとの販売店情報画面およびお知らせ項目確認画面には、**お店へ行く**が表示されます。タッチすると、販売店までの地図と地点メニューが表示されます。

地点メニューの **ここに行く** をタッチすると、販売店までのルートが設定されます。

ETC情報を利用する

別売のETC車載器を接続すると表示される情報です。ETC車載器について詳しくは、ETC車載器付属の取扱説明書をご覧ください。



- 本操作を行うには、ETC車載器にETCカードがセットされている必要があります。

ETC情報とは

ETC情報とは、ETC車載器が受信する、ETCの料金情報や予告案内、警告情報です。料金所ゲートを通過するときに、ETC情報を受信し、画面表示と音声で案内されます。

案内の画面表示時間を変えたり、音声案内をするかしないかの設定については、「ETCの設定をする」(P.181)をご覧ください。

■ETC情報の画面表示

ETC車載器からの料金情報を受信すると、料金案内が表示されます。表示内容はナビゲーション画面、オーディオ画面とも同様です。



- 地図をスクロールするかいずれかのキーをタッチすると、ETC情報は消えます。

■予告案内／警告表示

ETC車載器からの予告案内、警告情報を受信すると、予告案内または警告情報が表示されます。内容は以下のとおりです。

●予告案内

料金所に予告アンテナ／ETCカード未挿入お知らせアンテナが設置されている場合のみ表示されます。

- 「ETCがご利用できません」
- 「ETCがご利用可能です」

●警告

- 「ETCカードを確認してください」
ETCカードが故障、またはカードがETCカードでないときに表示されます。
- 「ETCに異常が検出されました 販売店に連絡してください」
ETC車載器の異常により、本機との接続ができないときに表示されます。
- 「ETCカードを挿入してください」
「ETCの設定をする」(P.181)のカード入れ忘れ警告を「する」に設定した場合、本機起動時に表示されます。
- 「ETCユニットがセットアップされていません」
ETC車載器本体がセットアップされていないときに表示されます。

■ETCレーン図

料金所の2km手前にさしかかると、ETCレーン図が自動的に表示されます。ETCレーン表示は時間帯によって異なることがあるので、必ず実際の表示に従ってください。



- ETCレーン図は、表示されない場合があります。
- ETCレーン図は、ETC車載器未接続時にも表示されます。

●料金案内

ETCゲート通過時のみ、音声で料金案内されます。料金所手前では料金案内されません。

ETC情報の履歴を見る

ここまでの操作



1 **履歴** または **最新利用履歴** をタッチする

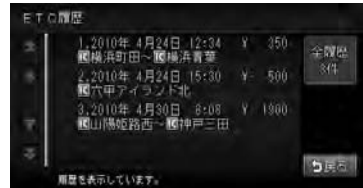


ETC情報が表示されます。

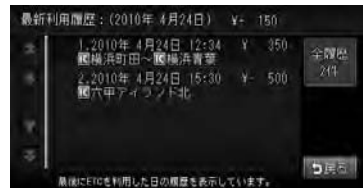


- **セットアップ情報** をタッチすると、ETC車載器のセットアップ情報が表示されます。

ETC履歴画面



最新利用履歴画面



- ETC情報の履歴は、ETCカードが差し込まれている場合に、新しい利用履歴から最大100件分を確認できます。

走行中に **ETC** をタッチしても、ETCメニューは表示されません。最後に課金されたETCの金額が再度音声で案内されます。

情報を利用する

ETC料金を割り勘にする

ETC情報の履歴の中から履歴を指定して、希望の人数で割った金額を算出できます。また、駐車料金などの調整金額を含めて算出することもできます。



- ETC履歴のICランプ情報が不明の場合、または料金所が新規追加され情報が不足している場合は、「情報なし」と表示され、算出できない場合があります。
- 走行中はETC料金の精算はできません。

ここまでの操作



ETC

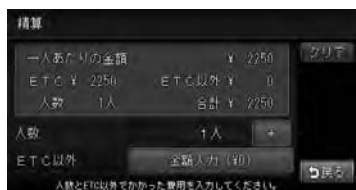
精算

- 1 精算したい履歴を選択して、**決定** をタッチする



- **日+** をタッチすることにより1日分ずつの履歴が選択されます。
- **日-** をタッチすることにより選択した履歴を1日分ずつ解除します。

- 2 **+**、**-** をタッチして、精算人数を入力する



1人あたりの支払い金額が表示されます。

- 3 ETC以外にかかった料金がある場合は、**金額入力(¥0)** をタッチする

- 4 金額を入力して、**決定** をタッチする



1人あたりの金額が表示されます。

電話を利用する

Bluetooth対応携帯電話を登録して本機から電話の発着信を行うことができます。Bluetooth対応携帯電話を用いるとケーブルを接続することなく、Bluetoothを利用したハンズフリー機能を使用できます。

携帯電話にはご利用できない機種があります。携帯電話の対応機種や設定方法については、インターナビ・プレミアムクラブのホームページ（<http://www.premium-club.jp/>）をご覧ください。

Bluetoothとは

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.45GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器どうしで通信を行います。

本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

ハンズフリープロファイル (HFP)	本機でBluetooth対応機器とハンズフリーで通話できます。
オブジェクトプッシュプロファイル (OPP)	Bluetooth対応機器から本機に電話帳などを転送することができます。
オーディオプロファイル (A2DP, AVRCP)	Bluetooth対応機器と接続し、ワイヤレスで音楽の再生と簡易コントロールをすることができます。
ダイヤルアップネットワークプロファイル (DUN)	本機でBluetooth対応機器を接続し、データ通信を行うことができます。

※Bluetoothは、ブルートゥースと読みます。

※Bluetoothプロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

Bluetooth機器を使用される前にお読みください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機能を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局及び、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか又は、電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことがおきたときは、お買い求めの販売店、または、(株)ホンダアクセスお客様相談室までご連絡ください。

電話を利用する



- 本機では、Bluetoothに対応した携帯電話およびオーディオ機器を利用できます。
- Bluetooth対応機器を利用するには、本機に登録（ペアリング）する必要があります。携帯電話のペアリングについては、「携帯電話を登録する（ペアリング）」（P.71）をご覧ください。また、オーディオ機器のペアリングについては、「Bluetoothオーディオを本機に登録する（ペアリング）」（P.158）をご覧ください。
- 本機では、Bluetooth対応携帯電話（ハンズフリー）とBluetoothオーディオを同時に使用することができます。ただし、音声についてはハンズフリーを優先します。
- 携帯電話およびオーディオ機器は、Bluetooth方式に対応しているものを使用してください。ただし、携帯電話、オーディオ機器の種類によっては、ご利用にならない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 携帯電話、オーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合があります。本機との間に障害物のない場所に携帯電話、オーディオ機器を置いてご使用ください。
- Bluetooth対応携帯電話、オーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- 通話中に音量を調節した場合、他のソースに切り替えて音量を変更しても、次回電話を受発信したときに元の音量で通話できます。
- インターナビで情報通信中は、ハンズフリー機能をお使いいただけません。

携帯電話を登録する（ペアリング）

初めてBluetooth対応携帯電話を利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。ペアリングすることにより、ハンズフリーで通話できる携帯電話を限定します。



- 走行中はペアリングを実行できません。
- ハンズフリー中（発信、着信、通話）は、オーディオ音声は出力されません。
- 携帯電話は、10台までペアリングすることができます。11台目をペアリングするには、すでに登録されたペアリング情報を削除する必要があります。
- 携帯電話にBluetooth対応機器を登録する方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- すでに携帯電話を接続した状態でペアリングを行った場合は、接続を解除し、最後にペアリングした携帯電話と接続します。
- 携帯電話の「接続待機中」の設定を行わないと、自動的に接続されない場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話の受信感度、電池残量の表示は、接続する携帯電話によって、数値が一致しない場合があります。
- あらかじめ携帯電話でBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

情報を利用する

本機に登録する

ここまでの操作



1 電話 をタッチする



電話メニューが表示されます。

2 登録電話機一覧 をタッチする



3 電話機登録 をタッチする



4 ナビから電話機を探索して登録する をタッチする



Bluetooth接続機器の探索画面が表示されます。



探索が終了すると、周辺電話機リスト画面が表示されます。



- あらかじめ、ご使用の携帯電話でBluetooth電源のONや、登録ができるように設定しておいてください。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

5 探索された機器をタッチする



6 Bluetooth対応携帯電話機に登録されているパスキーを入力し、決定 をタッチする



ペアリング完了後、登録電話機一覧が表示されます。



• 電話機登録画面で

- 「電話機からナビを探索して登録する」をタッチした場合には、携帯電話側のBluetooth機能からサーチ（新規登録）してください。
- 登録名称は変更できません。
- パスキーは変更可能です。詳しくは「パスキーを変更する」(P.83)をご覧ください。
- ペアリング完了後、携帯電話側で「ダイヤルアップ」や「DUN」の接続設定が必要になる場合があります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。



- ペ어링完了後、携帯電話上で接続するプロフィールを選択する必要がある場合は、「ハンズフリー」を選択してください。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- リストから携帯電話を切り替えると、それまで使用していた携帯電話の発着信履歴は消去されます。
- **自動接続** のランプがついているときは、ペ어링済みの他の携帯電話をリストから選択するだけで、自動的に本機に接続されます。自動接続をOFFにするには、**自動接続** をタッチしてランプを消します。
- 自動接続は、下記の場合に行われず。
 - Bluetooth対応携帯電話を接続したまま本機の電源を切り、再び本機の電源を入れた場合に前回接続していた電話と自動接続されます。
 - Bluetooth対応携帯電話と距離が離れているなど、何らかの理由で切断された場合に、自動的に再接続を試みます。
- 携帯電話を再起動した場合、携帯電話の種類によって、自動的に接続されない場合があります。自動接続されない場合は、リストから接続したい携帯電話を選択してください。

登録情報を削除する

ペ어링済みの携帯電話情報を削除します。

ここまでの操作



電話

登録電話機一覧

1

削除 をタッチする

登録電話機削除リスト画面が表示されます。

2 **削除したい携帯電話をタッチして、決定** をタッチする



3 **はい** をタッチする



- 携帯電話の登録情報を削除すると、該当する携帯電話の発着信履歴、電話帳情報も削除されます。
- 現在使用中の携帯電話の切り替えを行うと、発着信履歴も削除されます。
- 複数の携帯電話の登録情報を削除している最中に本機の電源を切ると、削除できないことがあります。その場合は、電源を入れ、再度削除の操作を行ってください。

情報を利用する

携帯電話を切り替える

接続する携帯電話をリストから選んで切り替えることができます。

ここまでの操作



電話

登録電話機一覧

1 接続したい機器をタッチする



選択した機器が接続されます。

電話をかける



- 走行中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。



- 通話中に車が電波の届かない場所に移動したときは回線が切れます。
- 通話中は、以下の機能のみ操作が可能です。
 - ノースアップ／ヘディングアップの切り替え（通話中地図画面のみ）
 - 地図の拡大／縮小（通話中地図画面のみ）
 - 地図スクロール（通話中地図画面のみ）
 - 音量調整
 - 現在地表示
 - 操作パネル開／閉



- 相手が先に電話を切った場合や、回線が切れてしまった場合は、電話メニューに戻ります。
- 携帯電話が待受け状態でないと、発着信できないことがあります。
- 通話中に「**現在地**」を押すと、地図画面に切り替わります。「**電話画面**」をタッチすると通話中画面に戻ります。

ここまでの操作



電話



タッチキー	情報の内容	参照ページ
リダイヤル	最後にかけた電話番号にかけ直す	P.77
ダイヤル	電話番号を入力して電話をかける	P.75
電話帳	携帯電話の電話帳を本機に登録して電話をかける	P.78
着信履歴	本機の着信履歴から電話をかける	P.77
発信履歴	本機の発信履歴から電話をかける	P.78
登録電話機一覧	本機と接続可能な携帯電話のリスト表示や切り替え、本機と携帯電話のペアリングを行う	P.71
電話設定	ハンズフリーに関する設定をする	P.82

電話番号を入力してかける



- 一般の電話にかけるときは、市内通話であっても必ず市外局番からダイヤルしてください。

ここまでの操作



電話

ダイヤル

1 電話番号を入力して **決定** をタッチする



2 はい をタッチする



電話番号が発信され、電話がかかります。



:

呼び出し途中でタッチすると、電話を切り、電話メニューに戻ります。

3 通話を終了したい場合は、



をタッチする



プライベート :

タッチすると携帯電話本体での通話に切り替わります。

電話を切り、地図画面に戻ります。

発信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、発信日時が発信履歴として保存されます。

情報を
利用する

電話を利用する

通話中の地図画面

通話中に **現在地** を押すと、以下のような画面になります。

通話中地図画面

通話中画面に切り替わります。



タッチすると携帯電話本体での通話に切り替わります。

タッチして電話を切り、現在地が表示されます。

相手の名前、電話番号が表示されます。

携帯電話の接続状態、受信感度、電池残量、通話時間が表示されます。

通話中地図スクロール時



通話中地図画面に戻ります。

リダイヤルでかける

ここまでの操作



電話



リダイヤル

1 はい をタッチする



最後にかけた電話番号に電話をかけます。

着信履歴からかける



- 着信履歴の登録数は、最新の5件分です。この履歴は、携帯電話ではなく本機に記録されているものです。
- 非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。

ここまでの操作



電話



着信履歴

1 ダイヤルしたい相手先を選んでタッチする



全て消去 :

着信履歴をすべて消去します。

2 はい をタッチする

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

情報を利用する

発信履歴からかける



- 発信履歴の登録数は、最新の5件分です。この履歴は、携帯電話ではなく本機に記録されているものです。

ここまでの操作



電話

発信履歴

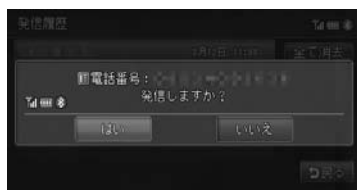
1 ダイヤルしたい相手先を選んでタッチする



全て消去 :

発信履歴をすべて消去します。

2 はい をタッチする



登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

電話帳からかける

あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に登録しておき、そこから電話をかけることができます。

携帯電話の電話帳は、携帯電話側の電話帳転送機能を使用して登録します。携帯電話によっては、電話帳を転送できないものがあります。

詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。



- 電話帳を転送後、携帯電話の接続が切断される場合があります。その場合は、再度、登録機器リストから接続したい携帯電話を選択してください。

ここまでの操作



電話

電話帳

1 読み出し をタッチする



電話帳転送の待ち受け画面になります。

2 携帯電話側で電話帳転送を行う

登録機器リストで現在選択されている携帯電話のアドレス帳が本機に転送されます。

次回から電話をかける場合は、手順3から始めます。



- Bluetooth対応オーディオ機器に接続中の場合は、接続を解除する確認画面が表示されるので **はい** をタッチします。
- アドレス帳の転送は、同一の電話番号でも常に追加で登録され上書きされません。必要に応じて電話番号を削除してください。電話番号の削除方法は、「電話番号を削除する」(P.80)をご覧ください。

3 ダイヤルしたい名前を選択してタッチする

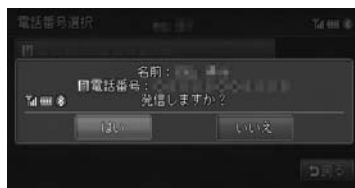


電話番号が1件しか登録されていない場合は、手順5に進みます。

4 ダイヤルしたい電話番号を選択してタッチする



5 はい をタッチする



登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。



- 登録可能な電話帳データは登録機器全体で2500件です。1台の最大登録件数は1000件です。
- 電話帳の1つの名称に対して、最大5件まで電話番号を表示できます。
- 電話番号リストに表示されるアイコンには以下の種類があります。
 (一般) / (自宅) / (事務所) / (携帯電話) / (その他)
- 転送した電話帳の表示順序は、携帯電話で表示される順序とは異なります。読みがなで並べ替えを行いますので、ダイヤルの際は発信する相手の電話番号をご確認ください。

電話を利用する

電話番号を削除する

本機に転送したアドレス帳から電話番号を削除することができます。

ここまでの操作



電話



電話帳

1 削除 をタッチする



電話帳削除画面が表示されます。

2 削除したい電話番号をタッチして、決定 をタッチする



3 はい をタッチする

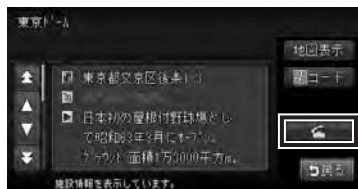
登録リストや施設情報から電話をかける

登録リストや施設情報画面に電話アイコンが表示されている場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると画面から電話をかけることができます。

登録リスト画面

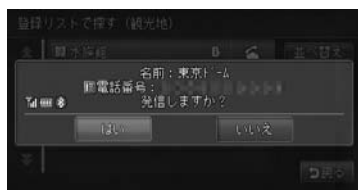


施設情報画面



1 電話 をタッチする

2 はい をタッチする



登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

電話を受ける

本機に接続した携帯電話が電話着信した場合、着信画面が表示されます。



注意

- 走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。



ここまでの操作

着信画面で  にタッチする



通話を終了したい場合は、 をタッチします。

電話を切り、着信直前の画面に戻ります。着信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、着信日時が着信履歴として保存されます。



- 着信中に  をタッチすると、着信を拒否します。

電話の設定をする

ハンズフリー電話に関する設定ができます。

ここまでの操作



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
自動応答	電話がかかってきたときに、自動的に電話をつなぐよう設定する	する* / しない	—
マイク感度	ハンズフリーマイクの感度を設定する	LO/MID*/HIGH	—
着信音量	着信音量を調整する（*）	レベル0～7 （レベル0*）	—
設定とメモリの初期化	ハンズフリーの設定とメモリを初期化する（**）	—	—
本体情報	Bluetoothバスキー、名称、アドレス、ファームウェアVer.を表示する また、Bluetooth電源のON/OFFを切り替える	—	P.83

（*）着信音量を0以外に設定した場合、VOLキーでの着信音量の変更はできません。

（**）設定値が初期設定に戻るほか、電話帳データ／着信履歴／発信履歴／リダイヤル／登録電話機一覧がクリアされます。

パスキーを変更する

ここまでの操作



1 【本体情報】の **情報表示** をタッチする

2 現在設定されているBluetooth
パスキーをタッチする



・工場出荷時、パスキーは「1212」に設定されています。

3 新しいパスキーを入力して
決定 をタッチする



Bluetooth電源をOFFにする

携帯電話によっては、接続応答を返さずに通信異常が発生し、操作が正常にできなかったり、表示されなかったりすることがあります。その場合は、Bluetooth電源のOFF→ON切り替えを行ってください。

Bluetooth電源をOFFにすると、他のBluetooth機器からの探索を防ぐことができます。

OFF中は、本機でBluetooth機能の操作を行うことはできません。

また、Bluetooth対応携帯電話から本機への接続や操作もできなくなります。

ここまでの操作



1 【Bluetooth電源】の **OFF** をタッチする

Bluetooth電源がOFFになります。



- ・工場出荷時、Bluetooth電源は「ON」に設定されています。
- ・Bluetoothを使用される場合は、Bluetooth電源を「ON」に設定し直してください。この時、ご使用の携帯電話も再起動してください。

Memo



オーディオ・ビジュアル編

ラジオを聴く

本機では、FMラジオ・AMラジオを受信してお楽しみいただけます。

ラジオの基本的な操作方法については、**Q-P.87～Q-P.90**をご覧ください。

よく聴く放送局を登録して利用する	86
ラジオの設定を変更する	89

よく聴く放送局を登録して利用する

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録できるチャンネルです。何度も周波数を合わせることなく、ワンタッチで好みの放送局を受信できます。

プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。詳しくは「放送局をリストに登録する」(P.87)をご覧ください。



プリセットチャンネルリスト
(放送局リスト)

「ホーム」と「お出かけ」を使い分ける

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「ホーム」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「ホーム」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチで好みの放送局を受信することができます。



それぞれのキーをタッチすると、放送局リストの表示が切り替わります。

放送局をリストに登録する

よく聴く放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ周波数を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、AMラジオ、FMラジオともに、ホームモードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで8つまでです。



- ホーム、お出かけ をタッチしてモードを切り替えると、2種類の放送局リストに登録できます。

手動で登録する

ここまでの操作

AUDIO ▶ FM/AM ▶ リスト

1 ◀ または ▶ をタッチして、登録したい放送局を受信する

2 登録するチャンネルを、「ピーッ」という音がするまでタッチし続ける



受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。



- 登録した放送局を聴くには、「選局する」(P.88) をご覧ください。

自動で登録する(オートプリセット)

ここまでの操作

AUDIO ▶ FM/AM ▶ リスト

1 APS をタッチする

2 はい をタッチする

受信可能な放送局が、自動的に上書き登録されます。



- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。中止するには、APS中止 をタッチします。
- 登録した放送局を聴くには、「選局する」(P.88) をご覧ください。

放送局リストを利用する

選局する

登録した放送局を、放送局リストから選局します。

ここまでの操作



1 目的の放送局をタッチする



選択した放送局が受信されます。



- AVコントロールバーの **前P.CH**、**次P.CH** をタッチして、放送局を切り替えることもできます。
- AMラジオ、FMラジオを切り替えるには、「AM/FMを切り替える」(Q-P.90) をご覧ください。

放送局名を編集する

登録した放送局の名称を編集できます。



- 走行中は本操作を行えません。
- 「お出かけ」モードに設定されている場合は、放送局名は表示されますが編集はできません。

ここまでの操作



1 名称を変えたい放送局をタッチする

2 **設定** をタッチする

3 **受信局編集** をタッチする



4 **放送局名** をタッチする



5 放送局を入力し、**決定** をタッチする

ラジオの設定を変更する

受信エリアを切り替える



- 走行中は本操作を行えません。

エリアを切り替える

受信エリアを正しく設定することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。

ここまでの操作



FM/AM



リスト

1 **設定** をタッチする

2 **エリア選択** をタッチする

3 エリアをタッチする



放送局エリアが切り替わります。



- **ユーザータイトルを使用** をタッチすると、ご自分で登録した放送局名 (P.88) を表示できます。
- 「お出かけ」モード選択時は、**ユーザータイトルを使用** は表示されません。

Memo



オーディオ・ビジュアル編

テレビを観る

本機では、地上デジタル放送のテレビをお楽しみいただけます。

テレビの基本的な操作方法については、**Q-P.91～Q-P.94**をご覧ください。

地上デジタル放送とは	92
テレビを視聴する前に	94
ワンセグ放送と12セグ放送を切り替える	96
地上デジタル放送を観る	97
よく観る放送局を登録して利用する	99
便利な放送を利用する	104
地上デジタル放送の受信設定をする	107

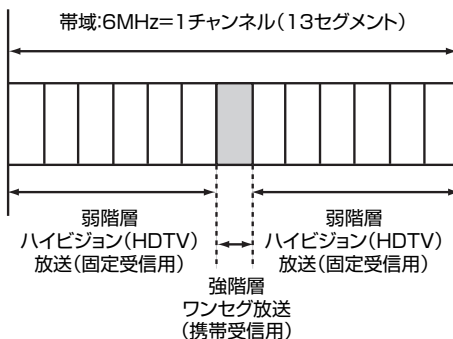
地上デジタル放送とは

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。本機では、ワンセグ／12セグの地上デジタル放送を楽しめます。

12セグとワンセグについて

日本の地上デジタル放送は、UHF帯域の電波を使用しており、約6MHzの帯域を1つのチャンネルとして13個のセグメントと呼ばれる領域に分けて放送する仕組みとなっています。そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の固定受信向けのHDTV放送（弱階層）を行うサービスを12セグと呼びます。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けの簡易動画放送（強階層）を行うサービスです。

ワンセグは12セグに比べると画質や音質は劣りますが、電波の到達距離は12セグより長く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる特長を備えています。



マルチチャンネル放送について

地上デジタル放送では、1つの放送局が図のように周波数帯域を2～5に分け、それらを組み合わせることでチャンネルを構成しています。

	A 放送局		
	〇〇〇ch	△△△ch	×××ch
6 時	プロ野球中継 (デジタルハイビジョン放送)		
7 時	プロ野球 (標準テレビ放送)	ドラマ (標準テレビ放送)	ニュース (標準テレビ放送)
8 時	映画 (デジタルハイビジョン放送)		

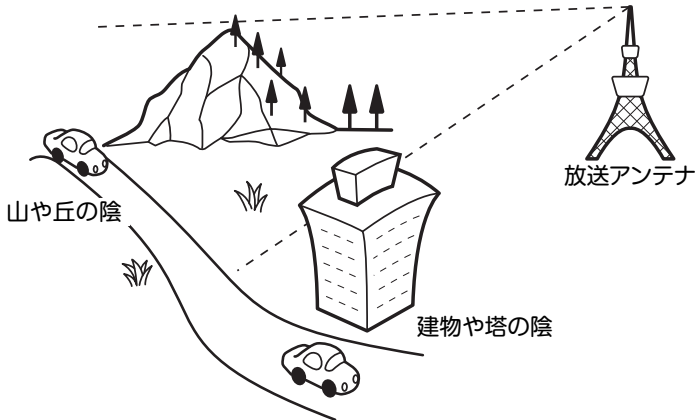
上記の例で、6時台は〇〇〇chと△△△chと×××chのすべてを使いプロ野球を放送。7時台は〇〇〇chでプロ野球、△△△chでドラマ、×××chでニュースをそれぞれ放送。8時台は、〇〇〇chと△△△chと×××chのすべてを使い映画を放送、などのような編成ができます。上記の放送の例では、〇〇〇chをメインチャンネル、△△△chと×××chをサブチャンネルと呼びます。

本機はマルチチャンネルに対応しています。

テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

- 車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
- 放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
- 電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。



アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

テレビを視聴する前に

テレビを視聴するために必要なB-CASカードについて説明します。

B-CASカードとは

B-CASカードは、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。地上デジタル放送では、このB-CASカードがセットされていないと放送をご覧になれません。地上デジタル放送を視聴するときは、必ず本機にB-CASカードを入れてください。



- B-CASカードは本機に付属のものを使用してください。

B-CASカードについて

- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送しています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。
- B-CASカードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わるとB-CASカードが故障する恐れがあります。
- B-CASカードのIC（集積回路）部は触らないでください。IC部に触れるとB-CASカードが故障する恐れがあります。
- B-CASカードを直射日光に当たるところに長時間放置しないでください。高温によりB-CASカードが故障する恐れがあります。
- B-CASカードを磁石の近くやテレビの上など、磁気がある場所に放置しないでください。磁気によりB-CASカードが故障する恐れがあります。
- 試乗車など、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
※試乗車の場合は、特別用途向けカードをご使用ください。

B-CASカードを台紙からはがす

B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、ご使用ください。お客様がカードのパッケージを開封した時点で、カード台紙に記載の「B-CASカード利用許諾契約約款」を締結したことになります。

B-CASカードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。B-CASカスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。



- B-CASカードに関する内容の問い合わせや、B-CASカードを紛失された場合は、下記の問い合わせ先へ連絡してください。
株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL: 0570-000-250 (AM10:00～PM8:00) (年中無休)
- お問い合わせ時にB-CASカードのID(識別)番号が必要となる場合があります。あらかじめB-CASカードのID番号は控えておいてください。

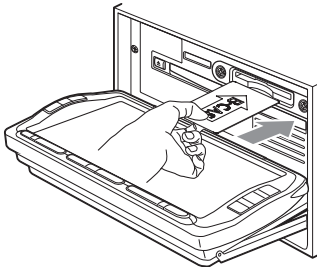
B-CASカードを使う

B-CASカードを入れる



- B-CASカードの抜き差しは、必ず本機の電源を切った状態（イグニッションキーを「O」にする）で行ってください。
- 故障の原因となりますので、カード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 車から離れる時は、必ず操作パネルを閉じてください。

- 1 本機の電源を切る（イグニッションキーを「O」にする）
- 2 操作パネルを開く
- 3 ICチップ面を下にして、B-CASカードをカード挿入口に挿入する



- B-CASカードは手でしっかりと持って挿入してください。
- B-CASカードを入れる向きを間違えないようにしてください。入れる向きを間違えると地上デジタル放送を視聴できません。
- B-CASカードは必ず奥に突きあたるまで差し込んでください。奥まで差し込まれていないと、操作パネルが閉じなくなり、受信できません。

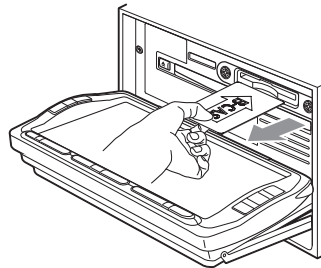
- 4 操作パネルを閉じる

B-CASカードを抜く



- B-CASカードの抜き差しは、必ず本機の電源を切った状態（イグニッションキーを「O」にする）で行ってください。
- 車から離れる時は、必ず操作パネルを閉じてください。

- 1 本機の電源を切る（イグニッションキーを「O」にする）
- 2 操作パネルを開く
- 3 静かにB-CASカードを抜く



- B-CASカードは指先でしっかりとつまんでゆっくりと抜いてください。

- 4 操作パネルを閉じる

テレビを
観る

ワンセグ放送と12セグ放送を切り替える

ワンセグ／12セグの自動切替機能について

本機の地上デジタルTVチューナーは、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12セグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。

自動切替機能ON時に、12セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。



- ワンセグ放送の受信感度が悪い場合や12セグ放送で視聴していたチャンネルがワンセグ放送にならない場合には、自動切替機能は働きません。ただし放送局によっては、ワンセグ放送を行っていないのにワンセグと認識してデータが送信され、自動切替機能が動作する場合があります。
- 自動切替機能をONに設定していると、手動でワンセグ放送に切り替えても12セグ放送の受信電波が強くなった場合は、12セグ放送に切り替わります。
- 放送局によっては、12セグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。
- 自動切替機能OFF時に、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わらずに、12セグ放送の映像が静止画で表示されます。(「ノイズコンシールメント機能」(P.108))

手動で切り替える

視聴する放送を手動で切り替えます。

1

ワンセグ をタッチする

ワンセグ をタッチするたびに、ワンセグ放送と12セグ放送が切り替わります。



- 12セグ放送のサブチャンネル(P.92)を視聴しているときにワンセグ放送に切り替え、再度12セグ放送に切り替ええると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

地上デジタル放送を観る

選局する

チャンネル番号を入力して選局する

12セグ放送のメイン／サブチャンネル、およびワンセグ放送のメイン／サブチャンネルを直接入力して選局することができます。

ここまでの操作



- 1 観たい3桁チャンネル番号を入力し、**決定** をタッチする



- 3桁に満たない番号を入力した場合は、エラーとなります。
- ワンセグ自動切替（P.107）が「しない」の場合、ワンセグ放送を選んでいるときはワンセグの3桁チャンネル番号のみ入力を受け付けて選局できます。12セグ放送を選んでいるときは、12セグの3桁チャンネル番号のみ入力を受け付けて選局できます。いずれも放送局がない場合は、入力した番号がキャンセルされるので再入力します。
- ワンセグ自動切替が「する」の場合は、ワンセグ／12セグのどちらの3桁チャンネル番号を入力しても放送局があれば選局されます。
- プリセットチャンネルリストで観たい番組のチャンネル番号をタッチし、直接選局することもできます。

番組表(EPG)から選局する

観たい番組を番組表から探して選局します。

ここまでの操作



- 番組表は、他のソース選択時やオーディオパワー OFF時などテレビモードがOFFのときに、15分ごとに自動で更新されます。

- 1 ▲、▼、▶、◀ で観たい番組を選択し **決定** をタッチする



選択した番組の放送を受信します。

前日：

翌日以降の番組表を参照中に、前日の番組表を表示します。

翌日：

翌日の番組表を表示します。

番組内容：

番組の詳細内容を表示します。

拡大縮小：

タッチすると4パターンの拡大縮小画面が表示されます。

受信可能な中継局／系列局を探す

走行中に受信状態が悪くなった場合などに、中継局や系列局を探して切り替えることができます。

はじめに中継局を探し、中継局がなければ系列局を探します。



- 系列局に切り替わった場合、時間帯によって番組内容が異なることがあります。
- 切り替わった中継局／系列局は、プリセットチャンネルリストに自動登録されません。

1 走行中に **系列局** をタッチする

走行エリア内で、受信状態の良い中継局／系列局を探索し切り替えます。

異なる地域をまたいで走行する場合は、中継局／系列局を自動で探し出して受信することができます。詳しくは、「系列局自動サーチ」(P.108)をご覧ください。

よく観る放送局を登録して利用する

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局を登録できるチャンネルです。何度もチャンネルを合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。

プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。詳しくは「放送局をリストに登録する」(P.100)をご覧ください。



プリセットチャンネルリスト
(放送局リスト)

「ホーム」と「お出かけ」を使い分ける

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「ホーム」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「ホーム」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。

12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにバンドを切り替え、再度元のバンドに戻ると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。



それぞれのキーをタッチすると、放送局リストの表示が切り替わります。

自動表示メッセージについて

テレビを視聴中に、放送局から自動的に送られてくるメッセージがある場合は、そのメッセージ内容が画面上に表示されます。



メッセージ削除 をタッチすると、自動表示メッセージが消去されます。表示されない場合は、自動表示メッセージは消去できません。放送局側によって自動消去されるまでお待ちください。

放送局をリストに登録する

よく観る放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ放送局を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、ホームモードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで12個までです。



- **ホーム**、**お出かけ** をタッチしてモードを切り替えると、2種類の放送局リストを登録できます。
- プリセットチャンネルに登録される放送局は、12セグのメインチャンネルのみです。ワンセグや12セグのサブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルに登録しても、そのメインチャンネルが登録されます。

手動で登録する

ここまでの操作



1 ◀▶ または ▶▶ をタッチして、登録したい放送局を受信する

2 登録するチャンネルを、「ピーツ」という音がするまでタッチし続ける



受信中の放送局が、そのチャンネルに書き登録されます。



- 登録した放送局を観るには、「選局する」(P.102)をご覧ください。

自動で登録する(オートプリセット)

ここまでの操作



1 APS をタッチする

2 はい をタッチする

受信可能な放送局が、自動的に書き登録されます。

受信した放送局は、決められたプリセットチャンネルに登録されます。



- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- 登録した放送局を観るには、「選局する」(P.102)をご覧ください。
- 受信状態によっては、約1分ほど処理時間がかかることがあります。
- オートプリセット中は、◀▶ ▶▶ を押してキャンセルすることができます。
- リモコンからオートプリセットを行った場合は手順2の確認画面は表示されず、すぐにオートプリセットが開始されます。
- オートプリセットを行うと、現在のプリセットチャンネルに書き登録されます。以前に手動で登録したプリセットチャンネルがクリアされる場合もあります。
- オートプリセットを途中解除した場合は、プリセットチャンネルの内容は書き換わらず、プリセットチャンネルのうち、オートプリセット前に受信していたチャンネルが選局されます。
- 地域設定 (P.108) で優先エリアに指定されている地域の番組は、優先的にプリセットチャンネルに登録されます。
- 県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合は、オートプリセットしたリスト内の未登録のプリセットチャンネルに割り振られます。
- 空きプリセットチャンネル数により、オートプリセットした結果が全部は登録できない場合があります。

放送局リストを利用する

選局する

登録した放送局を、放送局リストから選局します。

ここまでの操作



TV



リスト

1 目的の放送局をタッチする



選択した放送局の番組が受信されます。



- AVコントロールバーの「前P.CH」、
「次P.CH」をタッチして放送局を切り替えることもできます。
- 映像画面をタッチして表示される放送局リストからも、同様の操作ができます。

メインチャンネル／サブチャンネルを選局する

選局する

3桁チャンネル番号のメインチャンネル／サブチャンネルを自動的に選局します。

ここまでの操作



1 **◀◀** または **▶▶** をタッチする



現在受信中のチャンネルを含む次、または前のチャンネルのメインチャンネル／サブチャンネルを探して選局します。



- 地図画面でメイン／サブチャンネルを選局するには、AVコントロールバーの **前P.CH** または **次P.CH** をタッチします。

緊急放送を観る

緊急放送とは、災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者に、いち早く情報を知らせる放送システムです。

デジタル放送受信中に緊急放送が始まると、画面に「緊急放送」または「EWS」(Emergency Warning System) と表示され、自動で緊急放送に切り替わります。



放送が終了すると、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。



- 緊急放送中でもチャンネル切り替えなどの操作はできます。
- 切り替えた放送局が緊急放送中の場合も、同様に緊急放送が表示されます。

音声を切り替える

2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えたり、主音声や副音声に切り替えたりします。

音声を切り替える

1 受信中に映像画面で「音声」をタッチする

現在選択中の音声が表示されます。



受信される番組は、それぞれ音声種類を持っています。「音声」をタッチするたびに12セグ放送は最大16音声まで、ワンセグ放送は2音声まで切り替えられます。また、音声多重放送時には各音声の主音声と副音声を切り替えられます。

12セグ放送の場合

第1音声（主）→第1音声（副）→
第2音声（主）→第2音声（副）→
…第16音声（主）→第16音声（副）
→第1音声（主）…

ワンセグ放送の場合

第1音声（主）→第1音声（副）→
第2音声（主）→第2音声（副）→
第1音声（主）

2ヶ国語放送受信中などで番組に主音声、副音声がある場合は、「音声」をタッチして切り替えることができます。

副音声の状態では他のチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声で放送されていればそのまま継続されます。

副音声の状態でも再度「音声」をタッチすると、主音声に切り替わります。



• 音声情報のない箇所は飛ばして切り替わるので、必ずしも上記の動作にはなりません。

地上デジタル放送の受信設定をする

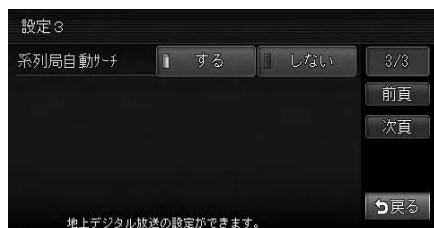
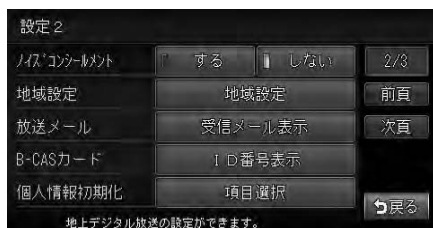
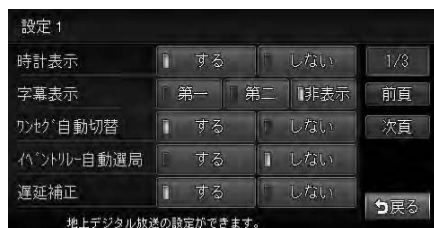
地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送で12セグとワンセグ共通の各種設定・編集ができます。

ここまでの操作



設定メニュー画面が表示されます。



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
時計表示	操作メニューの表示が消えたあとも映像上に時計のみを表示する	する [*] ／しない	—
字幕表示	映画やドラマなど字幕のついた番組受信中に字幕を表示する機能を設定する 表示する場合は「第1」「第2」の各言語から選択します。	第1／第2／非表示 [*]	—
ワンセグ自動切替	12セグ受信中に受信感度が悪くなった場合、自動でワンセグモードへ切り替える機能を設定する	する [*] ／しない	—
イベントリレー自動選局	放送中に放送局が変更される番組について、放送局の切り替えを自動で行う	する／しない [*]	—
遅延補正	12セグ／ワンセグ自動切替時の映像／音声ズレを軽減する	する [*] ／しない	—

地上デジタル放送の受信設定をする

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
ノイズ コンシールメント	受信が困難になったときに、表示可能な最後の画面を静止画として表示する	する／しない*	—
地域設定	オートプリセット実行時に重複した放送局がある場合の表示優先順位を決定する またデータ放送受信時に、地域情報を取得するために郵便番号を設定する	東京*	P.108
放送メール	放送局から送られてくるメールの内容を表示する	—	P.109
B-CASカード	B-CASカードのID情報を表示する	—	P.110
個人情報初期化	個人情報を初期化する	—	P.110
系列局自動サーチ	30秒間受信レベルが回復しない場合、走行地域を考慮して中継局／系列局を自動で検出する	する*／しない	—

優先エリアを切り替える

県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されるよう設定します。またデータ放送受信時に地域情報を取得するために郵便番号を設定します。

ここまでの操作



1 [地域設定] の **地域設定** をタッチする

エリア選択画面が表示されます。

2 優先させたい放送局エリアをタッチして、**決定** をタッチする



3 放送局エリアの郵便番号を入力し、**決定** をタッチする



- エリアのみ設定したい場合や、その地域の郵便番号が不明な場合には、ランダムな数字を入力してください。（ゼロを7桁入力した場合は設定できません）データ放送は受信できませんが、エリア設定を行うことができます。

放送メールを表示する

放送局から送られてくるメールの内容を表示できます。

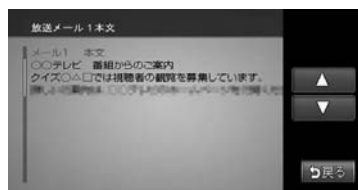
ここまでの操作



1 [放送メール] の 受信メール表示 をタッチする

放送メール一覧画面が表示されます。すでに表示したメールは「既読」が、まだ表示していないメールには「未読」が表示されます。

2 表示させたいメールをタッチする



選択した放送メールの内容が表示されます。



- 放送メールの内容が複数ページあるときは、▲ ▼ で画面をスクロールして表示します。
- 受信した放送メールは最大8個まで保存されます。8個以上の放送メールを受信した場合は、一番古い放送メールが自動的に削除されます。一番古いメールが未読状態でも削除されます。すべての放送メールを削除することもできます。(P.110)
- 放送メールの受信が1通もない場合、受信メール表示 はタッチできません。

B-CASカードのID情報を確認する

ここまでの操作



1 [B-CASカード] の ID番号表示 をタッチする

B-CASカードIDの確認画面が表示されます。

2 B-CASカードのID情報などを確認する



テスト をタッチすると、B-CASカードの通信テストを行います。通信テストがエラーの場合、番組放送画面に戻るときにメッセージが表示されます。メッセージの内容にしたがって対処してください。



- B-CASカード未挿入時には、B-CASカードID番号表示画面の「グループID」以外に「-----」が表示されます。

個人情報を初期化する

ここまでの操作



1 [個人情報初期化] の 項目選択 をタッチする

2 初期化したい個人情報をタッチする



削除の確認画面が表示されます。

全データの初期化：

設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化します。また、放送メールをすべて消去します。

受信メールの消去：

放送メールをすべて消去します。

各種設定の初期化：

設定メニューで設定した項目を初期化します。プリセットチャンネルリストの初期化および放送メールの消去は行いません。

3 はい をタッチする

選択した各設定が初期化されます。



- 初期化メッセージ表示中には、エンジンを切らないでください。初期化中にエンジンを切った場合、初期化できないことがあります。



オーディオ・ビジュアル編

DVDを観る

本機では、市販されているDVDビデオ、またご家庭などで録画されたDVD-VRをお楽しみいただけます。DVDビデオとDVD-VRでは操作方法が異なります。ご利用になるDVDの種類に該当する箇所をご覧ください。

DVDの基本的な操作方法については、**Q-P.95～Q-P.100**をご覧ください。

本機で使えるDVD	112
いろいろな再生方法	113
いろいろな操作方法	116
DVDビデオの初期設定を変更する	118

本機で使えるDVD

再生できるディスク

-  のついているディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
- DVD-VR

再生できないディスク

- 8cmディスク
- 異形のディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
- パケットライト方式で記録されたディスク
- ご家庭でハイビジョン録画したディスク
- DVD-RAM
- デュアルディスク（Dual Disc）は、ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。
- ラベルを貼り付けたディスクは、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

※ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。

いろいろな再生方法

DVDビデオの再生方法

タイトル・チャプター番号を入力して再生する

ここまでの操作



DVD/CD



サーチ

- 1 タイトル番号またはチャプター番号を入力し、**決定** をタッチする



チャプター :

チャプター番号を入力するときにタッチします。

タイトル :

タイトル番号を入力するときにタッチします。

- 2 **戻る** をタッチする

入力したタイトルまたはチャプターが再生されます。

メニューから再生する

DVDビデオディスクには、そのディスク特有のDVDメニュー（ディスクメニュー）が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、観たい映像をすぐに再生できます。表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

ここまでの操作



DVD/CD



メニュー操作



- 「操作はできません」と表示された場合は、DVDビデオのディスク自体にメニューが設定されていません。

- 1 **トップメニュー** または **メニュー** をタッチする

トップメニューまたは再生中のチャプターのメニューが表示されます。

- 2 **▲**、**▼**、**▶**、**◀** をタッチして、選択したいメニューにカーソルを移動し、**決定** をタッチする



選択したメニュー項目が再生されます。



- **10キー** をタッチすると、メニュー番号を直接入力してメニュー項目を選択できます。

DVD-VRの再生方法

DVD-VRのディスクでは、以下の方法で再生することができます。

- タイトルリストからタイトルを直接選択して再生する
- お手持ちのDVDレコーダーで作成したプレイリストから再生する



• プレイリスト…DVD映像の好みのシーンだけに編集し、独自に作成したタイトルのこと

タイトルリストから再生する

ここまでの操作



DVD/CD



リスト

1 観たいタイトルをタッチする



選択したタイトルが再生されます。



- **番号指定** をタッチしてタイトル番号を入力すると、入力した番号が先頭になったタイトルリストが表示されます。

2 戻る をタッチする

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

プレイリストから再生する

1 **プレイリスト** をタッチする

プレイリストがONになります。

2 **リスト** をタッチする

プレイリストが表示されます。

3 観たい項目をタッチする



選択した項目が再生されます。



- **番号指定** をタッチしてプレイリスト番号を入力すると、入力した番号が先頭になったプレイリストが表示されます。

4 **戻る** をタッチする

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

リピート・スキャン再生をする

1つのチャプターまたはタイトルを繰り返して再生したり、10秒間ずつ順に再生できます。



- DVD-VRでプレイリストを利用して再生している場合は、リピート再生、スキャン再生を行えません。

リピート・スキャン再生をする

ここまでの操作



DVD/CD



機能

- 1 目的の項目の **CHAPTER** または **TITLE** をタッチする



- 2 **戻る** をタッチする

選択した動作で再生が始まります。



- 通常再生に戻すには、手順1を操作して、**CHAPTER** または **TITLE** をタッチしてオフの状態にします。
- スキャン再生は、早送り／早戻ししたときに自動的に解除されます。

いろいろな操作方法

画面サイズを切り替える

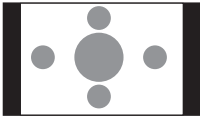
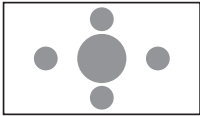
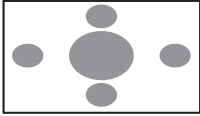


- ・状態表示をオンに設定している場合は、画面サイズは常に「フルワイド」で表示されます。画面サイズを切り替える場合は、状態表示をオフに設定してください。(P.124)

ここまでの操作



画面サイズを選択してタッチすると、選択したサイズで画面が表示され、通常の映像画面に戻ります。

設定項目	設定の内容
ノーマル 	映像が縦横の比率を変えずに中央に表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。
ワイド 	映像の左右部分が横に広がって画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合に違和感を少なく表示できます。
フルワイド 	映像が画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。
シネマ 	通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使います。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

字幕・音声・アングルを切り替える

DVDビデオの字幕言語・音声言語・アングルを切り替える

DVDに字幕、複数の音声およびアングルが収録されている場合のみ有効です。

ここまでの操作



1 **アングル**、**字幕**、**音声** のいずれかをタッチする



タッチするたびに字幕言語、音声言語、アングルの設定が切り替わります。



- 初期設定 (P.118) で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
- 「OFF」を表示させると、字幕を消せます。

2 **戻る** をタッチする

設定が確定し、映像画面に戻ります。

DVD-VRの字幕表示・音声を切り替える

DVDに字幕、複数の音声が入力されている場合のみ有効です。

ここまでの操作



1 **字幕** または **音声** をタッチする



タッチするたびに、字幕または音声の設定が切り替わります。



- 画面上部に、現在の設定が表示されます。
- タッチすることにより音声は以下のとおりにより切り替わります。
ストリーム1→ストリーム2→出力チャンネルLL→出力チャンネルRR→出力チャンネルLR→ストリーム1

2 **戻る** をタッチする

設定が確定し、映像画面に戻ります。

DVDビデオの初期設定を変更する



- 初期設定画面から各設定画面に移動すると、DVDの再生は停止します。設定終了後は、DVDの再生が始まりますが、設定内容によって再生が始まる位置が異なります。DVDの先頭から再生されることもあれば、設定前の場所から再生が始まることもあります。
- 以下の初期設定画面で何もせずに画面を閉じると、設定前の場所から再生が始まります。

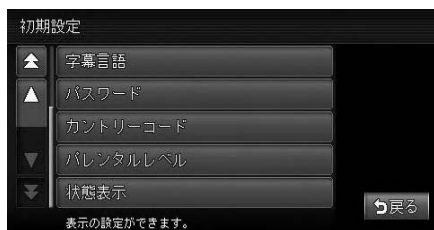
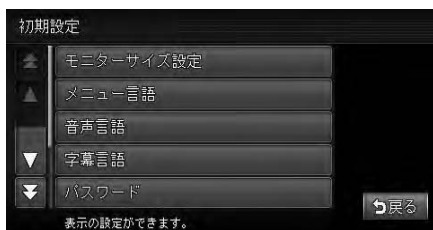
ここまでの操作



DVD/CD

機能

初期設定



設定項目	設定の内容	参照ページ
モニターサイズ設定	優先的に再生するモニターサイズを切り替える	P.119
メニュー言語	メニューで優先表示される言語を切り替える	P.120
音声言語	再生時に優先される音声言語を切り替える	P.120
字幕言語	優先的に表示される字幕言語を切り替える	P.120
パスワード	視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・編集する	P.122
カントリーコード	視聴制限レベルを適用する国を設定する	P.123
パレンタルレベル	成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場合に視聴制限をかける（視聴制限対応ディスクのみ）	P.123
状態表示	再生状態（タイトル番号、チャプター番号、再生時間）を表示するかしないかを設定する	P.124

モニターサイズを設定する



- 収録されているモニターサイズは、ディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」または「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生される場合があります。

ここまでの操作



DVD/CD

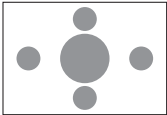
機能

初期設定

モニターサイズ設定



優先的に再生する画面サイズをタッチします。

設定項目	設定の内容
ワイド 	映像が画面にぴったり納まります。映像と画面の比率が違う場合は、変形して表示されます。映像が切れる部分はありません。
パンスキャン 	画面の上下と映像の高さが合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、映像の左右が切れて表示されます。
レターボックス 	画面の横幅と映像の幅が合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、上下に黒い帯が表示されます。

言語を設定する

メニュー・音声・字幕言語を設定する

再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語のそれぞれについて設定できます。ここでは、メニュー言語の設定を例として説明しています。

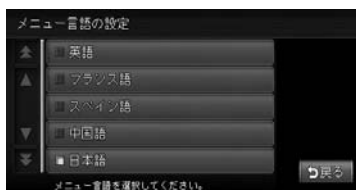


- 本設定は、DVD再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

ここまでの操作



1 言語をタッチする



- 英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語から選択できます。

パレンタルレベルとパスワードを設定する

パレンタルレベルとは、お子様に対しDVDの視聴を制限させるために設定するものです。パレンタルレベルの設定には、パスワードが必要です。

■視聴制限（パレンタルレベル）について

DVDビデオには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。パレンタルレベルはレベル1～8まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。レベル1が最も制限が厳しいパレンタルレベルです。視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できないことがあります。

例：DVDの視聴制限がレベル3の場合

本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル4～8」の場合のみ、再生できます。

本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル1～3」の場合は、再生しようとすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。

また、パレンタルレベルは国によって異なるため、カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまく機能しない場合があります。



- 初期設定は「パレンタルレベルOFF」です。
- パレンタルレベルは、DVDのパッケージなどに記載されています。パッケージにパレンタルレベルが記載されていないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。



- 初めてパレンタルレベルの設定をする場合は、「パスワードを設定・変更する」（P.122）をご覧ください。

パスワードを設定・変更する

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。



- パスワードの初期設定は「0000」です。

ここまでの操作



- 1 パスワード（新規パスワード設定の場合は任意の4桁）を入力して、**決定** をタッチする



入力されたパスワードは、「※※※※」と表示されます。

新規パスワード設定の場合は手順4に進みます。

- 2 **パスワードの変更** をタッチする



- 3 新しいパスワードを入力して、**決定** をタッチする



- 4 もう一度同じパスワードを入力して、**決定** をタッチする
新しいパスワードが設定されます。

パスワードを消去する

設定したパスワードを消去します。

ここまでの操作



- 1 パスワードを入力して、**決定** をタッチする
パスワードが一致すると、パスワード編集画面が表示されます。
- 2 **パスワードの消去** をタッチする
- 3 **はい** をタッチする
パスワードが消去されます。

パレンタルレベルを設定する

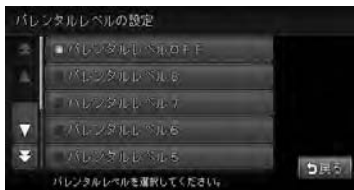


- パレンタルレベルを変えするときの警告で「パレンタルレベル変更」をタッチしても、同様の操作ができます。

ここまでの操作



- 1 パスワードを入力して、**決定** をタッチする
- 2 設定したいパレンタルレベルをタッチする



パレンタルレベルが設定されます。



- **パレンタルレベルOFF** をタッチすると、パレンタルレベルは設定されず、すべてのDVDビデオのパレンタルレベルに対して視聴制限が解除されます。

カントリーコードを設定する

パレンタルレベルは国によって内容が異なります。本機でパレンタルレベルを正しくお使いになるには、DVDのカントリーコードを設定する必要があります。カントリーコードは、国を識別するためのコードです。カントリーコードについて詳しくは、「カントリーコード一覧」(P.261)をご覧ください。



- 初期状態では、「7480 (JAPAN)」が設定されています。

ここまでの操作



- 1 DVDに記録してある国（または地域）のカントリーコードを入力して、**決定** をタッチする



カントリーコードが設定されます。

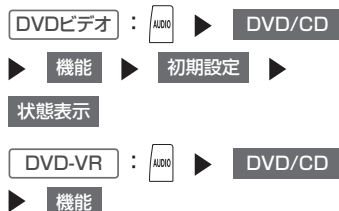
常に再生状態を表示する

この設定は、DVD-VRでも行えます。

状態表示を設定する

DVDの再生画面に、常に再生状態（チャプター番号、再生時間）を表示できます。

ここまでの操作



- 1 常に状態を表示する (DVDビデオ)、または 状態表示 (DVD-VR) をタッチする

DVDビデオ



DVD-VR



再生状態の表示が設定されます。



- 再生状態の表示を解除する場合は、**常に状態を表示する** または **状態表示** を再度タッチします。
- リア席モニター接続時、再生状態を表示するよう設定すると、リア席モニターにも再生状態が表示されます。なお、映像をリア席モニターから本機の画面に切り替えたときに、リア席モニターの再生状態の一部が本機の画面に残ることがあります。

再生状態表示画面





オーディオ・ビジュアル編

CD・MP3・WMAの音楽を聴く

本機では、CD、MP3／WMA形式の音楽データを保存したディスク、SDカード、USBメモリーをお楽しみいただけます。

CD、MP3、WMAの基本的な操作方法については、**Q-P.101～Q-P.106**をご覧ください。また、USBメモリーの操作方法については、**P.145**からの説明をご覧ください。

本機で使えるCD	126
本機で使えるMP3・WMA	127
いろいろな再生方法	131
情報を表示する	134

本機で使えるCD

再生できるディスク

- 音楽CD ( のついてるディスク)
- CD-TEXTディスク
- CD-Extraディスク ※ただし音楽CDとして
- Super Audio CD ※ハイブリッドディスクのCD層のみ
- パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク※¹
- 音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク※²
- コピーガード付きCD※³

※¹ アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。

※² 正常に再生できないこともあります。またCD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

※³ 再生できないこともあります。

再生できないディスク

- 8cmディスク
- 異形のディスク
- MIX MODE CD
- CD-DA以外のディスク（オーバークランCDなど）
- DTS CD
- ビデオCD
- ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク
- デュアルディスク（Dual Disc）は、ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。
- ラベルを貼り付けたディスクは、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

本機で使えるMP3・WMA

MP3とは、MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3ファイルは、元の音楽データを約1/10サイズに圧縮したものです。

WMAとは、Windows Media Audioの略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。本機では、MP3またはWMAファイルの記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDカード、USBメモリーを再生することができます。

再生できるMP3・WMAファイル

- 記録メディア※1：
CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDカード、SDHCカード、USBメモリー
- 記録フォーマット：
CD：ISO9660レベル1／レベル2、Joliet、Romeo
DVD：UDF（Ver1.02のみ）、UDF-ブリッジ、ISO9660レベル1／レベル2、Romeo
SDカード／USBメモリー：FAT16、FAT32
- バケットライトには非対応
- 拡張子が.MP3、または.WMAのファイル（雑音や故障の原因となるため、MP3／WMAファイル以外には「.MP3」「.WMA」の拡張子をつけないでください）
※1 マルチセッション対応で記録したディスクは、最大40セッションまで再生可能です。（DVD-R／RWはマルチセッション未対応）

MP3ファイルについて

- ID3-Tag：Ver1.x、2.xのalbum（Disc Titleとして表示）、track（Track Titleとして表示）、artist（Track Artistとして表示）の表示に対応
- エンファシス：44.1kHzのファイル再生時のみ対応
- 再生可能なサンプリング周波数
MPEG1：44.1kHz/48kHz/32kHz
MPEG2：22.05kHz/24kHz/16kHz
※音質面においては44.1kHz以上を推奨
- 再生可能なビットレート
MPEG1：32kbps～320kbps
MPEG2：8kbps～160kbps
※音質面においては128kbps以上を推奨
- MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマット非対応
- VBR（バリエابلビットレート）で記録されたMP3ファイルは音飛びする場合があります。
- 記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。
- ディスク、SDカードまたはUSBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 低ビットレートのファイルを早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。
- Windows Media Player、iTunes以外のTAG編集ソフトでTAG情報を変更すると、TAGが正常に表示されないことがあります。

WMAファイルについて

- 作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
- WMA9 Professional、WMA9 Voice、WMA9ロスレスフォーマット非対応。
- ディスクまたはSDカード／USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数は記録メディアによって異なります。下記の表をご参照ください。
- 再生可能なビットレートは記録メディアによって異なります。下記の表をご参照ください。

	ディスク	SDカード	USBメモリー
ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)
192	48/44.1	48/44.1	48/44.1
160	48/44.1	48/44.1	48/44.1
128	48/44.1	48/44.1	48/44.1
96	44.1	48/44.1	44.1
80	44.1	44.1	44.1
64	44.1	48/44.1/32	44.1/32
48	44.1/32	44.1/32	44.1/32
44	—	32	32
40	32	32	32
36	—	32	32
32	44.1/32/22.05	44.1/32/22.05	44.1/32/22.05
22	22.05	32/22.05	—
20	32/22.05	44.1/32/22.05/16	—
16	22.05	22.05/16	—
VBR*	48/44.1	48/44.1	44.1

※ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。

MP3・WMAの記録メディアについて

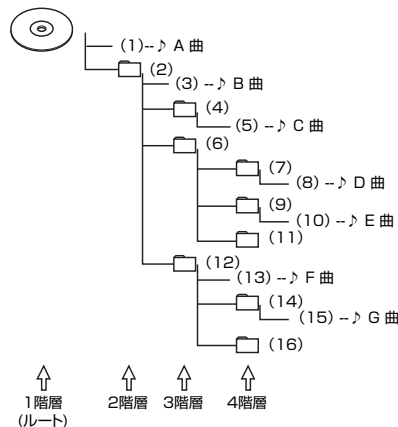
- ディスク内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
 - フォルダ：255（ルートを含む）
 - ファイル：512（1フォルダあたり最大255）
 - SDカード内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
 - フォルダ：500
 - ファイル：4000（1フォルダあたり最大99）
 - USBメモリー内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
 - フォルダ：500
 - ファイル：8000（1フォルダあたり最大：255）
- ※32GBまでの容量の、SDカードまたはUSBメモリーに対応

ディスクのフォルダ構成

MP3／WMAファイルを記録したディスクのイメージ（例：1～4階層の場合）は、下図のようになります。

曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。

下図の場合の再生順序は、(1) → (3) → (5) → (8) → (10) → (13) → (15) となります。

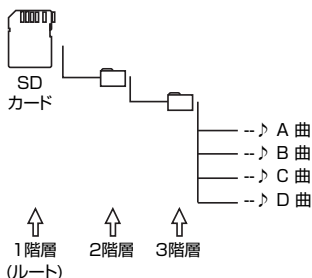


- ディスクの場合、8階層（ルートディレクトリを含む）までのMP3／WMAファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。

SDカード／USBメモリーのフォルダ構成

MP3／WMAファイルを記録したSDカードのイメージは、下図のようになります。SDカードでは3階層目にあるMP3／WMA音楽ファイルのみが認識されます。曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。

下図の再生順序は、アルファベット順となります。



USBメモリーでは階層の指定はなく、MP3／WMA音楽ファイルのみが認識されます。

- MP3／WMAファイルを含まないフォルダは認識されません。
- USBメモリーの場合、8階層（ルートディレクトリを含まない）までのMP3／WMAファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。
- SDカードの場合、3階層目にあるMP3／WMAファイルの再生のみに対応しています。
- SDカードで1つのフォルダに99以上のトラックが入っている場合、またはUSBメモリーで1つのフォルダに255以上のトラックが入っている場合はパソコンでデータが書き込まれた順序により、認識されるトラックは変わります。
- SDカード／USBメモリーで1つのフォルダにMP3／WMAファイル以外のファイルを入れた場合、認識されるトラック数が少なくなることがあります。
- SDカード／USBメモリーの各階層で認識可能なフォルダ数は最大500（2階層：アーティスト名フォルダ、3階層：アルバム名フォルダとも）になります。

本機でMP3/WMAを再生するためのご注意

- 最大数を超えてフォルダ・ファイル・トラックが記録されているディスク、SDカード、USBメモリーの場合、超過しているフォルダ・ファイル・トラックは本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- フォルダを含めたファイル名が長い場合、そのファイルは再生できないことがあります。
- MP3／WMAのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./m/.mp/.W/.WM）が残る場合があります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）
- SDカード、USBメモリーとも、著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。

いろいろな再生方法



- 再生中のディスクおよびトラックタイトルなどの情報は、本機内にあるGracenote Music Recognition ServiceSMの情報です。またCD-TEXT対応ディスクであれば、ディスク内の情報を表示できます。
- Gracenote Music Recognition ServiceSMからタイトル情報が得られない場合や、CDからCD-TEXTの情報が得られない場合は、トラックタイトルは表示されず、「Track01」などの番号が表示されます。
- Gracenote[®] Music Recognition ServiceSMについて（P.266）をご覧ください。
- ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）を再生すると、トラックとトラックの間に2～3秒の無音部が空いて再生されます。

フォルダ、トラックを選ぶ

タイトルリストから選択したり、番号を入力してフォルダやトラックを再生します。



- 本機では、CDを録音して再生できるMUSIC RACKという機能があります。初期状態では、CDを挿入すると、自動的に録音が始まるよう設定されています。

タイトルリストから再生する

ここまでの操作



1 フォルダをタッチする（MP3／WMA再生時のみ）

フォルダリスト



選択したフォルダの先頭から再生がはじまります。

聴きたいトラックを指定する場合、またはフォルダが設定されていない場合は、手順2に進んでください。

2 トラックをタッチする

トラックリスト



選択したトラックから再生がはじまります。

番号を入力して再生する

フォルダ番号やトラック番号を入力して、目的のトラックを検索します。

ここまでの操作



- 1 フォルダリスト画面で **番号指定** をタッチする (MP3/WMA再生時のみ)

フォルダ番号を指定しない場合は、手順3に進んでください。

- 2 フォルダ番号を入力して、**決定** をタッチする (MP3/WMA再生時のみ)



入力した番号を先頭にしたフォルダリストが表示されます。

- 3 フォルダをタッチする (MP3/WMA再生時のみ)

トラックリストが表示され、選択したフォルダの先頭から再生がはじまります。

- 4 トラックリスト画面で **番号指定** をタッチする

- 5 トラック番号を入力して、**決定** をタッチする



入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

- 6 聴きたいトラックをタッチする

選択した曲の再生がはじまります。

リピート・スキャン・ランダム再生をする

リピート・スキャン・ランダム再生をする

ここまでの操作



1 目的の項目をタッチする

CD表示画面



REPEAT :

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

SCAN :

現在再生中のCDの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

RANDOM :

現在再生中のCDの全トラックをランダムに再生します。

MP3 / WMA表示画面



REPEAT :

現在再生中のフォルダ全体、またはトラックのみをリピート再生します。

SCAN :

各フォルダの先頭トラックの出だし、または現在再生中のフォルダの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

RANDOM :

全フォルダの全トラック、または現在再生中のフォルダの全トラックをランダムに再生します。

情報を表示する

トラック情報、CD-TEXT、TAG情報を表示する

再生中のトラック情報を表示する

再生中のトラックの情報を表示できます。

ここまでの操作



1 フォルダをタッチする (MP3/WMA再生時のみ)

2 TAG情報 (MP3/WMA) または トラック情報 (CD) をタッチする

トラック情報画面が表示されます。

CD表示画面



MP3/WMA表示画面



CD-TEXT・TAG情報を優先して表示する

リスト画面以外のタイトル表示部にCD-TEXTやTAG情報を表示できます。

CDの場合:

CD-TEXTがある場合、優先的にCD-TEXTが表示されます。

MP3/WMA音楽データの場合:

TAG情報がある場合は、優先的にTAG情報が表示されます。

TAG情報がない場合は、「タイトルなし」と表示されます。

ここまでの操作



1 初期設定 をタッチする

2 CD-TEXTを優先して表示する

(CD) または

TAG情報を優先して表示する

(MP3/WMA) をタッチする



CD-TEXTまたはTAG情報が優先して表示されます。

※画面はCDのものです。



• 優先表示を解除する場合は、同じ操作をもう一度行います。



MUSIC RACKを使う

本機では、CDを録音して再生できる、MUSIC RACKをお楽しみいただけます。

MUSIC RACKの基本的な操作方法については、**Q-P.107～Q-P.112**をご覧ください。

MUSIC RACKについて	136
録音設定を変更する	137
いろいろな再生方法	139
アルバム・トラック情報を編集する	142

MUSIC RACKについて

MUSIC RACKの仕様は、以下のとおりです。

録音可能トラック数	最大1000トラック（アルバムは最大200枚、1つのアルバムに収録できるトラック数：最大99トラック） ※ただし、メモリー容量の範囲内のみ（*）
録音できる音源音楽	音楽CDのみ（**）
音質	ATRAC3という音声圧縮技術を採用しています。 CDの音質を損なわず、容量を約1/10（高音質モード）に圧縮できます。

（*）メモリー容量については、「本機の情報を見る」（P.61）をご覧ください。

（**）録音できるCDについては、「本機で使えるCD」（P.126）をご覧ください。

本機は、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム：Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」というデジタル信号同士のコピーを<1世代まで>と規制しております。

したがって、以下の操作を本機で行えません。

- 本機に録音したCDの曲をデジタル出力、デジタルコピーすること
- デジタル録音したCD-RとCD-RWおよびコピーの禁止されているCDを録音すること

タイトル表示について

CDを本機に録音すると、本機内蔵のGracenote Music Recognition ServiceSMのデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情報が取得され、画面上に表示されます。

情報を取得できなかったCDには録音した日付が表示されます。

また、CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。



- Gracenote Music Recognition ServiceSMのデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新できます。
詳しくは、「アルバム情報の更新について」（P.221）をご覧ください。

録音設定を変更する

MUSIC RACKにCDを録音するには、自動録音、手動録音の2つの方法があります。初期状態では、CDを挿入すると自動的に録音を開始する自動録音に設定されています。



• 録音中はSDカードの再生は行えません。

自動録音の設定を変更する

録音速度を変更する

ここまでの操作



各種設定

1

録音設定 をタッチする



2

挿入と同時に録音:1倍速 または
挿入と同時に録音:2倍速 をタッチする



挿入と同時に録音:1倍速 :

CD再生時に1倍速でCDが録音されます。

挿入と同時に録音:2倍速 :

CD再生時に2倍速でCDが録音されます。2倍速で録音中は、CDを聴くことはできません。



• **長時間録音** をタッチすると、長時間録音モード (LP) に設定されます。工場出荷時は、高音質モード (HQ) に設定されています。長時間録音モードは、高音質モードに比べ録音曲数は多くなりますが、音質は低くなります。高音質モードのビットレート:

132kbps

長時間録音モードのビットレート:

66kbps

- 長時間録音モード (LP) で録音された曲を再生すると、アルバム/トラック番号の下に「LP」と表示されます。
- 録音可能なトラック数は、高音質モードで最大500トラック、長時間録音モードで最大1000トラックです。アルバム数、トラック数、録音可能容量 (2G byte) のいずれかが超えた場合は録音できません。

手動録音の設定をする

CDを再生中に手動でMUSIC RACKに録音するよう設定できます。

手動録音に設定する

ここまでの操作



各種設定

1 録音設定 をタッチする

2 手動で録音 をタッチする
手動録音に設定されます。

手動で録音する

CDを再生中に、手動でMUSIC RACKに録音できます。

1 CD再生中に **REC** をタッチする

2 希望の録音モードをタッチする



録音が始まります。

全曲録音：

再生中のCDのすべてのトラックを録音できます。確認画面で **はい** をタッチすると、アルバム先頭の再生・録音が始まります。

現在の曲を録音：

再生中のトラックを録音できます。トラックの先頭に戻り、再生・録音が始まります。

曲を指定して録音：

録音したいトラックをリストから選択して録音できます。複数のトラックを選択できます。リストからトラックを選択して **決定** をタッチすると、先頭に近い曲から順に再生・録音が始まります。

1倍速で録音：

1倍速で録音します。

2倍速で録音：

2倍速で録音します。録音中は、CDを聴くことはできません。

いろいろな再生方法

アルバム・トラックを選ぶ

リストから再生する

MUSIC RACKのリストからアルバムやトラックを選択して再生できます。

ここまでの操作



1 アルバム名をタッチする

アルバムリスト



トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

2 トラックをタッチする

トラックリスト



選択したトラックが再生されます。

アーティスト名から再生する

ここまでの操作



1 アーティスト検索 をタッチする

2 アーティスト名をタッチする

3 アルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

条件から複数のアルバムを選んで再生する

複数のアルバムを指定して再生できます。アルバムリストからアルバムを指定する方法とアーティストのすべてのアルバムを指定する方法があります。

ここまでの操作



1 **編集** をタッチする

2 **選択演奏** をタッチする

3 **アルバム選択** または **アーティスト選択** をタッチする



アルバム選択 :

リスト表示されたアルバムから複数のアルバムを指定できます。

アーティスト選択 :

リスト表示されたアーティストのすべてのアルバムを指定できます。



- すでに**選択演奏**が設定されているときは、**選択演奏解除**が表示されます。**選択演奏解除**をタッチすると、**選択演奏**を中止します。

4 アルバムまたはアーティスト名を選択して、**決定** をタッチする



選択した項目が再生されます。

リピート・スキャン・ランダム再生をする

リピート・スキャン・ランダム再生をする

ここまでの操作



1 目的の項目をタッチする



選択した動作での再生が始まります。

REPEAT :

現在再生中のアルバム全体、またはトラックのみをリピート再生します。

SCAN :

各アルバムの先頭トラックの出だし、または現在再生中のアルバムの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

RANDOM :

全アルバムの全トラック、または現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

アルバム・トラック情報を編集する

アルバムを編集する

アルバム情報を表示する

MUSIC RACKで再生中のアルバム名とアーティスト名を表示できます。

ここまでの操作



MUSIC RACK



リスト

1 **アルバム情報** をタッチする

アルバム情報が表示されます。



アルバム情報を編集する

ここまでの操作



MUSIC RACK



リスト

1 **編集** をタッチする

2 **情報編集** をタッチする

3 編集したいアルバムをタッチする



4 **アルバム名** または **アーティスト** をタッチする



5 アルバム名またはアーティスト名を入力して、**決定** をタッチする アルバム情報が編集されます。



• アルバム名、アーティスト名は全角・半角で20文字まで入力できます。

不要なアルバムを削除する



- 一度削除したアルバムは元に戻せません。

ここまでの操作



- 1 **編集** をタッチする
- 2 **アルバム削除** をタッチする
- 3 削除したいアルバムを選択して、**決定** をタッチする



- 複数のアルバムを選択できます。

- 4 **はい** をタッチする
選択したアルバムが削除されます。

アルバムの再生順序を並べ替える

ここまでの操作



- 1 **編集** をタッチする
- 2 **アルバム並替** をタッチする
- 3 順序を変えたいアルバムをタッチする



- 4 移動先の **移動** をタッチする



- 5 **決定** をタッチする
確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。
アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生が始まります。

トラックを編集する

トラック情報を編集する

トラック名を編集できます。

ここまでの操作



MUSIC RACK



リスト

1 編集したいアルバムをタッチする

2 **編集** をタッチする

3 **情報編集** をタッチする

4 編集したいトラックをタッチする



5 **トラック名** をタッチする



6 トラック名を入力して、**決定** をタッチする

トラック情報が編集されます。



- トラック名には全角・半角で20文字まで入力できます。

不要なトラックを削除する



- 一度削除したトラックは元に戻せません。

ここまでの操作



MUSIC RACK



リスト

1 編集したいアルバムをタッチする

2 **編集** をタッチする

3 **トラック削除** をタッチする

4 削除したいトラックを選択して、**決定** をタッチする



- 複数のトラックを選択できます。

5 **はい** をタッチする

選択したトラックが削除されます。



オーディオ・ビジュアル編

USBメモリーの オーディオを聴く

お手持ちのUSBメモリーと本機をつないで、MP3／WMAの音楽を聴くことができます。

USBメモリーの音楽を聴く 146

USBメモリーの音楽を聴く

別売のUSBケーブルにUSBメモリーを接続することにより、パソコンで編集したMP3／WMA形式の音楽データを本機で再生することができます。

音楽データの保存方法について

USBメモリーには、MP3またはWMA形式の音楽ファイルを保存してください。

USBメモリー内の階層は、9階層（ルートを含む）までです。

アーティスト名、アルバム名、トラック名の文字数合計は半角で250文字以内にしてください。



- USBメモリーに保存できる音楽データの最大数について詳しくは、「本機で使えるMP3・WMA」(P.127)をご覧ください。
- 音楽データを保存する際の注意事項について詳しくは、「本機で使えるMP3・WMA」(P.127)をご覧ください。

USBメモリーについて

- マスストレージクラスのUSBフラッシュメモリー (USBメモリーデバイス) に対応しています。
- 下記のようなUSBメモリーには対応していません。
 - パーティションが複数あるUSBメモリー
 - 電流が500mAを超えるUSBメモリー
 - パソコンに接続した際、ドライバを要求されるUSBメモリー
 - セキュリティ機能など、特殊な機能が付いているUSBメモリー
 - SONY製Walkmanには非対応
 - その他一部再生できないマスストレージクラスのUSBフラッシュメモリーがあります。
- USBメモリーに記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- USBメモリーの音楽再生中にUSBメモリーを取り外さないでください。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSBメモリーの保存内容が失われる恐れがあります。消失した音楽データについては補償できませんので予めご了承ください。
- 32GBまでの容量の、USBメモリーに対応

操作画面について

→ ここまでの操作

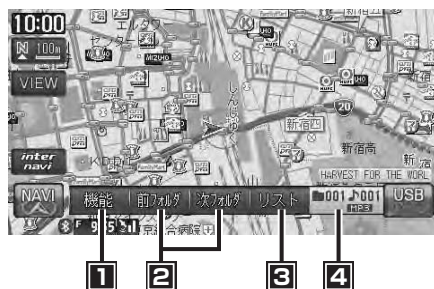
USBメモリーを接続する



USB/iPod



• USBケーブルにiPodを接続している場合は、USBメモリーはご利用になれません。



■この画面からできる操作

- 1** リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための

機能メニューを表示する P.133

- 2** 再生するフォルダを切り替える Q-P.106

- 3** フォルダリストを表示する P.131

- 4** 再生中のフォルダ、トラックの番号を表示する

USBメモリーのオーディオを再生する

再生する

ここまでの操作

USBメモリーを接続する



1 USB/iPod をタッチする

USBメモリーのオーディオが再生されます。



- USBメモリー内のファイルは、ファイル名順でのみ再生できます。再生順序を変更することはできません。ただし、ファイル名の先頭に数字を入力すれば、数字順に並べ替えることができます。

早送り／早戻しする

1 (早送り) または (早戻し) を押し続ける



- 、 から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 または を押す



- を押すとトラックの先頭に戻り、さらに を押すごとに前のトラックに移動します。
- を押すごとに次のトラックに移動します。

以降の操作はメモリーカードからの再生と同様です。下記のページを参照して操作を行ってください。

- フォルダ／トラックリストからダイレクトに選曲する..... P.131
- フォルダ番号／トラック番号を選んで再生する..... P.132
- リピート、スキャン、ランダム再生をする..... P.133
- トラックの情報を表示する..... P.134
- TAG情報を表示する P.134



オーディオ・ビジュアル編

iPod[®]を聴く／ iPod[®]ビデオを観る

本機では、iPod（別売）を接続して、iPod内の音楽データやビデオ映像をお楽しみいただけます。

iPodの基本的な操作方法については、Q-P.113～Q-P.116をご覧ください。

接続できるiPod	150
いろいろな再生方法	152
情報を表示する	155
iPodの接続方法を切り替える	156

接続できるiPod



本機は第5世代iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touchに対応しています。詳細は以下の表をご覧ください。iPodは本機に付属していません。お手持ちのiPodをお使いください。iPodを本機に接続するには、iPodに付属のiPodケーブルを、USB接続コード（別売）のUSB端子に接続します。iPodビデオを観るには、別売のUSB接続コード、VTRコードに加え、お客様に別途ご用意いただくビデオ出力対応のドックコネクタ接続ケーブルが必要です。

また、接続可能なiPodについての最新の情報は、弊社ホームページをご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist/>

接続可能なiPod	備考
iPod（第5世代）	ビデオ再生可
iPod classic（80GB、120GB、160GB）※1	ビデオ再生可
iPod classic(2009)※2	ビデオ再生可
iPod nano（第1世代、第2世代）	
iPod nano（第3世代、第4世代※1）	ビデオ再生可
iPod nano（第5世代）	ビデオ再生可
iPod touch（第1世代※3、※4）	ビデオ再生不可
iPod touch （第2世代：8GB、16GB、32GB、64GB）	ビデオ再生可

※1 ビデオファイルのみ保存している場合、iPodが認識されない場合があります。一つでも音楽ファイルを保存すると解消されます。

※2 ゲームプレイ中や保存曲数が最大においてのシャッフル再生時などでの接続は、状況によって不安定となる場合があります。負荷のかかる動作時には接続しないでください。

動作が不安定となった場合、iPodをケーブルから外し、iPodを複数回リセットしてください。もしナビ・オーディオ側が不安定な場合は、車両のキーを一度OFFしてからONしてください。

※3 ファームウェア2.0以降では、ビデオを再生することができます。ファームウェアが2.0より古い場合は、ミュージックモードでのみお使いください。

※4 「On-The-Go」は再生できません。iTunesと同期後はプレイリストとして再生できます。



- iPodの動作が停止した場合、カテゴリーリストから曲やビデオを選択することによって操作可能になる場合があります。
- iPodの機種によって再生対象の曲数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- iPodのトラックリPEAT機能を設定している場合は、正しく動作しない場合があります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能を設定を解除してからご利用ください。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
- iPodが操作不能になった場合は、iPod本体をリセットし、再度接続してください。

リセット方法の例

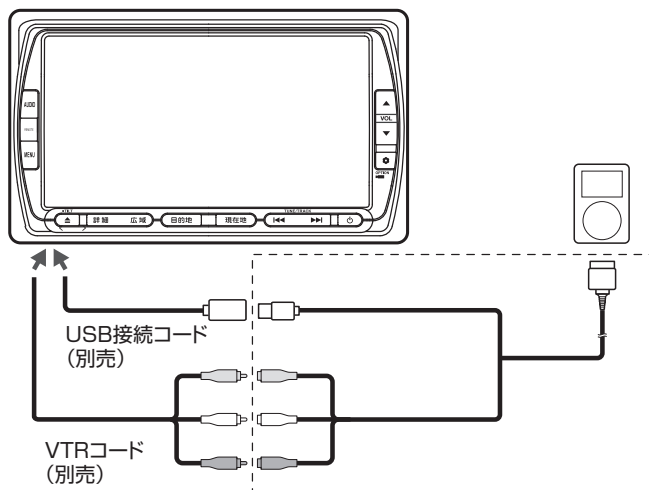
- iPodの場合：
「センター」ボタンと「メニュー」ボタンをAppleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。
- iPod touchの場合：
「スリープ／スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Appleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。

※iPodをリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後、iPod単体で動作することを確認してから接続するようにしてください。

- 車のエンジンを切ったあとは、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があるため、iPodの電源を消耗する恐れがあります。

iPodビデオを接続する

本機でiPodビデオを観るには、以下のイラストのように接続し、「接続方法を切り替える」(P.156)で、「USB+VTR接続（アナログ音声）」に設定してください。



Apple純正「AppleコンポジットAVケーブル」などのビデオ出力対応ドックコネクタ接続ケーブル(別売)

いろいろな再生方法

トラックを選ぶ

タイトルリストから再生する

ここまでの操作



USB/iPod



リスト

1 トラックをタッチする



選択したトラックが再生されます。

トラック番号を入力して再生する

トラック番号を指定して、iPodのトラックを再生できます。

ここまでの操作



USB/iPod



リスト

1 番号指定 をタッチする

2 トラック番号を入力して、決定をタッチする



入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

3 聴きたいトラックをタッチする

選択した曲の再生がはじまります。

条件を指定して再生する

さまざまな条件からiPodのトラックを探して再生できます。

ここまでの操作



1 お好みの項目をタッチする



• 選択できる項目は以下のとおりです。
プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／Podcast／ジャンル／作曲家

2 さらに好みの項目をタッチする



※画面は **アルバム** をタッチした場合のものです。

3 聴きたいトラックをタッチする



選択した曲の再生がはじまります。

■コントロールバーをカスタマイズする

AVコントロールバーの中央にあるタッチキー（初期状態ではプレイリスト）に、他の機能を割り付けられます。

ここまでの操作



1 機能の選択 をタッチする



• () 内には、現在の設定項目が表示されます。

2 割り付けたい機能をタッチする



選択した機能がコントロールバーに割り付けられます。



• 割り付けられる機能は以下のとおりです。
プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／Podcast／ジャンル／作曲家

リピート・シャッフル再生をする

リピート・シャッフル再生をする

ここまでの操作



USB/iPod



機能

1 目的の項目をタッチする

iPodオーディオ画面



iPodビデオ画面



選択した動作での再生が始まります。

REPEAT :

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

SHUFFLE :

ALBUM をタッチすると、すべてのアルバムをランダムに再生します。アルバム内のトラックは順番に再生されます。

TRACK をタッチすると、再生中のアルバムのトラックをランダムに再生します。



- iPodの機種によっては、リピート再生ができない場合があります。
- シャッフル再生中に、iPodをビデオモードに切り替えると、シャッフル再生は自動的に解除されます。

情報を表示する

トラック情報を表示する

情報を表示する

ここまでの操作



USB/iPod

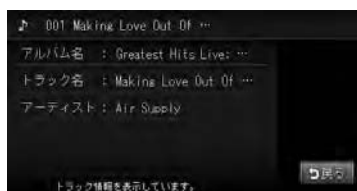


リスト

1

トラック情報 をタッチする

トラック情報が表示されます。



iPodの接続方法を切り替える

接続方法を切り替える

iPodの接続方法を、「USBのみ」または「USB+VTR接続」から選択します。
工場出荷時は「USBのみ」に設定されています。

接続方法を切り替える

ここまでの操作



USB/iPod



機能

1

接続方法 をタッチする



2 接続方法を選択してタッチする



USB接続 :

iPodはミュージックモードのみの対応になります。iPodビデオモードへの切り替えはできません。

USB+VTR接続(アナログ音声) :

VTR端子をiPodの映像、音声入力として使用します。この設定を行うとソース選択画面の **VTR** は非表示になり、VTR機器のご利用はできません。



- 接続方法を変更した場合は、iPodの接続を一度解除して再度接続してください。



オーディオ・ビジュアル編

Bluetoothオーディオを 聴く

Bluetoothに対応しているオーディオ機器を本機に登録して、音楽を再生できます。

Bluetoothオーディオを使う 158

Bluetoothオーディオを使う

Bluetoothオーディオを本機に登録する（ペアリング）

初めてBluetoothオーディオを利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。



- Bluetooth方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetoothオーディオの種類によっては、ご利用にならない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 本機からオーディオ制御ができない場合は、オーディオ機器からオーディオプレーヤーの操作をしてください。詳しくはオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオについて詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオの収納場所、距離によっては、接続ができない場合や、再生している音楽の音飛びが発生するなど、正常に再生できない場合があります。できるだけ通信状態のよい場所に置くことをお勧めします。また、周囲に無線LANなどの電波を出す機器がある場合は、それらをOFFにするか遠ざけてください。
- Bluetoothの特性上、まれに動作が不安定になることがあります。そのような場合は、本製品、またはオーディオ機器の電源を入れ直してください。
- 著作権保護された音声はご利用いただけない場合があります。
- 走行中はペアリングを実行できません。
- 電話関連機能を実行している間は、オーディオ音声は出力されません。
- Bluetoothオーディオは、10台までペアリングすることができます。11台目をペアリングするには、すでに登録されたペアリング情報を削除する必要があります。
- Bluetoothオーディオ再生時にインターナビ接続やハンズフリー通話を開始した場合は、Bluetoothオーディオの再生を一時停止します。
オーディオ機器によってはインターナビ接続やハンズフリー通話終了後、一時停止状態のままとなる場合があります。この場合は再度再生ボタンを押してください。

Bluetoothオーディオについて

- Bluetoothオーディオ機器によっては本機側からペアリングできないもの、オーディオ機器側からペアリングできないものがあります。
本機側からペアリングができないものは、オーディオ機器側からペアリングしてください。オーディオ機器側からペアリングができないものは、本機側からペアリングしてください。詳しくはオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオ機器によっては「自動接続」にしていると接続できない場合があります。この場合、「自動接続」をOFFにし、Bluetoothオーディオ機器側より接続してください。詳しくはオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 音飛びなどが発生する場合、オーディオ機器に音質/接続の優先設定があるときには、接続優先に切り替えてください。また、ご使用のBluetoothオーディオ機器がカバンの中や、ポケットに入っていると音が途切れる場合があります。本機の近くに置いてご使用ください。
- Bluetoothオーディオ機器は必ず最新のソフトウェアバージョンにアップデートしてお使いください。
詳しくはご使用のBluetoothオーディオ機器の販売会社にお問合せください。

Bluetooth対応携帯電話をご使用の場合

- 本機側から接続を行うと、携帯電話でオーディオプレーヤーが起動できなかったり、音声正常に出力されないことがあります。ご使用になる場合は、本機の自動接続設定をOFFにし、携帯電話側から接続操作を行ってください。すでに接続状態の場合は、携帯電話から切断操作を行ってください。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話のメディアプレーヤーを停止した場合、Bluetoothオーディオが切断されることがあります。
再度接続を行うには、携帯電話のメディアプレーヤーを起動後、「ヘッドフォン切替」などの設定で本機を選択してご使用ください。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 本機側から接続できない場合は、携帯電話側から接続操作を行ってください。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。また、携帯電話を待受け画面にしておくことで、本機から接続できる場合があります。
- Bluetoothオーディオ機器の機種との適合性に関して、詳しくはHonda販売店にお問合せください。

本機に登録する

ここまでの操作



▶ Bluetooth

1 機器選択 をタッチする



2 機器登録 をタッチする



3 ナビから接続可能な機器を探索する をタッチする



Bluetooth接続機器の探索画面が表示されます。



以降の操作については、「携帯電話を登録する（ペアリング）」(P.71) の手順5以降をご覧ください。



・機器登録画面で

他の機器からナビを探索する をタッチした場合は、Bluetoothオーディオ機器側から本機のパスキー「1212」（初期値）を入力しペアリングしてください。

・機器登録画面で

ナビから接続可能な機器を探索する をタッチした場合は、「本機に登録する」（P.71）の手順4以降を参照してください。

・ペアリング完了後、Bluetoothオーディオ上で接続するプロファイルを選択する必要がある場合は、「オーディオ」を選択してください。詳しくは、Bluetoothオーディオの取扱説明書をご覧ください。

・ペアリングはBluetoothで電話を利用するとき、またはBluetoothオーディオを利用するときのどちらかで一度操作を行えば、再度ペアリング操作を行う必要はありません。

・Bluetooth対応オーディオ機器の登録を削除するには、「登録情報を削除する」（P.73）を参照してください。

操作画面について

ここまでの操作



■この画面からできる操作

- 1** 本体情報の表示や、Bluetooth電源のON/OFFを切り替える …… P.83
- 2** 再生、一時停止をする
- 3** 再生を停止する
- 4** 登録（ペアリング）されている機器を表示する、または機器の登録や削除を行う … P.71



• Bluetoothオーディオの種類によって、本機からの再生、一時停止などの操作ができないことがあります。この場合、Bluetoothオーディオから操作してください。詳しくは、Bluetoothオーディオの取扱説明書をご覧ください。

Bluetoothオーディオを再生する

再生する

ここまでの操作



1

Bluetooth をタッチする

Bluetoothオーディオが再生されます。



- トラック番号、トラックの再生時間、タイトル名は画面に表示されません。
- オーディオ機器によっては、自動的に再生しない場合があります。この場合は本機またはオーディオ機器の再生ボタンを操作してください。

前／次のトラックを再生する

1

または を押す



- を押すとトラックの先頭に戻り、さらに を押すごとに前のトラックに移動します。
- を押すごとに次のトラックに移動します。



注意

- AVRCPに対応していないBluetoothオーディオ機器の場合、本機からの再生、早送り／早戻しや、前／次のトラックへの移動はできません。また、AVRCP対応Bluetoothオーディオ機器でも、再生、早送り／早戻しや、前／次のトラックへ移動できない機器があります。

早送り／早戻しする

1

(早送り) または (早戻し) を押し続ける



- から指を離すと、通常の再生に戻ります。



設定編

各種設定

ナビゲーションに関するいろいろな操作、オーディオの音質、画面表示の色や画面などをお好みで設定することができます。

ナビゲーションの設定をする	164
オーディオの設定をする	191
画面の設定をする	194

ナビゲーションの設定をする

ナビゲーションの設定は、設定メニューから行います。

→ここまでの操作



タッチキー	設定内容	参照ページ
画面	ナビゲーション画面に関する設定を行う	P.165
アイコン	地図上に表示されるアイコンに関する設定を行う	P.168
軌跡設定	地図上に表示される軌跡（車の走行跡）に関する設定を行う	P.170
VIEW設定	ルート案内時の画面表示に関する設定を行う	P.171
誘導設定	ルート案内時の案内表示に関する設定を行う	P.173
音と音声	ルート案内時の音声案内に関する設定を行う	P.175
VICS VICS/ETC	VICS情報に関する設定と、別売のETC車載器接続時の設定を行う	P.177 P.181
その他	その他、便利な設定を行う	P.183
販売店	使用できません。（販売店専用の画面です。）	—
特別設定	目的地検索画面の表示と、バラエティボイスの音声の設定を行う	P.188

ナビ画面の設定をする

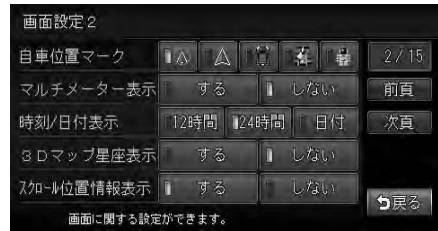
ここまでの操作



各種設定

ナビ設定

画面



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
昼画面／ 夜画面の地図色	昼画面、夜画面（車のスモールランプ点灯時）の地図表示色を選択する	昼画面：地図色1*～4 夜画面：地図色1～4*	P.166
地図表示選択	地図画面に表示させる文字の大きさや文字の情報量を選択する	標準*／注記量少／ 大きな文字	P.166
一般道／ 有料道の経路色	一般道路および有料道路での誘導ルートの色を選択する	黄*（一般道）／緑*（有料道）／オレンジ／ 紫／水色	—
自車位置マーク	地図画面に表示される自車位置（現在地）のマークを選択する	一番左のマーク*	—
マルチメーター 表示	走行速度や平均速度などの表示／非表示を切り替える	する／しない*	P.167
時刻／日付表示	時刻／日付の表示形式を選択する	12時間／ 24時間*／日付	—
3Dマップ星座 表示	3D（立体）地図表示の空に星座や月を表示させる	する／しない*	P.167
スクロール位置 情報表示	スクロール先の地図の住所や緯度・経度、マップコードの表示／非表示を切り替える	する*／しない	—

地図の色を設定する

ここまでの操作



- 1 「昼画面の地図色」または「夜画面の地図色」の **通常** をタッチする

- 2 変更したい地図色をタッチする



選択した地図色が左の画面に表示されます。

※画面例は昼画面の地図です。

地図に表示させる文字を設定する

ここまでの操作



- 1 **表示選択** をタッチする
- 2 変更したい項目をタッチする



標準 :

文字の大きさと情報量を標準に設定します。

注記量少 :

文字の大きさを標準に、文字の情報量を少なく設定します。

大きな文字 :

文字を大きく、文字の情報量を少なく設定します。

文字の表示方法が設定され、設定内容が左の地図に表示されます。

マルチメーター表示を設定する

地図画面に速度や走行距離などの情報を表示します。

ここまでの操作



1 [マルチメーター表示] の **する** をタッチする

地図画面にマルチメーターが表示されます。



• 以下の情報が表示されます。

Spd: 走行速度
Avg: 平均速度
Max: 最高速度
Odo: 走行距離

• 目的地を設定したり、ルートを取りやめると、表示された情報はリセットされます。

星座表示の設定をする

ここまでの操作



1 [3Dマップ星座表示] の **する** をタッチする

3D地図の空に星座が表示されます。



- 昼画面でも星座が表示されます。
- インターナビで天気情報を取得した場合、晴れ以外の時は星座が表示されなくなります。

地図上のアイコンの設定をする

ここまでの操作



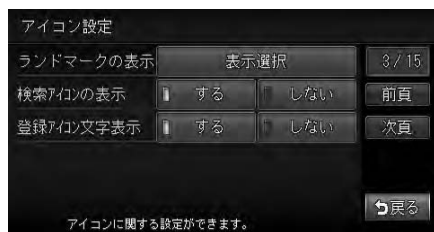
各種設定



ナビ設定



アイコン



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
ランドマークの表示	地図上に表示されるランドマーク（施設を示すアイコン）の種類を選択する	初期設定では、以下を表示しないよう設定されています。 ・その他コンビニ ・ファーストフード店	P.169
検索アイコンの表示	周辺検索（P.16）で探した施設に表示されるアイコンの表示／非表示を切り替える	する*／しない	—
登録アイコン文字表示	登録アイコンに表示される名称の表示／非表示を切り替える	する*／しない	—

ランドマーク表示を設定する

ここまでの操作

1 **表示選択** をタッチする

2 表示させたいジャンルをタッチする



選択したランドマークのアイコンが地図上に表示されます。



- 複数のジャンルを選択できます。
- **詳細** をタッチすると、ジャンル内のブランドまで指定できます。

走行軌跡の設定をする

ここまでの操作



各種設定



ナビ設定



軌跡設定



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
軌跡の表示	走行軌跡の表示／非表示を切り替える	する [*] ／しない	—
軌跡の間隔	走行軌跡の間隔を設定する 走行軌跡のポイントは、1,000を超えると古いものから順に消去されます。軌跡の間隔を長く設定すると、長い距離の軌跡を表示できるようになります。	50m ／ 100m ／ 200m [*] ／ 500m	—
軌跡マーク	走行軌跡のマークを選択する	青 [*] ／赤／緑／黄／足跡	—
軌跡の消去	走行軌跡の記録を消去する 一度消した走行軌跡は再度表示できません。	—	—

走行中の地図の設定をする

ここまでの操作



各種設定

ナビ設定

VIEW設定



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
ハイウェイモード自動切替	ハイウェイモードの自動表示／非表示を切り替える	する [*] ／しない	Q-P.78
シティモード自動切替	シティモードの自動表示／非表示を切り替える	する／しない [*]	Q-P.77
左地図設定	1画面の地図、または2画面の左地図の表示方法を選択する	H-UP（進行方向を上向きに表示）／N-UP（北を上向きに表示） [*]	Q-P.49
右地図設定	2画面の右地図の表示方法を選択する	H-UP（進行方向を上向きに表示） [*] ／N-UP（北を上向きに表示）	Q-P.49
一方通行表示	一方通行の表示をするかどうかを選択する	する [*] ／しない	Q-P.80
左地図角度調整	3D地図表示時に、1画面の地図、または2画面の左地図の角度を調整する	—	P.172
右地図角度調整	3D地図表示時に、2画面の右地図の角度を調整する	—	P.172

3D地図の角度を調整する

ここまでの操作



1 [左地図角度調整] または [右地図角度調整] の **角度調整** をタッチする



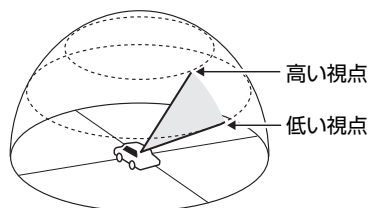
• 2画面表示の右地図の角度を調整するには、右地図をタッチして **角度調整** をタッチします。

2 **高** または **低** をタッチして角度を調整する

高 をタッチして視点を高くした場合



低 をタッチして視点を低くした場合



ルート案内画面の設定をする

ここまでの操作



各種設定

ナビ設定

誘導設定



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
誘導画面の種類	ルート案内中の交差点および都市高速道路入口での表示案内画面を選択する	拡大 [*] ／オートスケール／地図	Q-P.71
オートリルート	ルート案内中、ルートを外れてしまったときに、自動的に元のルートに戻るようにより設定する	する [*] ／しない	—
方面看板表示	方面看板案内の表示／非表示を切り替える	する [*] ／しない	Q-P.70
レーン表示	レーンガイドの表示／非表示を切り替える	する [*] ／しない	Q-P.70
AV画面での割り込み(*)	オーディオ画面表示中の、交差点案内の割り込み表示／非表示を切り替える	する [*] ／しない	—
到着予想自動設定	到着予想時間の計算時、インターナビ交通情報を考慮して計算するかしないかを選択する 「する」を設定すると次のようになります。 ・「到着予想速度設定」は考慮されません。 ・別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続している場合、ビーコン情報も考慮された到着予想時間が計算されます。	する [*] ／しない	—
到着予想速度設定	到着予想時間を計算するための基準となる速度を設定する 「到着予想自動設定」が「しない」に設定されている場合に有効となります。	高速道： 60～100km/h (80 [*]) 有料道： 40～80km/h (60 [*]) 一般道： 20～60km/h (30 [*])	P.174

(*)「する」を設定すると、オーディオ画面がOFFの状態でも、交差点案内は表示されます。

到着予想速度を設定する

ここまでの操作



各種設定



ナビ設定



誘導設定



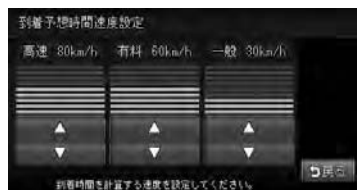
次頁



• 到着予想自動設定を「する」に設定している場合、到着予想速度設定を変更することはできません。到着予想速度設定をする場合は、到着予想自動設定を「しない」に設定してください。

1 速度設定 をタッチする

2 各設定の ▲ または ▼ をタッチして、速度を設定する



到着予想速度が設定されます。



- 高速：高速道路走行時の速度を60～100km/hに設定できます。
- 有料：有料道路走行時の速度を40～80km/hに設定できます。
- 一般：一般道路走行時の速度を20～60km/hに設定できます。

音声案内の設定をする

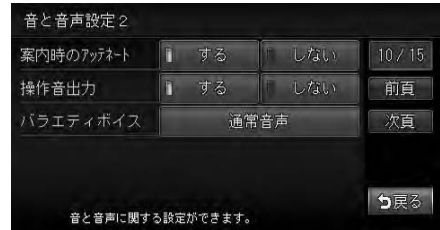
ここまでの操作



各種設定

ナビ設定

音と音声



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
音声案内	音声案内などのナビゲーション音声を出力するかしないかを選択する 「しない」を選択した場合でも、目的地到着案内、渋滞・規制の交通案内は行います。	通常 [*] ／しない	—
音量設定	音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する	レベル1～15 (通常走行：レベル8 [*] 高速走行：レベル10 [*])	P.176
音声案内アイコン選択	登録リストの登録地に近づいたときの音声案内を設定する	鳴らす：音声案内をします。 オフ [*] ：音声案内をしません。 選択：音声案内をするアイコンを指定します。	—
音声を鳴らす距離	音声案内を行うアイコンと自車位置の距離を設定する	200m [*] ／400m／800m	—
案内時のアッテネート	音声案内時、一時的にオーディオの音量を下げる	する [*] ／しない	—
操作音出力	ボタンやタッチキーを操作したときにピープ音を鳴らす	する [*] ／しない	—
バラエティボイス	音声案内の声を選擇する この設定は、「特別設定」の「VARIETY VOICE」(P.188)と連動しています。	通常音声 [*] ／英語	—

音量を調整する



- 走行速度が80km/hを超えると、高速走行時の音量設定で音声案内がされます。

ここまでの操作



各種設定



ナビ設定



音と音声

1

音量設定 をタッチする

2

各設定の  または  をタッチして、音量を調整する



「この音量で設定します」と音声案内され、ナビゲーションの音量が設定されます。

VICS情報の設定をする

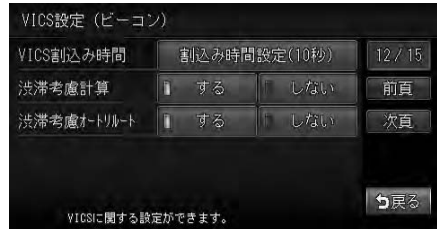
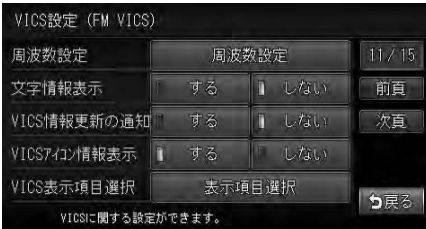
ここまでの操作



各種設定

ナビ設定

VICS



- VICS設定（ビーコン）画面は、別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。
- 別売のETC車載器を接続している場合は、**VICS/ETC** と表示されます。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
周波数設定	VICS情報やFM多重放送の受信放送局を設定する	自動追尾 [*] / OFF	P.179
文字情報表示	受信したVICS文字情報の表示 / 非表示を切り替える	する / しない [*]	Q-P.51
VICS情報更新の通知	VICS情報を更新したときに、音声でお知らせするかしないかを選択する	する / しない [*]	—
VICSアイコン情報表示	地図上にVICSアイコンの情報を表示するかしないかを選択する	する [*] / しない	Q-P.51
VICS表示項目選択	表示するVICS情報の項目を選択する	一般道交通情報の表示 [*] / 高速道交通情報の表示 [*] / 渋滞なしの表示 / 駐車場情報の表示 [*] / 規制区間の表示 [*]	P.179
VICS割込み時間 ^(*)	VICS光・電波ビーコンからのVICS情報を、画面に割り込み表示させる時間を設定する	OFF / 5秒 / 10秒 [*] / 20秒 / 30秒	P.180
渋滞考慮計算 ^(*)	VICS光・電波ビーコンからVICS情報をもとに、渋滞箇所を考慮したルートを計算する	する [*] / しない	—

ナビゲーションの設定をする

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
渋滞考慮 オートリルート ト (*)	VICS光・電波ビーコンからのVICS 情報をもとに、渋滞箇所を考慮した オートリルートを行う この設定は、インターナビの「渋滞考 慮オートリルート」と連動しています。	する [*] /しない	—

(*) 別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時のみ設定できます。

FM周波数を設定する

ここまでの操作



1 周波数設定 をタッチする

2 放送局をタッチする



周波数が切り替わります。タッチし続けると、受信できる放送局を自動的に検出します。

自動追尾 :

NHK-FMを受信中に、放送エリアから外れてしまった場合でも、そのエリアのNHK-FMを自動的に受信します。NHK-FM以外の放送局を受信すると、

自動追尾 はOFFになります。



- FM VICS情報を放送している放送局には が表示されます。

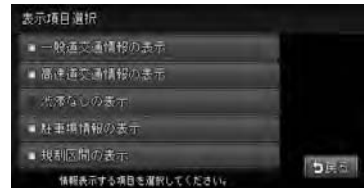
VICS情報の表示項目を設定する

ここまでの操作



1 表示項目選択 をタッチする

2 表示させたい項目にタッチする



表示させるVICS項目が設定されます。設定した内容は、ビーコンVICSにも適用されます。

VICS割り込み時間を設定する(ビーコン)

ここまでの操作



1 **割り込み時間設定** をタッチする

2 表示させたい時間をタッチする



ビーコンVICS情報の割り込み時間が設定されます。

ETCの設定をする

別売のETC車載器（ナビ連動タイプ）接続時の設定です。

ここまでの操作

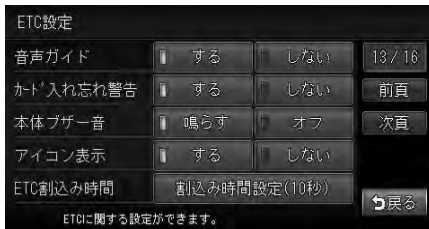


各種設定

ナビ設定

VICS/ETC

次頁



- 別売のVICS光・電波ビーコンユニットが接続されている場合は、さらに **次頁** をタッチします。
- ETC設定画面は、 ► **ETC** ► **ETC設定** をタッチしても表示されます。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
音声ガイド	ETC車載器からの音声ガイドを出力させるかどうかを選択する	する [*] ／しない	—
カード入れ忘れ警告	ETC車載器にETCカードを入れ忘れたときに警告させるかどうかを選択する	する [*] ／しない	—
本体ブザー音	ETC車載器本体のブザー音を鳴らすかどうかを選択する	鳴らす [*] ／オフ	—
アイコン表示	地図上にETCアイコンの情報を表示させるかどうかを選択する	する [*] ／しない	—
ETC割込み時間	ETC料金を、画面に割り込み表示させる時間を設定する	5秒 / 10秒 [*] / 15秒 / 20秒 / 30秒	P.182

ETC料金表示の割り込み時間を設定する

ここまでの操作



1 **割り込み時間設定** をタッチする

2 表示させたい時間をタッチする



ETC割り込み時間が設定されます。

その他の設定をする

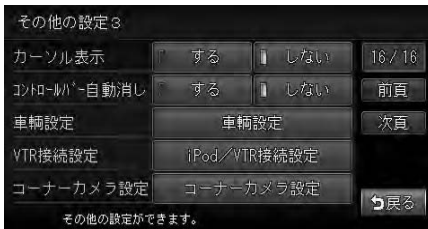
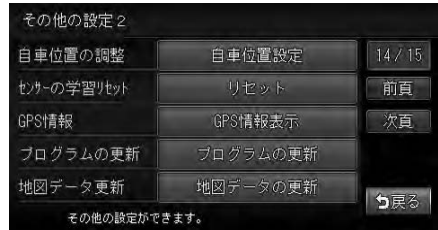
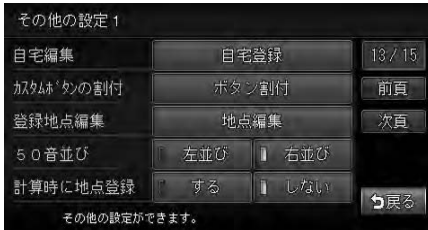
ここまでの操作



各種設定

ナビ設定

その他



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
自宅編集	登録されている自宅の位置を編集する 編集方法は、目的地を探す場合と同様です。 (P.11)	—	—
カスタムボタンの割付	よく使う機能を、8個までカスタムボタンに割り付ける 割り付けた機能は、ナビゲーションコントロールバーの カスタム から簡単に呼び出せます。	初期設定では以下の項目が割り付けられています。 ・音量設定 ・音声案内 ・VICS表示項目選択 ・文字情報表示 ・誘導画面の種類 ・検索アイコン表示	P.185

ナビゲーションの設定をする

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
登録地点編集	登録地点の編集、削除、グループ編集、お気に入り地点編集をする 地点編集 をタッチした後に、下記項目をタッチして編集してください。 ・データ編集 ・グループ編集 ・お気に入り地点編集 ・地点削除	— — — — —	— P.28 Q-P.60 Q-P.62 P.29
50音並び	文字入力画面での文字の並び方を左右どちらかに切り替える	左並び／右並び*	—
計算時に地点登録	目的地を設定すると同時に、目的地を地点登録するかどうかを選択する	する／しない*	—
自車位置の調整	自車位置を修正する	—	P.185
センサーの学習リセット	距離係数と3Dセンサーの学習記録を初期化(リセット)する	—	P.186
GPS情報	GPSの受信状況を表示する	—	P.186
プログラムの更新	将来的に、SDカードによりプログラムのバージョンアップが必要なときに使用する	—	—
地図データ更新	本機の地図データをバージョンアップする場合に使用する 別途、バージョンアップキットの購入が必要です。	—	—
カーソル表示	画面上で選択している項目をハイライト表示する	する／しない*	—
コントロールバー自動消し	ナビゲーションコントロールバー、AVコントロールバーの表示を自動的に消すかどうかを選択する	する／しない*	—
車輛設定	本機を使用する車輛を4種類の中から選択する	軽車輛／小型車輛* ／普通車輛／特定車輛	P.187
VTR接続設定	VTRコードの接続方法を選択する	VTR機器接続* ／iPod Video接続	P.210
フロントカメラ／コーナーカメラ設定(*)	別売のフロントカメラ／コーナーカメラの設定をする	—	P.215

(*) 別売のフロントカメラまたはコーナーカメラ接続時のみ設定できます。

カスタムボタンの設定をする

ここまでの操作



- 1 ボタン割付 をタッチする
- 2 割り付けたいキーをタッチする



- すでに機能が割り付けられているキーを選択すると、機能が上書きされます。

- 3 割り付けたい機能をタッチする



選択した機能が割り付けられます。



- 設定系 または 情報系 をタッチすると、該当する機能を絞り込むことができます。

自転車位置を調整する

ここまでの操作



- 1 自転車位置設定 をタッチする

- 2 正しい自転車位置に移動する

移動のしかたは、目的地を探す場合と同様です。詳しくは、「目的地の設定」(P.11)をご覧ください。

- 3 場所を確認して 決定 をタッチする



- 4 回転矢印 または 逆回転矢印 をタッチして車の向きを調整し、決定 をタッチする



自転車位置が調整され、現在地画面に戻ります。



- 自転車位置修正は、可能な限り詳細地図で行ってください。

センサーの学習記録を初期化する

タイヤを交換したときや、タイヤチェーン着脱時などに学習記録を初期化すると、学習時間が短くなります。

学習方法については、「自車位置がずれていたら」(P.230)、「3Dセンサーによる上下道路判定について」(P.230)をご覧ください。

ここまでの操作



1 リセット をタッチする

2 はい をタッチする

センサーの学習記録が初期化されます。

GPS情報を表示する

ここまでの操作



1 GPS情報表示 をタッチする

GPSの受信状況が表示されます。



車輦を設定する

正しく設定されていないと、高速道路の料金表示が正しく表示されない場合があります。

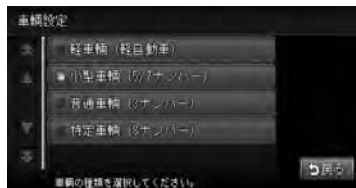
特定車輦の高速道料金には対応していません。また、ここでの設定は、ルート計算には反映されません。

ここまでの操作



1 車輦設定 をタッチする

2 ご使用の車輦をタッチする



車輦が設定されます。

特別設定をする

目的地検索画面の表示および音声案内の言語を英語に切り替えます。

ここまでの操作



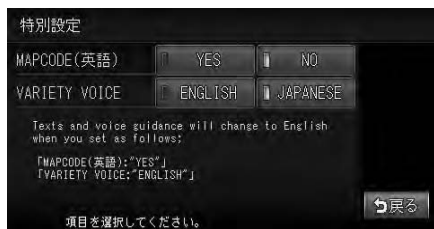
各種設定



ナビ設定



特別設定



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
MAPCODE (英語)	目的地メニューの「マップコード」検索画面 や地点メニュー画面の一部を英語で表示する	YES / NO*	P.189
VARIETY VOICE	音声案内の声を設定する この設定は、「音と音声設定」の「バラエティ ボイス」(P.175) と連動しています。	ENGLISH / JAPANESE*	—



- 走行中は、本操作を行えません。

目的地検索画面を英語表示にする

目的地メニュー画面の「マップコード」や
地点メニュー画面の一部の表示を英語に
切り替えます。

ここまでの操作



1 [MAPCODE (英語)] の YES をタッチする

以下の画面でキーの名称や配列が変わります。

●目的地メニュー画面



メニュー名、**マップコード**、**戻る** が
英語表示になります。

上記の画面で **MAPCODE** をタッチ
した後に表示される画面では、すべて
英語表示になります。



- 目的地メニュー画面を英語表示にすると、**入替** は操作できません。また、**履歴** は **その他** をタッチして表示される、その他の方法で探すメニュー画面に移動します。

●地点メニュー画面



ここに行く、**戻る**、画面下部のコー
ションが英語表示になります。

OPTIONボタンの操作方法

❶ (OPTIONボタン) によく使う機能を割り付けられます。❷ を押すと、設定の変更や切り替えを即座に行うことができます。

OPTIONボタンに機能を割り付ける

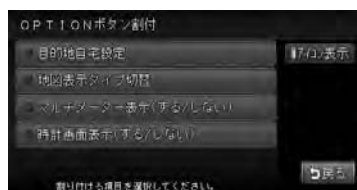


• 別売のフロントカメラ/コーナーカメラ接続時は、自動的に「カメラ映像ON/OFF」が割り付けられます。その場合❷ を押し続けると他の機能を割り付けることもできます。

1 ❷ を押し続ける

はじめて操作するときは、❷ を短く押してもOPTIONボタン割付画面を表示できます。

2 割り付けたい機能をタッチする



選択した機能が❷ に割り付けられ、割り付けた機能のアイコンが地図画面に表示されます。

OPTIONボタンを操作する

OPTIONボタンを操作して、割り付けた機能の設定や切り替えを行います。

1 ❷ を押す

割り付けた機能の表示が切り替わります。

OPTIONボタンの機能は以下のとおりです。

フロントカメラON/OFF /

コーナーカメラON/OFF :

別売のフロントカメラ/コーナーカメラ接続時に、カメラ映像のON/OFFを切り替えます。(P.215)

目的地自宅設定 :

自宅を目的地として設定します。
(Q-P.53)

地図表示タイプ切替 :

地図の表示タイプを切り替えます。
(Q-P.75)

マルチメーター表示 :

マルチメーター表示のON/OFFを切り替えます。(P.167)

時計画面表示 :

時計画面の表示/非表示を切り替えます。(Q-P.41)

オーディオの設定をする

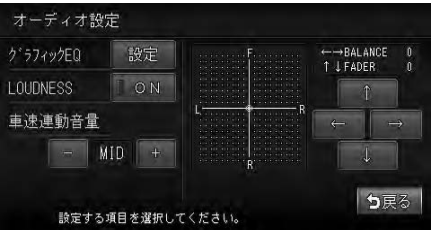
音質を設定する

オーディオの音に関する設定を行います。



・オーディオOFF時には設定できません。オーディオをONにしてから操作を行ってください。

ここまでの操作



各種設定

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
音量バランス	前後左右の音量バランスを調整する	—	P.192
グラフィックEQ	あらかじめ設定された音質効果メモリーからお好みの音質を選択する 音質効果メモリーを調整することもできます。	BASS.B / HIGH.B / ACOUSTIC / IMPACT / SMOOTH / FLAT*	P.192
	<ユーザーカスタマイズ> 音質効果メモリーを作成して保存する	—	P.193
LOUDNESS	高音と低音を強調する	OFF* / ON	—
車速連動音量	加速すると音量が自動で上昇し、減速すると音量が自動で下降するように調整する	OFF / LO / MID* / HI	P.193

オーディオの設定をする

音量バランスを設定する

ここまでの操作



- 1 画面中央の調整エリア内をタッチして、お好みのバランス／フェーダーを調整する



音量のバランスが調整されます。



- ↑、←、→、↓ をタッチしても、音量バランスを調整できます。
- 「L」または「R」と数値で示される「BALANCE」は、左右のバランスの設定です。「F」または「R」で示される「FADER」は前後のフェーダーの設定です。

音質効果メモリーを選んで設定する

お好みの音質を選んで設定できます。

ここまでの操作



- 1 [グラフィックEQ]の **設定** をタッチする

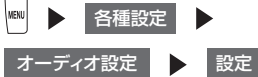
2 お好みの音質をタッチする



- BASS.B** :
重低音の増強
- HIGH.B** :
中高域の増強
- ACOUSTIC** :
中域（人の声）の増強
- IMPACT** :
低域と高域の増強
- SMOOTH** :
しっとりと落ち着いた感じ
- FLAT** :
原音、EQをOFF

好みの音質効果を設定する

ここまでの操作



1 **USER 1**、**USER 2**、**USER 3**のいずれかをタッチする

2 **調整する** をタッチする



3 各キーをタッチして、音質効果メモリーの設定を調整する



- ▲ または ▼ をタッチして、低音、中音、高音それぞれの帯域の強弱を調整します。
- FLAT** をタッチすると、それぞれの帯域の設定が「0」に戻ります。

速度にあわせて自動的に音量を調整する

ここまでの操作

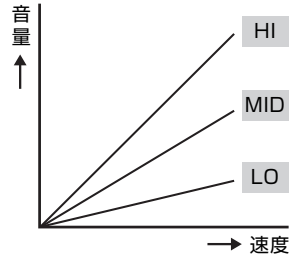


1 **〔車速連動音量〕** の **+** または **-** をタッチして、音量を調整する

車速連動音量が設定されます。



- LO** → **MID** → **HI** の順で、速度が上がった時の音量の上がる幅が大きくなります。OFFに設定すると、速度が上がっても音量は変化しません。



画面の設定をする

画面の設定をする

昼画面と夜画面を切り替える

スモールランプを点灯させると、自動的に夜画面に切り替わります。

昼間にヘッドライトを点灯させていて、画面が見づらい場合などは、手動で昼画面に切り替えると画面が見やすくなります。

ここまでの操作



1 昼画面 をタッチする



タッチするたびに、昼画面と夜画面が切り替わります。



- 昼画面／夜画面の設定については、「ナビ画面の設定をする」(P.165)をご覧ください。
- 各種設定画面で昼画面と夜画面を切り替えることもできます。

ナビゲーション画面の明るさを調整する



- テレビ／DVD／VTR視聴時、またはiPodビデオ再生時は、映像の画質を調整する画面が表示されます。(P.195)

ここまでの操作



各種設定

モニター設定

1 明 または 暗 をタッチして明るさを調整する



映像の画質を調整する

テレビやDVDの画質を調整できます。



- この操作は、テレビ／DVD／VTR 視聴時、またはiPodビデオ再生時のみ行えます。
- 走行中は本操作を行えません。

ここまでの操作



各種設定



モニター設定

1 調整したい項目の調整キーをタッチして、画質を調整する



コントラスト：

+、**-** で明るさと暗さの差を調整します。

色濃度：

濃、**薄** で色の濃さを調整します。

色合い：

緑、**赤** で色味を調整します。

明るさ：

明、**暗** でディスプレイの明るさを調整します。昼画面／夜画面ごとに調整できます。

スクリーンの設定をする

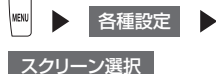
スクリーンの設定をする

ナビゲーションやオーディオのメニュー画面を、お好みのデザインに設定できます。弊社ホームページからスクリーンデータをダウンロードすれば、新しくスクリーンを追加することもできます。詳しくは、「スクリーンデータの取り込み／削除」(P.226)をご覧ください。



・走行中は本操作を行えません。

ここまでの操作



1 お好みのスクリーンとメニュータイプ (レイアウト) をタッチして、**決定** をタッチする



・レイアウトのみを変更する場合は **決定** は表示されません。レイアウトキーをタッチするだけでレイアウトが設定されます。

2 はい をタッチする

再起動して、スクリーンが設定されます。



- ・レイアウトが適用されるのは、目的地メニューのみです。
- ・「特別設定」(P.188)の「MAPCODE (英語)」を「YES」に設定している時は、自動的に「3個優先」のレイアウトになります。

ナイトマリン：3個優先



ナイトマリン：8個均等



彩ーいろどりー：3個優先



彩ーいろどりー：8個均等



スクウェア：3個優先



スクウェア：8個均等



目的地メニュー画面をカスタマイズする

目的地メニュー画面に表示させるキーの順序を替えられます。

選択した項目を、目的地メニューの「3個優先」(P.196)の大きなキーとして割り当てます。

ここまでの操作

目的地

1 入替 をタッチする



- 目的地メニュー画面を「8個均等」にしているときは、**入替** は表示されません。

2 大きなキーで表示させたい項目を3つタッチする



- 3項目を選択しないと、**決定** キーは表示されません。
- **初期に戻す** をタッチすると工場出荷時の表示に戻り、**電話**、**住所**、**名称** が大きなキーで表示されます。

3 決定 をタッチする

選択した項目が、目的地メニュー画面の大きなキーに表示されます。

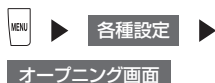


オープニング画面を設定する

オープニング画面を設定する

本機を起動したときに表示されるオープニング画面を設定できます。あらかじめSDカードを使って、オープニング画面を本機に取り込んでおく必要があります。詳しくは、「オープニング画面の取り込み／削除」(P.222)をご覧ください。

ここまでの操作



- 1 設定したいオープニング画面を選択して、**決定** をタッチする



- **初期画像に戻す** をタッチすると、初期状態のオープニング画面に戻ります。

- 2 **はい** をタッチする
オープニング画面が設定されます。



設定編

製品を廃棄・譲渡・ 転売するときは

本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するとき
のご注意について説明しています。

データを消去（初期化）する 200

データを消去（初期化）する

ナビゲーション内のデータ消去について

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意の上、すべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

●お客様のプライバシー保護のために・・・

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、お客様のプライバシー保護のために消去していただくようお願い申し上げます。

●著作権保護のために・・・

メモリー内に保存された画像データ、音楽データ（録音データ含む）などを、消去していただくようお願い申し上げます。著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま譲渡（有償および無償）・転売されますと、著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

個人情報保護に関する弊社基本方針、およびナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては、下記アドレスのホームページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/>

販売店では、すべてのデータの初期化を行っています。データを消去するには、販売店で依頼ください。

便利な機能(アクセサリ) の使い方

オーディオリモコンスイッチを使う	202
リモコンを使う(別売)	204
接続したビデオを観る(別売)	208
リア席モニターを使う(別売)	211
リアカメラシステムを使う	212
フロントカメラ／コーナーカメラを使う(別売) ...	215
SDカードを使う(別売)	219

オーディオリモコンスイッチを使う

スイッチの使い方

操作パネル以外にも、ステアリング（ハンドル）パッドのリモコンで操作することができます。車種により対応していない場合があります。



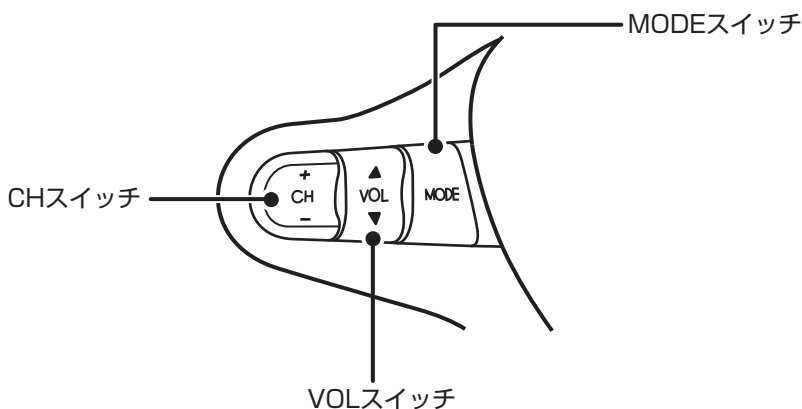
注意

- 走行中運転の妨げにならないように十分注意してください。



- 車両によってオーディオリモコンスイッチが装備できない場合があります。
- 車両標準装備または別売の場合があります。

ボタンの名称とはたらき



※上図はイメージです。

■MODEスイッチ

オーディオソースを切り替えるときに使用します。ソースは次の順番で切り替わります。
FM/AM^{※1}→MUSIC RACK→メモリーカード→Bluetooth→DVD/CD→TV→（VTR^{※2}）
→iPod/USB→FM/AM

※1 最後のラジオ状態

※2 VTRケーブル接続時は、VTRモード



- MODEスイッチを長押しすると、オーディオがOFFになります。
- 本機のオーディオパワーがOFFのときにMODEスイッチを押すと、オーディオをOFFにしたときのソースでオーディオパワーをONにすることができます。

■VOLスイッチ

オーディオ、テレビの音量を調整します。スイッチを長押しすることで、連続調整もできます。

▲：音量が大きくなります。

▼：音量が小さくなります。

■CHスイッチ

オーディオ、テレビの機能操作に使用します。それぞれ選択したソースによって機能が異なります。

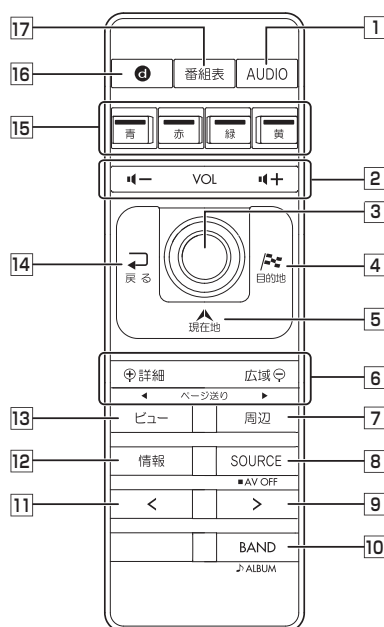
詳しくは、本取扱説明書各項をご覧ください。

ソース名	+/-短押し	+/-長押し
FM/AM	P.CH (プリセット選局) (Q-P.90)	SEEK (自動選局) (Q-P.90)
MUSIC RACK	トラック (曲) 選曲 (Q-P.112)	早送り／早戻し (Q-P.112)
メモリーカード	トラック (曲) 選曲 (Q-P.106)	早送り／早戻し (Q-P.106)
Bluetooth	トラック (曲) 選曲 (P.162)	早送り／早戻し (P.162)
CD	トラック (曲) 選曲 (Q-P.106)	早送り／早戻し (Q-P.106)
DVD/DVD-VR	チャプターを進める/戻す*	早送り／早戻し (Q-P.100)
TV(VTR)	P.CH (プリセット選局) (Q-P.94)	SEEK (自動選局) (Q-P.94)
iPod/USB	トラック (曲) 選曲 (Q-P.116)	早送り／早戻し (Q-P.116)

※ -を押すとチャプター／トラックの先頭に戻り、さらに-を押すごとに前のトラックに移動します。

リモコンを使う（別売）

各部の名称とはたらき



① **AUDIO** ボタン
ナビゲーションモード、オーディオモードを切り替えます。

② **VOL** **+** ボタン／ **VOL** **-** ボタン
音量を調節します。

③ ジョイスティック **実行** ボタン
地図ではスクロールや地点登録、メニューでは項目などの選択と決定に使います。

④ **目的地** ボタン
行き先を設定するための目的地メニューが表示されます。

⑤ **現在地** ボタン
現在地の地図画面を表示します。

⑥ **詳細** ボタン／ **広域** ボタン
地図の表示スケールを切り替えます。押し続けると拡大／縮小を細かく切り替えることができます。（フリースケール）
リスト画面では、リストを1ページずつ送ります。

⑦ **周辺** ボタン
現在地周辺の施設を探します。

⑧ **SOURCE** ボタン
オーディオモードのソースを切り替えます。押し続けるとオーディオの電源をOFFにします。
ボタンを押すごとに以下のようにソースが切り替わります。

ラジオ → MUSIC RACK → メモリーカード → Bluetoothオーディオ → DVD/CD → テレビ → VTR → USB/iPod → ラジオ

9 **> ボタン**

テレビ／ラジオ時：

プリセットチャンネルアップ

長押し時：

チャンネルのシークアップ

その他のオーディオソース選択時^{*1}：

トラックアップ、トラックのサーチアップ

10 **(BAND) ボタン**

テレビ、ラジオのバンド切り替えなどを行います。テレビ／ラジオ／iPod以外では、フォルダ／グループなどのUPボタンとして機能します。

11 **< ボタン**

テレビ／ラジオ時：

プリセットチャンネルダウン

長押し時：

チャンネルのシークダウン

その他のオーディオソース選択時^{*1}：

トラックダウン、トラックのサーチダウン

12 **(情報) ボタン**

VICSなど、各種情報を見るための情報メニューを表示します。

13 **(ビュー) ボタン**

地図の表示方法を変えます。

14 **(戻る) ボタン**

前の画面に戻ります。

15 **カラーボタン**

地上デジタルTV放送のカラーキーを操作するときに押します。

16 **(d) ボタン**

地上デジタルTV放送のデータ放送を受信させるときに押します。

17 **(番組表) ボタン**

EPG（電子番組ガイド）を表示するときに押します。押し続けるとEPGを更新します。

※1 DVDでは、リモコンで操作できないメニューがあります。その場合は、本機のタッチパネルで操作してください。

リモコンを操作する

電池を交換する

■電池に関する警告

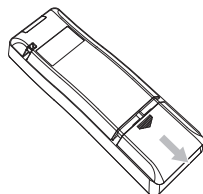
- 事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
- 乾電池は充電しないでください。電池の破裂により、けがの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合は、極性（⊕極と⊖極）に注意し、表示どおりに入れてください。電池の極性をまちがえると破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 使い切った電池はすぐに交換してください。液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。
- アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗ったあとただちに医師にご相談ください。

■電池に関するご注意

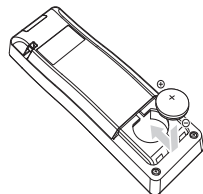
- 指定された電池以外は使用しない
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚染する原因となることがあります。
- リモコン内に電池を入れるときは、極性（⊕極と⊖極）に注意し、指示どおりに入れる
指示どおりに入れないと、電池の破裂や液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

- 加熱・分解したり、火・水の中に入れない
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。
- 金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯または保管しない
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。
- 使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する

1 電池カバーを開ける



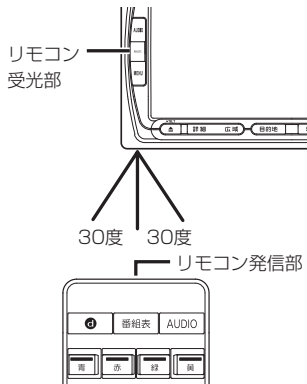
2 リチウム電池（CR2032）を⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める



リモコン操作時の注意

リモコンをお使いになるときは、以下にご注意ください。

- 本機のリモコン受信部に直射日光があたっていると、操作ができないことがあります。このような場合は、直射日光をさえぎって操作してください。
- リモコンは、直射日光の当たるダッシュボードの上など、高温になる場所に放置しないでください。本体の変形や電池の液漏れなど、故障の原因となります。
- リモコンの発信距離が短くなったり、操作可能範囲が狭くなった場合は、リモコンの電池を交換してください。
- リモコンの発信部は、上下左右30度の範囲で、リモコン受光部に向けて操作してください。



- リモコンを1ヶ月以上使用しないときは、液漏れ防止のため、電池をリモコンから取り出してください。液漏れした場合は、液をよく拭き、電池を交換してください。

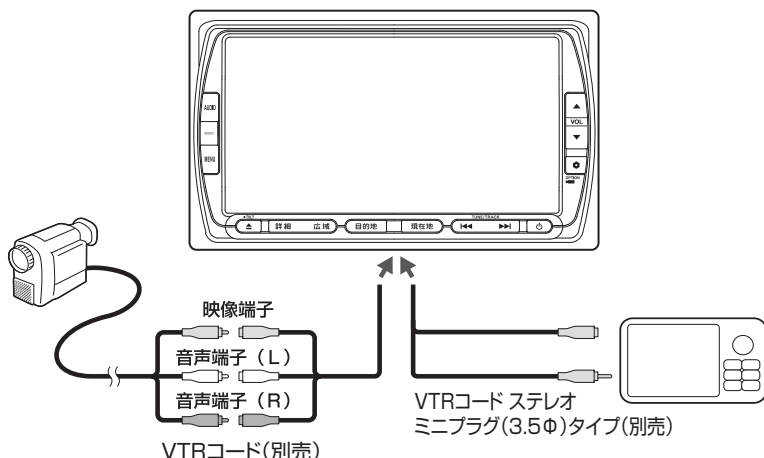
接続したビデオを観る（別売）

VTR機器／ポータブルオーディオを接続して使う



警告

- 運転者がテレビやビデオを観るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。
- 本機は安全のため、停車時のみテレビやビデオの映像を観ることができます。走行中は、音声だけ聴くことができます。



VTR機器／ポータブルオーディオを接続する

1 別売のVTRコードで、本機とお手持ちのVTR機器／ポータブルオーディオを接続する

オーディオ・ビジュアル映像入力端子と音声入力端子を正しく確実に接続してください。



- 接続したVTR機器／ポータブルオーディオの取扱説明書をあわせてご覧ください。

2 AUDIO を押し、VTR をタッチする



- **VTR** キーが表示されるのは、以下の条件を満たしているときです。
 - 別売のVTRコードを接続している
 - iPodの接続方法を「USB接続」に設定している
 - ナビ設定-その他の設定3の「VTR接続設定」を「VTR機器接続」に設定している

3 VTR機器／ポータブルオーディオを操作する

VTR映像が再生されます。



- AUX接続コード（ステレオミニプラグ（Φ3.5mm）タイプ）も同様の操作となります。

VTR画面のサイズを切り替える

再生中のVTR画面の表示サイズを切り替えます。



- 画面サイズを切り替えると、オリジナルの映像と見えかたが異なる場合があります。

ここまでの操作



VTR



画面切替

1 画面の表示サイズをタッチする



ノーマル



映像が縦横の比率を変えずに中央に表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

ワイド



映像の左右部分が横に広がって画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合に違和感を少なく表示できます。

フルワイド



映像が画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

シネマ



通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使います。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

2 戻る をタッチする

選択したサイズで画面が表示されます。

VTR機器接続の設定を切り替える

接続方法を切り替える

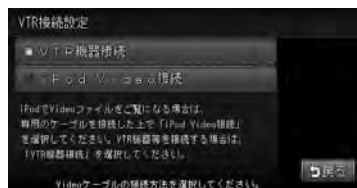
ここまでの操作



1 iPod/VTR接続設定 をタッチする



2 VTRの接続方法を選択してタッチする



VTR機器接続：

iPodでオーディオファイルのみお聴きになる場合、VTR機器やポータブルオーディオ機器を接続するときは **VTR機器接続** を選択してください。VTRケーブルが接続されていると、ソース切り替え画面の **VTR** が表示されます。

iPod Video接続：

iPodでVideoファイルをご覧になる場合は、**iPod Video接続** を選択します。この設定を行うとソース切り替え画面の **VTR** は非表示になり、VTR機器のご利用はできません。

設定を変更し、iPodをご利用になる場合は、iPodの接続を一度解除して再度接続してください。

工場出荷時は、**VTR機器接続** に設定されています。（この設定は、iPod機能内の接続方法設定と連動しています。）

リア席モニターを使う（別売）

車の後席に別売のリア席モニターを増設すれば、後席で映像をお楽しみいただけます。



- DVDの設定の「状態表示を設定する」（P.124）で状態表示を設定すると、リア席モニターにもDVDの再生状態の情報が表示されます。なお、映像を本機の画面からリア席モニターに切り替えたときに、本機の画面の再生情報の一部がリア席モニターに残る場合があります。

リア席モニターに表示できる映像

リア席モニターに表示できる映像は、以下のとおりです。リア席モニターにコントロールバーなどは表示されません。走行中／停車中に関係なく映像が表示されます。

- DVDビデオ、DVD-VR
- テレビ
- VTR
- iPodビデオ



- DVD、テレビ、VTR、iPodビデオ以外のソースを選択しても、リア席モニターには何も表示されません。
- 本機の画面でナビゲーション画面を表示中でも、リア席モニターには、再生中の映像が表示されます。

リアカメラシステムを使う

リアカメラシステムを接続すると、車の後方をモニターで見ることができます。



- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。



- リアカメラシステムが映し出す範囲には限界があります。また、リアカメラシステムの画面上に表示されるガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります（ガイドは直線となります）。
- リアカメラシステムの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。



- リアカメラシステムは車両標準装備または別売の場合があります。

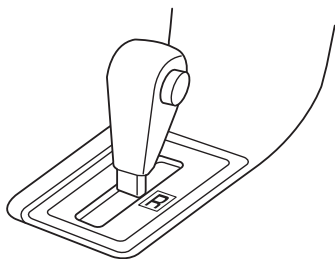
●リアカメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは、映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見ると同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。
- カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

リアカメラシステムの操作

リアカメラの映像を表示する

- 1 エンジンをつける
- 2 シフトレバーを (R) (リバース) にする



リアカメラの映像に切り替わります。オーディオ関連の画像が表示されているときでも、リアカメラの映像が優先して表示されます。



- カメラ表示中に操作できるのは、操作パネルの 、、、、、、別売のリモコンの上記同機能ボタンです。
- シフトレバーを (R) (リバース) にしているときのみ、ガイドの表示および調整ができます。
- 別売のオプションカメラを同時に接続することもできます。(P.215)

画質を調整する

- 1 リアカメラ映像表示中に を押す
- 2 各キーをタッチして、画質を調整する



コントラスト：

、 で明るさと暗さの差を調整します。

色濃度：

、 で色の濃さを調整します。

色合い：

、 で色味を調整します。

明るさ：

、 で明るさを調整します。

便利な機能（アクセサリ）の使い方

ガイドラインを表示する

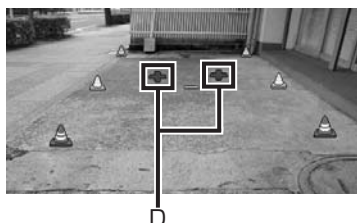
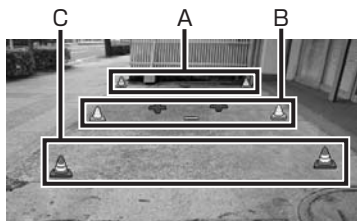
1 リアカメラ映像表示中に  をタッチする

2 **ガイドON** をタッチする



- **コーション↑** をタッチすると、コーション（注意事項表示）の位置が画面上部に切り替わります。

ガイドラインが表示されます。



A：バンパー後端より約2mの位置を示します。

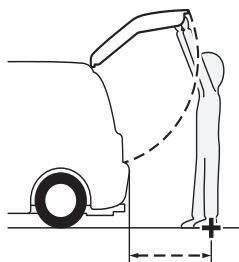
B：バンパー後端より約1mの位置を示します。

C：バンパー後端より約0.5mの位置を示します（車種により0.25mまたは0.5mの場合があります）。

D：テールゲートなどの開閉に必要な距離を示します。



- テールゲートなどの開閉に必要な距離は各販売店にて設定されます。
- 設定の変更などについては、各販売店にご相談ください。



テールゲートなどの開閉に必要な距離

フロントカメラ／コーナカメラを使う(別売)

ここでは、コーナカメラを例にあげて説明しています。



- フロントカメラ／コーナカメラはあくまで運転の補助手段として使用してください。安全のためカメラ使用時も目視による安全確認を行ないながら運転してください。



- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。

車速判定機能により、停車が予測されると自動的にカメラ映像が映し出されます。また、動作する地点を登録しておいても、自動的にカメラ映像を映し出すことができます。



- OPTIONボタンを操作しても、カメラ映像を映し出すことができます。(P.190)

カメラ映像を自動で映し出させる

カメラ映像を自動で映し出させるように条件を設定し、動作地点を設定します。

ここまでの操作



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値
コーナカメラ自動表示	停車が予測されたとき、カメラ映像を自動で表示するかどうかを設定する	する／しない*
登録地点検地	自動表示の登録地点通過時に停車が予測されたとき、カメラ映像を自動で表示するかどうかを設定する	する*／しない



- フロントカメラ接続時は、**フロントカメラ設定** をタッチしてください。

便利な機能
(アクセサリ)の
使い方

自動表示の動作地点を登録する

カメラ映像を自動的に映し出す地点を登録します。

動作地点は、登録リストに登録した地点に設定できます。設定は、あらかじめ地点登録された地点のデータ編集画面から行います。



- 地点登録については、「登録リストに登録する」(Q-P.59)をご覧ください。
- 地点の編集については、「登録リストを編集する」(P.28)をご覧ください。

ここまでの操作

目的地 ▶ 登録リスト

1 編集したいグループをタッチする

グループを設定していない場合は、手順2に進んでください。

2 編集 をタッチする

3 データ編集 をタッチする

4 カメラ映像を自動表示させたい地点をタッチする

5 アイコン・名称 をタッチする

6 カメラ をタッチして、決定 をタッチする



7 必要に応じて名称を入力し、決定 をタッチする

カメラ画面について

カメラの画質を調整する

- 1 カメラ映像表示中に **MENU** を押す
- 2 調整したい項目の調整キーをタッチして、画質を調整する



コントラスト：

+、**-** で明るさと暗さの差を調整します。

色濃度：

濃、**薄** で色の濃さを調整します。

色合い：

緑、**赤** で色味を調整します。

明るさ

明、**暗** で画面の明るさを調整します。

コーナーカメラのガイド表示を設定する



- ・必要な距離は各販売店にて設定されます。設定の変更などについては、各販売店にご相談ください。

- 1 カメラ映像表示中に **MENU** を押す

2 ガイドON をタッチする



コーナーガイドが表示されたカメラ映像が映し出されます。



■カメラ映像について

- ・カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- ・夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- ・コーナーカメラシステムは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- ・レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

便利な機能（アクセサリ）の使い方

カメラ映像を手動で映し出させる

OPTIONボタンを操作して、手動でカメラ映像を映し出します。

ボタン操作でカメラ映像を映し出すには、あらかじめOPTIONボタンに機能を割り付ける必要があります。

OPTIONボタンの設定

1  を押し続ける

2 **コーナークメラON/OFF** をタッチする



- フロントカメラ接続時は、**フロントカメラON/OFF** をタッチしてください。
- **アイコン表示** をタッチすると、割り付けた機能のアイコンが地図画面に表示されます。

OPTIONボタンにカメラの表示をON/OFFする機能が割り付けられます。

カメラ映像を手動で映し出す

1  を押す

カメラの映像が表示されます。

再度  を押すか車を加速すると、直前に表示していた画面に戻ります。



SDカードを使う（別売）

利用可能なSDカード

本機には、SDカードは付属していません。別途ご購入いただく必要があります。ご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。

本機でお使いいただけるSDカードは以下のとおりです。

本機ではSDカードと互換のない記録メディアには対応していません。

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- miniSDカード※
- microSDカード※

※専用のアダプターが必要です。

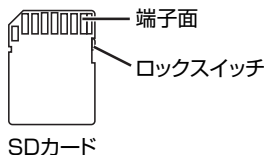


- miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

SDカードに関するご注意

SDカードをお使いの際は、以下のようなことにご注意ください。

- SDカードは、ダッシュボードの上や直射日光のあたる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
- SDカードの端子部に、手や金属で触れないでください。
- SDカードの最適化は行わないでください。
- 書き込み中や読み込み中にSDカードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが破壊されることがあります。
- 操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- SDカードへアクセスしている状態では、操作パネルを開けないでください。
- SDカードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。



SDカードのデータを編集する

SDカードのデータは、データ編集メニューから編集できます。
操作はSDカードを本機に挿入した状態で行います。



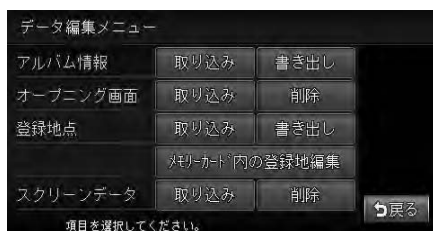
- 操作中は電源を切らないでください。
- SDカードにアクセスしているときは、本機に関する一切の操作を行わないでください。

ここまでの操作



▶ 各種設定

▶ データ編集



設定項目	設定内容	参照ページ
アルバム情報の取り込み／書き出し ^{※1}	SDカードから本機にアルバム情報を取り込む MUSIC RACKのアルバム情報をSDカードに書き出す * 音楽データをSDカードにコピーすることはできません。	P.221
オープニング画面の取り込み／削除	SDカード内のオープニング画面用画像データを本機に取り込む 本機に取り込んだ画像を削除する	P.222
登録地点の取り込み／書き出し	SDカード内の登録地点を本機に取り込む 本機からSDカードに登録地点を書き出す SDカード内の登録地点を編集することもできます。	P.224
スクリーンデータの取り込み／削除	SDカードから本機にスクリーンデータを取り込む 本機に取り込んだスクリーンデータを削除する	P.226

※1 オーディオをMUSIC RACKモードにしている時のみ有効です。

■ナビマスター Sについて

本機に取り込む画像のサイズ調整や、アルバム情報の更新には、弊社で提供しておりますパソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター S」が必要です。

「ナビマスター S」は、以下の弊社ホームページからダウンロードできます。

<http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxs-102vfi/>

「ナビマスター S」の操作方法は、アプリケーションの提供とあわせてご案内します。

アルバム情報の取り込み／書き出し

アルバム情報の更新について

SDカードとパソコンを使用してアルバム情報を更新できます。

録音の際に、本機に内蔵のGracenote Music Recognition ServiceSMから取得したアルバム情報をSDカードとパソコンを使用して、インターネットのGracenoteのデータベースから最新の情報に更新できます。

本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン用専用アプリケーション「ナビマスター S」が必要になります。ナビマスター Sについて詳しくは、「ナビマスター Sについて」(P.221)をご覧ください。

アルバム情報を取り込む

ここまでの操作



各種設定

データ編集

1 「アルバム情報」の **取り込み** をタッチする

2 **はい** をタッチする

SDカード内のアルバム情報が本機に取り込まれます。

アルバム情報を書き出す

ここまでの操作



各種設定

データ編集

1 「アルバム情報」の **書き出し** をタッチする

2 書き出すアルバムを選択して **決定** をタッチする



3 **はい** をタッチする
選択したアルバム情報がSDカードに書き出されます。

便利な機能（アクセサリ）の使い方

オープニング画面の取り込み／削除

本機を起動したときに表示されるオープニング画面をSDカードから取り込みます。

■オープニング画面とは

オープニング画面とは、本機起動時に画面に表示される画像のことです。デジタルカメラなどで撮影したお好みの画像ファイルをオープニング画面としてお使いいただけます。

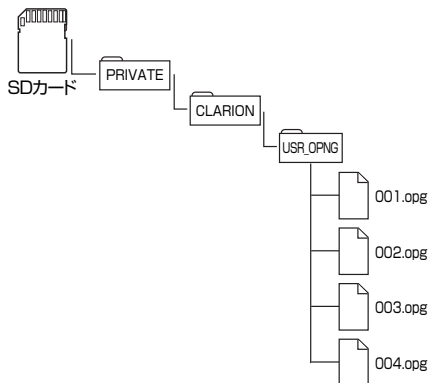
取り込んだオープニング画面を本機で使うには、「オープニング画面を設定する」(P.198)をご覧ください。

オープニング画面として取り込んだ画像は他の用途には使えません。

オープニング画面として画像を扱うには

オープニング画面は、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- パソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター S」で作成した画像データを「OPG」形式で保存したもの。詳しくは「ナビマスター Sについて」(P.221)をご覧ください。
- 以下のフォルダ構造でファイルが保存されていること。



オープニング画面を取り込む

オープニング画面は20個まで取り込めます。

ここまでの操作



各種設定

データ編集

1 [オープニング画面] の **取り込み** をタッチする

2 取り込むオープニング画面を選択して **決定** をタッチする



オープニング画面が取り込まれます。

オープニング画面を削除する

ここまでの操作



各種設定

データ編集

1 [オープニング画面] の **削除** をタッチする

2 削除するオープニング画面を選択して **決定** をタッチする



3 はい をタッチする

選択したオープニング画面が削除されます。

便利な機能（アクセサリ）の使い方

登録地点の取り込み／書き出し

登録地点を取り込む

SDカード内の登録地点を本機の登録リストに最大400件まで取り込めます。

ここまでの操作



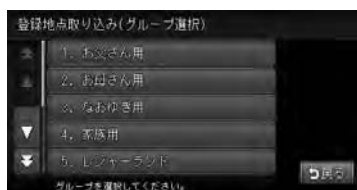
各種設定



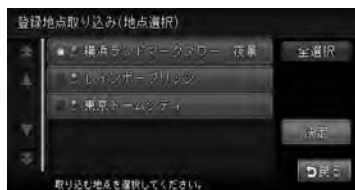
データ編集

1 「登録地点」の **取り込み** をタッチする

2 取り込むグループをタッチする



3 取り込む登録地点を選択して **決定** をタッチする



選択した地点が登録リストに取り込まれます。

登録地点を書き出す

本機の登録リストから登録地点を選択して、SDカードに書き出せます。SDカードに保存できる登録地点の数は、最大4,500件です。最大10グループ、かつ、1グループにつき450件まで登録できます。



• 登録地点の書き出しはバックアップとして保存できます。

ここまでの操作



各種設定



データ編集

1 「登録地点」の **書き出し** をタッチする

2 書き出す登録地点を選択して **決定** をタッチする



3 グループをタッチする

4 はい をタッチする

選択した登録地点がSDカードに書き出されます。

登録地点の編集

SDカード内の登録地点のグループ名を変更したり、登録地点を削除します。

登録地点のグループ名を変更する

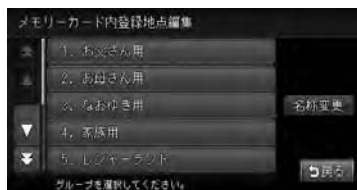
SDカード内の登録地点のグループ名を変更します。

ここまでの操作



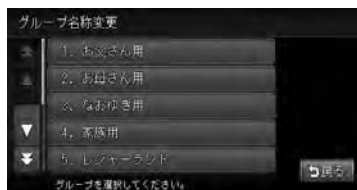
1 **メモリーカード内の登録地編集** をタッチする

2 **名称変更** をタッチする



• グループをタッチすると、地点を確認したり、削除できます。

3 名称を変更するグループをタッチする



4 名称を入力して **決定** をタッチする

グループ名が変更されます。

登録地点を削除する

SDカード内の登録地点を削除します。

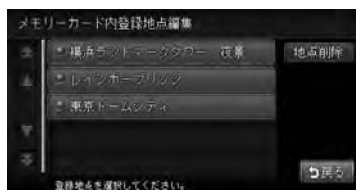
ここまでの操作



1 **メモリーカード内の登録地編集** をタッチする

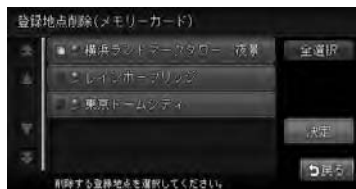
2 削除する登録地点が所属するグループをタッチする

3 **地点削除** をタッチする



• 地点をタッチすると、地点を地図で確認できます。

4 削除する登録地点を選択して **決定** をタッチする



5 **はい** をタッチする

選択した登録地点が削除されます。

便利な機能
(アクセサリ) の使い方

スクリーンデータの取り込み／削除

バラエティスクリーンをSDカードから取り込みます。取り込めるスクリーンは2つまでです。

■スクリーンとは

スクリーンとは、ナビゲーションやオーディオのメニュー画面を、お好みのデザイン（メニューのベース色、タッチキーの色合い、イラスト表示、形状など）に設定できるテンプレート（ひな形）です。また、目的地メニューの配置（レイアウト）もお好みのものを設定できます。初期状態では、ナイトマリン、彩ーいろどりー、スクウェアの3つのスクリーンに、それぞれ2つのレイアウトを用意しています。

新しいスクリーンは弊社のホームページからダウンロードできます。

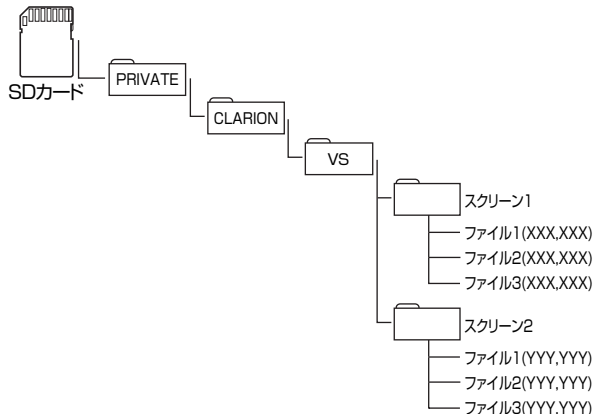
<http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxs-102vfi/>



- 取り込んだスクリーンを本機で使用するには、「スクリーンの設定をする」（P.196）をご覧ください。

スクリーンとして画像を扱うには

スクリーンを取り込むには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。



スクリーンデータを取り込む

ここまでの操作



各種設定



データ編集

1 [スクリーンデータ] の **取り込み** をタッチする

2 取り込むスクリーンを選択して、**決定** をタッチする



本機にスクリーンデータが取り込まれます。



- スクリーン選択画面の4つ目と5つ目の項目に取り込まれます。すでに取り込んだスクリーンは上書きされません。

スクリーンデータを削除する

本機に取り込んだスクリーンデータを削除します。

ここまでの操作



各種設定



データ編集

1 [スクリーンデータ] の **削除** をタッチする

2 削除するスクリーンを選択して **決定** をタッチする



- あらかじめ本機に設定されている「ナイトマリン」、「彩ーいろどりー」、「スクウェア」は削除できません。

3 はい をタッチする

選択したスクリーンデータが削除されます。

Memo

困ったときに…

ナビゲーション・オーディオの操作方法に困ったとき、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

自車位置がずれていたら	230
故障かなと思ったら	235
よくある質問について (Q&A)	244
エラーメッセージ一覧	251

自転車位置がずれていたら

本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します（距離係数／学習機能）ので、ある程度の走行データが必要です。

従って、走行状態やGPS衛星の状態により、自転車位置マークが実際の車の位置とずれることがあります。故障ではありません。

そのまましばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。

自転車位置のずれを修正するには

はじめて使用するときや「センサーの学習記録を初期化する」(P.186) の操作を行った後は、走行データが少ないために誤差を生じますが、GPS衛星からの電波が良好に受信できる見通しのよい道（国道、主要地方道路、主要一般道路）をしばらく走行すると、自転車位置マークが地図上を正確に進むようになりますので、次の方法により短時間で学習をさせることができます。

上空に障害物がない道、あるいは周辺に高いビルがない（GPSが受信できる）道で、約5分間、50km/h前後のスピードで定速走行を行う。



- 自転車位置マークの精度や誤差について詳しくは、「自転車位置の精度について」(P.231) をご覧ください。

3Dセンサーによる上下道路判定について

自転車が都市高速などに乗った場合（降りた場合）などに、車の高さの変動や道路の傾斜を3Dセンサーで検出し、上下道路判定による自転車位置測位を行います。

- 上下道路判定は、3Dセンサー並びに高さデータを収録している地図データからの情報で行います。高さデータを収録している道路は、都市高速道路（首都・名古屋・阪神・広島・福岡・北九州）、東京外環自動車道などです。
- 高さデータ収録地域においても、道路形状や走行状況により、正しく上下移動判定ができない場合があります。（道路の傾斜が緩やかで高低差が少ない、ランプの長さが短い、センサーの学習が不十分な場合など）

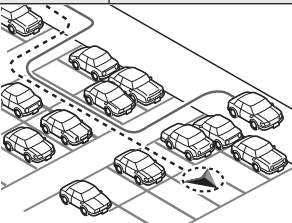
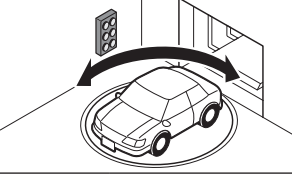
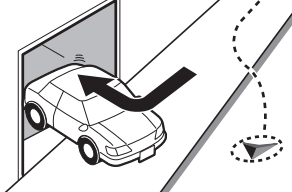
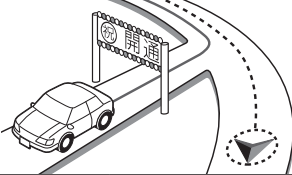
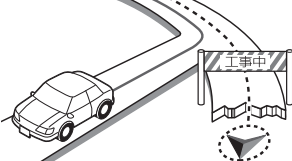
自車位置の精度について

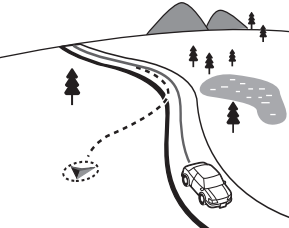
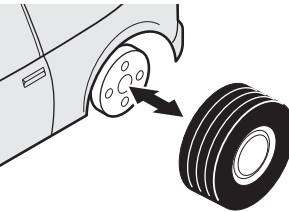
次のような道路状況、走行状態やGPS衛星の状態により、実際の車の位置と自車位置マークがずれ、正しく判定できない場合がありますが、そのまましばらく走行すると自動的に現在位置を補正します。

原因（状況）	：走行中 ：表示	走行条件	備考（処置など）
道路の形状		Y字路のように徐々に開いていくような分岐では、センサーにより推測される進行方向の誤差により、誤った道路上に自車位置マークが表示されることがあります。	
		ループ橋など、連続して大きく旋回する場合は、旋回角度の誤差の累積により、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		直線および緩やかなカーブを長距離走行すると、マップマッチングの効果が完全には発揮されず、距離の誤差が大きくなり、その後、角を曲がったりすると、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、「 自車位置を調整する 」(P.185)を行ってから、「 センサーの学習記録を初期化する 」(P.186)を行ってください。これらの操作を行った上で、「 自車位置のずれを修正するには 」(P.230)をご覧ください。
		つづら折れでは、方位の精度により近くの似た方位の道路上に誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		基盤目状道路では、近くに似た方位の道路が多いため、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		高速道と側道のように、近くに似た方位の道路があると、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	

困ったときに…

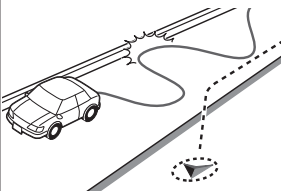
自車位置がずれていたら

原因（状況）		走行条件	備考（処置など）
場所		駐車場など、地図上で道路のないところを走行すると、周辺の道路に誤ってマッチングし、道路に戻ったときに、自車位置マークが正しい位置からはずれていることがあります。また、旋回や切り返しを繰り返すと、方位誤差が累積し、正しく道路に乗らないことがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、「自車位置を調整する」(P.185)を行ってから、「センサーの学習記録を初期化する」(P.186)を行ってください。これらの操作を行った上で、「自車位置のずれを修正するには」(P.230)をご覧ください。
		ターンテーブルで旋回すると、方位が狂い、自車位置マークが正しい道路に戻りにくいことがあります。	
		雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路では、距離の誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	
		坂道の車庫入れやバンクした道路など、車両が傾斜した状態で旋回すると、旋回角度に誤差が生じ、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
地図データ		地図画面などに表示されていない新設道路などを走行すると、マップマッチングが正確に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、表示される道路に戻ったときには、自車位置マークが正しい道路からはずれていることがあります。	
		地図データに登録されている道路と実際の道路形状が違う場合は、マップマッチングが正常に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	

原因（状況）	：走行中 ：表示	走行条件	備考（処置など）
地図データ		詳細地図のない地域では、詳細地図のある地域と比較して、形状が正しく表現されていない場合があります。また、登録されている詳細な道路が少ないため、地図画面に表示されない道路を走行すると誤ってマッチングし、自転車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、「自転車位置を調整する」(P.185)を行ってから、「センサーの学習記録を初期化する」(P.186)を行ってください。これらの操作を行った上で、「自転車位置のずれを修正するには」(P.230)をご覧ください。
車両		タイヤチェーンを装着したり、タイヤ交換をすると、距離が正しく検出されず、自転車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	タイヤチェーンを脱着した後やタイヤを交換した後は、「センサーの学習記録を初期化する」(P.186)を行ってください。この操作を行った上で、「自転車位置のずれを修正するには」(P.230)をご覧ください。
走りかた	無停止連続走行	長距離を停止せずに連続して走行すると、方位誤差が累積し、自転車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	一度停止して、「センサーの学習記録を初期化する」(P.186)を行ってください。この操作を行った上で、「自転車位置のずれを修正するには」(P.230)をご覧ください。

困ったときに：

自車位置がずれていたら

原因（状況）		走行条件	備考（処置など）
走りかた		ホイールスピンをするなどの乱暴な運転をすると、正しい検出ができず、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	「 自車位置を調整する 」(P.185)を行い、「 センサーの学習記録を初期化する 」(P.186)を行ってください。これらの操作を行った上で、「 自車位置のずれを修正するには 」(P.230)をご覧ください。
	自車位置調整時の精度 自車位置調整時の方位 	位置の設定の精度が悪いと、とくに道路が多い場所では、正しい道路を見つけれずに、精度が低下することがあります。 自車位置の移動時に車両の方位が合っていないと、その後の精度が低下することがあります。	お願い 修正時は、可能な限り、詳細図で行ってください。 自車位置調整の方位修正機能で修正してください。

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

ナビゲーション関連

	症 状	原 因	処 置
表示関連	GPS受信の表示がない。	アンテナケーブルが接続されていない。	アンテナケーブルを接続してください。
		障害物などにより、GPS衛星の電波を受信できない。	障害物などがなくなれば受信できます。
		受信可能なGPS衛星が少ない。	衛星の配置が悪く、測位できない場合もあります。
		フェリーなどで大幅に移動した。	走行することにより表示されるようになります。
	メニュー画面が表示されない。	走行中は、安全のため操作を禁止している項目のボタンは表示しない。	車を完全に停車させてください。
	アイコンがやたらに表示される。	周辺検索を行うと検索結果の表示として↓付きのアイコンが多数表示される。	「目的地」メニューの「周辺検索」メニューを開いて「検索アイコン消去」を選ぶと表示を消せます。
地図画面が乱れる。	電氣的ノイズを発生する電装品（以下）を本機の近くで使用している。 ・ 高電圧を発生させて作動するもの ……マイナスイオン発生器など ・ 電磁波を発生するもの ……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。	
電源投入直後、画面が見づらい。	気温が低いときは、液晶バックライトの特性上、輝度が低い場合がある。	バックライトが温まれば解消されます。	
誘導音声関連	ルート誘導の音声が小さい（または大きい）。	音量が小さく（または大きく）設定されている。	「音量を調整する」(P.176) をご覧になり、音量を調整してください。
	音声案内が出ない。	音声案内が、「しない」に設定されている。	「音声案内の設定をする」(P.175) をご覧になり、音声案内の設定を「する」にしてください。
	駐車時にオーディオの音声が聞こえなくなった。	スマートパーキングアシストシステムが作動している。	音声案内が終了するまでお待ちください。

困ったときに：

故障かなと思ったら

症 状		原 因	処 置
●ナビゲーション関連			
自車位置精度関連	自車位置がずれる。 (購入直後)	車速パルスと距離の学習が不十分の可能性ある。	GPSの受信しやすい場所で、時速50km程度の速度を保ってしばらく走行すると精度が向上します。
	自車位置がずれる。 (タイヤ交換後)	車速パルスと距離の関係値が交換前のタイヤに最適化されてしまっている。	「センサーの学習記録を初期化する」(P.186) を行ってください。
	自車位置がずれる。 (他の電装品が装着されている)	GPS内蔵レーダー探知機など装着されている電装品の影響で、GPS等のセンサーに影響が出ている可能性がある。	装着されている電装品を、本機およびGPSアンテナ線から十分離してご使用ください。
VICS関連	FM多重周波数が自動追尾されない。	周波数を変えると、自動追尾の設定は強制的に「オフ」になる。	「FM周波数を設定する」(P.179) をご覧になり、自動追尾の設定を「オン」に設定してください。
		出力の小さいローカル局など、電波状態が悪い場合は追尾しない場合がある。	「FM周波数を設定する」(P.179) をご覧になり、手動で放送局を選んでください。
	ビーコンの簡易図形が割込表示されない。	ビーコンから図形情報が提供されていないことがある。	特定の場所で表示されない場合、VICSセンターにお問い合わせください。
		キー操作中やメニュー表示中は、図形情報が割込まない。	地図表示画面かオーディオモードの画面で割り込みが行われるかご確認ください。
	情報を見るメニューに ビーコン が表示されない。	VICS光・電波ビーコンが接続されていない。	別売のVICS光・電波ビーコンを接続してください。
	インターナビに接続できない。	携帯電話の接続設定が正しくない。	インターナビ・プレミアムクラブに入会した後、インターナビ・プレミアムクラブ編の 「インターナビの準備」 、 「インターナビに接続する」 をご覧になり、携帯電話の接続設定を正しく行ってください。
ETC関連	情報を見るメニューに ETC が表示されない。	ETC車載器が接続されていない。	別売のETC車載器を接続してください。

オーディオ関連

症 状	原 因	処 置
表示関連 オーディオ画面が乱れる。	電氣的ノイズを発生する電装品（以下）を本機の近くで使用している。 ・ 高電圧を発生させて作動するもの ……マイナスイオン発生器など ・ 電磁波を発生するもの ……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
ラジオ	雑音が多い。	放送局の周波数に合っていない。
	自動で選局できない。	強い電波の放送局がない。
	放送局の名前が表示されない。	エリア選択で該当する地域を選択する。（その場合でもすべての放送局の名称が登録されているわけではありません。放送局名が出ないようであればユーザータイトルを入力してください。）
CD/DVD/MP3/WMA	ディスクを挿入しても音が出ない、またはディスクがすぐ出してしまう。	ディスクの裏表を逆にセットしている。
		ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
		CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDを使用している。
		CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDは使用できません場合があります。お使いのCDをもう一度ご確認ください。
	ファイナライズされていないディスクをセットしている。	ディスクをファイナライズしてから使用してください。
	MIX MODE CDをセットしている。	MIX MODE CDは再生できませんのでディスクを取り出してください。
	イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。	異物等の混入により、通常の排出動作ではディスクを排出できない状態にある。 7秒間イジェクトボタンを押してください。それでも取り出せない場合は販売店にご相談ください。

困ったときに：

症 状		原 因	処 置
●オーディオ関連			
C D / D V D / M P 3 / W M A	DVD-VRで記録した静止画の切り替えに時間がかかる。	DVD-VRをセットしている。	DVD-VRで記録した静止画の切り替えには時間がかかります。
	音飛びする。 ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている。	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		ディスクに大きな傷やソリがある。	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が良くない。	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴がつくことがある。	電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	ディスクが挿入できない。	本機の中にすでにディスクがセットされている。	「メディアの出し入れ」(Q-P.84) をご覧になり、すでにセットされているディスクを取り出してから、聴きたいディスクを挿入してください。
	CD-TEXT・TAG情報が表示できない。	CD-TEXT・TAG情報優先表示になっていない。	「CD-TEXT・TAG情報を優先して表示する」(P.134) をご覧になり、CD-TEXT優先表示に設定してください。
	CDタイトルが表示されない。	Gracenoteのデータベースよりも新しいCDを再生した。	「アルバム情報の更新について」(P.221) をご覧になり、最新のアルバム情報を取り込んでください。
	MP3／WMAの音が飛ぶ。	MP3／WMAファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	MP3／WMAの音切れがする／音が飛ぶ。	エンコードソフトとの相性が合っていない。	エンコードソフトを変えて録音してみてください。
	MP3／WMAの音が悪い。	圧縮率が大きく録音されている。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をしてみてください。
	再生できないファイルやフォルダがある。	8階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大255（ルートを含む）、ファイルは最大512（1フォルダには最大255ファイルまで）を超えた場合には、再生できない。また、TAG情報の中に画像やテキストファイルなど音楽データ以外の大きなデータが入っていると、ファイルが再生できない場合がある。	音楽データ以外のデータ部分を削除してファイルを作ってください。

症 状		原 因	処 置
C D / D V D / M P 3 / W M A	正しく表示されない。	正しく書き込まれていない。	ISO9660-LV1またはLV2に書き込み設定を変えて書き込みを行ってください。
	CD Extraに記録したMP3／WMAが再生できない。	CD Extraで第1セッション以外にMP3／WMAファイルが書き込まれている。	CD Extraの第1セッションにMP3／WMAファイルが書き込まれたCDを再生してください。
	「ディスクを確認してください」の画面が表示される。	ディスクを表裏逆にセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
M U S I C R A C K	タイトルが表示されない。	Gracenoteのデータベースよりも新しいCDを録音したためアルバム情報が古くなっている。	パソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター S」を使った最新のアルバム情報をSDカードに保存し、「 アルバム情報の更新について 」(P.221)をご覧ください。または、「 アルバム情報を編集する 」(P.142)、「 トラック情報を編集する 」(P.144)をご覧ください。
	表示されたタイトル(アーティスト／アルバム／トラックの各タイトル)が間違っている。	GracenoteはTOC情報でタイトルを探すか、あいまいに探してタイトルを割り当てるために、タイトルが合わないことがある。	
	音が飛ぶ。	音飛びした状態で録音された。	振動やディスクのキズにより音飛びした可能性があります。ディスクに傷がないか確認して、再度録音してください。
	録音ができない。	SSDの容量が不足している。	「 不要なアルバムを削除する 」(P.143)「 不要なトラックを削除する 」(P.144)をご覧ください。録音済みの曲を消してください。
		コピー禁止ディスクを使っている。	コピー可能ディスクを使って、録音してください。

困ったときに…

症 状		原 因	処 置
●オーディオ関連			
MUSIC RACK	録音ができない。	全曲録音済みのディスクを再生している。	別のディスクをセットしてください。
		自動録音モードになっていない。	「録音設定を変更する」(P.137) をご覧ください。自動録音モードに設定してください。
		SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) で2世代目のコピーになっている。	コピー可能ディスクを再生してください。
	録音したはずのアルバムが表示されない。	「編集」の「選択演奏」の「アルバム選択」でアルバムが選ばれていない。	「条件から複数のアルバムを選んで再生する」(P.140) をご覧ください。
SDカード／USBメモリー	SDカードの音がない。	未対応のSDカードを使っている。	対応可能なSDカードを使ってください。
	SDカードが挿入できない。	SDカードを表裏逆に挿入している。	SDカードのラベル面を上にして挿入してください。
	USBメモリーから再生できない。	USB取り外し処理を実行した。	一度USBメモリーを取り外して、再度接続してください。
	音が飛ぶ。	MP3／WMAファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	音が悪い。	圧縮率が大きい。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音してみてください。
	再生できないファイルやフォルダがある。	● SD 3階層目以外のフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大500 (ルートを含む)、ファイルは最大4000 (1フォルダには最大99ファイルまで) を超えた場合には、再生できない。 ● USB 9階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大500 (ルートを含む)、ファイルは最大8000 (1フォルダには最大255ファイルまで) を超えた場合には、再生できない。	PCを使用し、制限内に収まるよう再構成してください。

症 状		原 因	処 置
SDカード／USBメモリー	TAG（曲目）が表示されない。	TAG表示優先になっていない。	「CD-TEXT・TAG情報を優先して表示する」(P.134) をご覧になり、ID3タグ表示を優先にしてください。
	操作パネルを開いたら再生が停止してしまった。	SDカード内のデータ保護のために操作パネルを開くとスロットの電源が切れる。	操作パネルを閉じると再生が再開されます。
	実際に入れているMP3／WMAファイルの数が違う。	SDカードまたはUSBメモリーにMP3／WMA以外のファイルがある。	MP3／WMA以外のファイルを削除してください。
TV	放送局名が表示されない。	受信チャンネルのリストが取得できていない。	まず、「優先エリアを切り替える」(P.108) をご覧になり、放送局のエリアを設定します。次に「自動で登録する（オートプリセット）」(P.101) をご覧になり、オートプリセットを実行してください。
		受信感度が悪い。	放送局の情報は放送電波より取得するものがあります。電波環境のよいところに移動してください。
	映りが悪い。	フロントガラスからフィルム（アンテナ）がはがれている。	フィルムは貼り直しができませんので、販売店で新しいアンテナと交換してください。

電話

症 状	原 因	処 置
電話がつかない。	Bluetooth対応携帯電話を正しく接続していない。	「携帯電話を登録する（ペアリング）」(P.71) をご覧になり、Bluetooth対応携帯電話を正しく接続してください。
	携帯電話の電源が切れている。	携帯電話の電源を入れてください。
	携帯電話が近くにない。	本機とBluetooth携帯電話とは、無線で通信を行います。無線の届く範囲内でないとう通信ができません。携帯電話を車内に置いてください。

困ったときに：

症 状	原 因	処 置
●電話		
電話がつかない。	携帯電話側の接続処理の設定が完了していない。	P.72の設定まで完了した後に、携帯電話側で「ダイヤルアップ」や「DUN」などの設定を行う必要があります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。 一部の携帯電話の操作方法が、インターナビプレミアムクラブのホームページに掲載されていますのでご参照ください。
	電波干渉により、一時的にBluetooth接続が失敗していることがある。	再度接続処理を行ってください。
電話画面まで遷移できない。	携帯電話との接続が正常に行われない場合がある。	携帯電話の電源をOFF→ONにし、その後Bluetooth電源をOFF→ONしてください。 (P.83)
自動接続するよう設定しても自動的に接続されない。	携帯電話の機種によっては、自動的に接続されない場合がある。	登録機器のリストから接続したい携帯電話をタッチしてください。
通話音が聞こえづらい。	通話音量が小さく設定されている。	通話中に  を押して通話音量を大きくしてください。
通話者に声が聞こえづらいと言われる。	マイク感度が適切でない。	「電話の設定をする」(P.82) をご覧になり、マイク感度を適切に設定してください。
本機の電話帳に携帯電話の電話帳が表示されない。	あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に転送していない。	「電話帳からかける」(P.78) をご覧になり、携帯電話の電話帳を本機に転送してください。

リアカメラシステム

症 状	原 因	処 置
カメラ映像が表示されない。	シフトレバーがRの位置になっていない。	シフトレバーがRの位置になっているか確認してください。
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	CCD 素子を使用したカメラの特性です。	故障ではありません。

症 状	原 因	処 置
リアカメラの三角コーン／マークが出ない。	三角コーン表示が「ガイドOFF」になっている。	徐行もしくは停止した状態で  を押し、 ガイドON をタッチしてください。(P.214)
リアカメラの三角コーンが正しく合っていない。	三角コーンが正しく調整されていない。	販売店での調整が必要です。
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物を降ろした状態でご確認ください。三角コーン／マークの調整が必要な場合は販売店にご相談ください。

フロントカメラ／コーナーカメラシステム

症 状	原 因	処 置
カメラ映像が表示されない。	車速が速い。	減速してください。
	加速した。	
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	CCD 素子を使用したカメラの特性です。	故障ではありません。
コーナーカメラの三角コーン／マークが出ない。	三角コーン表示が「ガイドOFF」になっている。	徐行もしくは停止した状態で  を押し、 ガイドON をタッチしてください。(P.217)
コーナーカメラの三角コーンが正しく合っていない。	三角コーンが正しく調整されていない。	販売店での調整が必要です。
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物を降ろした状態でご確認ください。三角コーン／マークの調整が必要な場合は販売店にご相談ください。

その他

症 状	原 因	処 置
ディスプレイに「エラー表示」が出る。	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている。	「エラ ー メ ャ ッ ジ ー 覧」(P.251) を参照して、内容を確認してください。
パネルが閉じない。	CD/DVD、SDカード、B-CASカードが確実に差し込まれていない。	確実に差し込むか、取り出してください。

よくある質問について (Q&A)

ナビゲーション編

Q: 目的地までの経路計算結果で、最適ではない経路を案内されましたが…

A: ナビゲーションが道路種別などを考慮して経路計算しますので、必ずしも最適な経路を引かない場合があります。経由地を設定したり計算条件を変えて計算を行ってみてください。

Q: 条件を変えても同じルートで案内されます。

A: 道路状況により、計算方法を変えても同じルートになる場合があります。ご希望のルート設定をするには、経由地を設定することをお勧めします。

Q: 複数ルート表示で6ルート表示されません。

A: 必ずしも6ルートが表示されるとは限りません。どうしてもあるルートが最適な場合は、他のルートが計算できないことがあります。また、経由地設定時には、複数ルート計算をしない仕様となっています。

Q: バイパス道路を案内されません。

A: あらかじめ設定された計算条件のルートの方の距離が短い場合は、あらかじめ設定された計算条件のルートを優先することがあります。

Q: 条件が「距離優先」なのに、最短距離と思われるルートで案内されません。また、複数ルート表示で、標準2のルートよりも距離優先のルートの方が距離が長いようです。

A: あくまでも距離「優先」であり、距離のみでルートを引いているわけではなく、道路種別なども考慮してルートを引いているためです。また、標準2は「標準」「距離優先」とは別に提示可能なルートを表示しているため、標準2よりも距離優先の方がルートの距離が長くなる場合もあります。

Q: 有料道路の料金表示はできますか？

A: 可能です。ただし、一部対応していない路線があります。(対象道路でも、開通時期などデータ整備上の問題で、料金が正しく表示されない場合があります。このような場合には、実際の料金に従ってください。)

Q: 個人宅検索をしたが、自宅がヒットせず、探せません。

A: 個人宅の電話番号は対象となりません。

Q: ナビ画面（地図画面）のVICS情報表示が実際と違うことがあります。

A: (1) 情報は「5分ごとに更新」ですので、渋滞状況が急激に変化した場合、実状と違うことがあります。
(2) FM多重では、電波状態が悪いとデータが受信されず、内容が更新されない場合があります。
(3) 新設された道路、細街路など、VICS情報が提供されていない道路では、渋滞情報は表示されません。

Q: 操作時に、その時々でボタンが出たり出なかったりすることがありますが？

A: 操作できないボタンは消える仕様になっています。画面上に表示されるボタンはそのときの状況により変化します。安全のため走行中に操作できないボタンは消えたり、タッチできないようになっていきます。

Q: 到着予想時刻の計算基準はなんですか？

A: 「**到着予想自動設定**」(P.173)を「する」に設定している場合には、インターネット交通情報やビーコンVICS情報を用いて計算します。いずれの情報も受信していない場合は、道路の種別ごとに平均的な速度を一律で適用して計算します。「しない」に設定している場合は、「**到着予想速度設定**」(P.174)を基準に算出します(こちらは、お好みの平均速度を設定することができます)。

Q: ルート誘導中の到着予想時刻は、時速何kmで計算しているのですか？

A: ルート誘導中の到着予想時刻は、「到着予想時間速度設定」から任意に設定が可能です。詳しくは、「**到着予想速度を設定する**」(P.174)をご覧ください。

Q: 一般道優先で計算したのに、高速道路に誘導されました。

A: 一般道路を使用すると極端に遠回りになるときは、有料道路を使うことがあります。これは、あくまでも一般道路「優先」であり、「使わない」とはしていないからです。

Q: 高速道路上で案内終了する経路を案内されました。

A: 原則としては高速道路上で案内終了する経路は案内しませんが、一部の一般有料道路については案内しています。目的地が高速道路高架下にあるなどで案内が不適切な場合は、目的地の座標を適切な位置に移動してください。

Q: 案内がありません。案内が間違っています。

A: 収録されている地図データの形状から案内する方向を決めています。データの形状によって、案内しない場合や「右」を「斜め右」など方位が適切でない案内をする場合があります。

Q: Y字路の案内がされません。

A: 地図データが道なりの場合、誘導しない仕様です。

Q: 進入禁止の道に誘導されました。一方通行を逆に案内されました。入れない道を案内されました。

A: 地図メーカーよりデータの提供を受けていますが、メンテナンスが間に合っていない場合や、データが間違っている場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

Q: ハイウェイモードに自動で切り替わらない。

A: 高速道路／有料道路の一部には、ハイウェイモードに切り替わらない道路も含まれます。

Q: ハイウェイモードやシティモードが自動的に解除されます。

A: ビーコン受信時やルートを外れたときなどでリルートが発生した場合、計算が終了するまで通常地図に戻ります。計算終了後、新しいルート上を走行すれば、直前に設定していたモードに自動切り替えます。

困ったときに…

よくある質問について (Q&A)

Q: 「○○のある交差点を・・・」という案内をされたが、そのような施設が見当たらなかった。

A: 地図データ上の情報を基に案内していますが、発売後の移転や閉店などにより、当該施設がなくなっている場合があります。

また、現地の状況によってはお車から見えない場所にある施設を目印として案内してしまうこともございます。案内は、あくまでも参考程度にお考えくださるようお願いいたします。

Q: ETCレーン図を表示できますか？

A: 可能です。表示方法について詳しくは、「**ハイウェイモードの表示について-ETCレーン図**」(Q-P.80)をご覧ください。

Q: ルート設定していなくてもマルチメーターが表示されますが、仕様ですか？

A: 仕様です。マルチメーターはルート設定をしなくても表示されます。

またマルチメーターの表示は、目的地解除や目的地設定で初期化(リセット)されます。

Q: 有料道路の料金が「○○円(仮)」と表示されたがどういう意味ですか？

A: 新規に開通した高速道路路線やICの一部について、本機発売時点では正式な通行料金が未決定であったため、このような表示がされる場合があります。実際に適用・請求される通行料金と異なる場合がありますが、その場合は実際に適用・請求される料金をお支払いください。

Q: ハイウェイモード時にパーキングエリアにある施設情報は表示できますか？

A: ハイウェイモードで表示される施設リストのパーキングエリア(PA)をタッチすると、そのパーキングエリアにあるガソリンスタンドやトイレなどの施設情報(施設マーク)が表示可能です。

Q: 星座表示可能な星座は？

A: 下記の32星座を収録しております。

小熊座・蛇使い座・牡牛座・ヘルクレス座・ケフェウス座・アンドロメダ座・蟹座・オリオン座・うみへび座・乙女座・はくちょう座・りゅう座・ペガサス座・射手座・牡羊座・うしかい座・魚座・大熊座・琴座・こいぬ座・獅子座・カシオペア座・きりん座・双子座・鯨座・山羊座・水瓶座・さそり座・わし座・天秤座・ぎょしゃ座・おいぬ座

Q: VICS情報／一般情報が取得できません。

A: VICS情報／一般情報は、音声放送と比べて受信できる距離が半減するため、電波が強くなければ受信できません。受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合もあります。また、すべてのFMラジオ放送局でVICS情報、一般情報を放送しているわけではないので、放送状況を確認してください。

オーディオ編

■地上デジタル放送

Q: ワンセグ2の番組は視聴できますか？

A: 視聴可能です。

Q: 走行中、TVを見ることはできますか？

A: 安全運転のため、走行中に前席でTVを見ることはできません。後部座席用モニターではテレビ・ビデオを見ることが可能です。

**Q: 地上デジタル放送受信時に表示される
[系列局] ボタンとはなんですか？**

A: 走行中に受信状態が悪くなった場合などに、中継局／系列局を探し出してチャンネルを切り替えるボタンです。始めに中継局をサーチし、中継局がなければ次に系列局をサーチします。

■DVD

**Q: 地上デジタル放送の番組を録画した
DVD-R/RWは再生できますか？**

A: 可能です。ただし、VRモードで録画されたCPRM対応のDVD-R/RWに限ります。

■SDカード／USBメモリー

Q: MP3、WMAの作成方法を教えてください。

A: Windows Media Player 11でMP3やWMAを作成する方法の資料をWindows XP版とWindows Vista版で作成しました。下記の場所から作成資料をダウンロードしてお試しください。
http://www.clarion.com/jp/ja/files/support/faq/WMP11_MP3_WMA.pdf

Q: SDカードに音楽を入れる時の注意点を教えてください。

A: 使用できるメモリーカードは、SDメモリーカードとSDHCメモリーカードとなり、対応可能な圧縮オーディオはMP3、WMAのみとなります。
詳しくはP.130をご覧ください。
※ iTunesで購入した音楽は再生できません。
※ SDオーディオには対応していません。
※ 著作権保護された音楽は再生できません。

Q: SDカードから音楽データをコピーしたいのですが。

A: 著作権保護のためできない仕様になっています。

Q: SDカードやUSBメモリーに入れた音楽が再生できません。

A: 仕様上、2階層目にアルバムフォルダー、3階層目に音楽ファイルを作成しないと認識できません。
簡単な方法として、何かひとつフォルダーを作成して頂き、その中にアルバムフォルダーを入れれば2階層目になり認識いたします。

詳しい作成方法につきましては、Windows Media Player 11でMP3やWMAを作成する方法の資料をWindows XP版とWindows Vista版で作成しました。下記の場所から作成資料をダウンロードしてお試しください。
http://www.clarion.com/jp/ja/files/support/faq/WMP11_MP3_WMA.pdf

■CD

Q: CD-Rが再生されません。

A: CD-Rの適合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に影響されます。ディスク上に凹凸のデジタル信号を書き込みますが、書き込みの深さ、幅(面積)などの規格が合わないと再生できないケースがあります。書き込み速度を遅くすると、安定して書き込みますので、一番遅い速度での書き込みをお勧めいたします。

困ったときに：

■MUSIC RACK

Q: 「MUSIC RACK」って何ですか？

A: CDに入っている音楽を本機に録音、再生する機能です。ジュークボックス的な機能とお考えください。

Q: 録音できる曲数は？

A: 最大1000曲です。ただし、録音する曲の長さなどにより、曲数は変化します。アルバム数は200以内、アルバム中の曲数は99曲以内の制限があります。

Q: 気に入ったアルバムだけ聴きたいのですが。

A: 「アルバム・トラックを選ぶ」(P.139) をご覧になり、お好みのアルバムを選んで再生してください。

Q: 録音したアルバムのタイトルが表示されず、録音した日時が表示されます。

A: CD データベースに該当するアルバムの情報がありません。パソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター S」を使用して最新の情報に更新してください。または、編集メニューの「情報編集」で手動で入力できます。

Q: 実際の曲名と表示される曲名が違う。

A: SDカードにトラック情報を書き出し、パソコンからGracenoteサーバーにアクセスしてください。そこで候補アルバムから正しい曲名を選択し、SDカードに保存し、その情報を本機に取り込んでください。
この方法でも曲名が違う場合は、トラック情報編集で各トラックの情報を入力してください。

Q: 録音中に **メモリーカード** または **MUSIC RACK** を選択すると、録音を停止してよいか確認するコーションが出る。

A: 録音中に、SDカードまたはMUSIC RACKの再生は行えません。録音を停止するか、録音が終了するまでお待ちください。

Q: ランダムおよびリピート再生は、エンジンを切ったら解除されますか？

A: エンジンを切っても保持されます。

Q: ノンストップCDを録音したが曲が途切れます。

A: 仕様です。ノンストップCDを録音し再生している場合、トラックとトラックの間に2～3秒の無音部分が発生します。

■iPod

Q: iPodのバッテリーは充電はできますか？

A: iPodをUSB端子につなぐと、iPodを再生しながら充電が可能です。バッテリーがなくなることはありません。

その他編

■電話

Q: 「登録機種が10台になりました。」とメッセージが表示されました。どうすればよいですか？

A: 本機に登録できる電話は10台までです。さらに電話を登録したい場合は、既に登録された電話の設定を消す必要があります。「登録情報を削除する」(P.73) をご覧になり、電話の設定を消し、再度電話の登録を行ってください。

Q: 登録機器リストで本機と携帯電話を接続する方法として、「ナビから電話機を探索して登録する」と「電話機からナビを探索して登録する」の2種類があります。どちらを使うのがよいでしょうか。

A: どちらでもかまいません。本機と携帯電話のどちらからパスキーを送信するかの違いです。「ナビから電話機を探索して登録する」は本機から、「電話機からナビを探索して登録する」は携帯電話から、パスキーを送信することになります。携帯電話からのパスキーの送信・受信方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

Q: 自分で消していないのに、発着信履歴が消えてしまいました。

A: 複数の電話を登録し、携帯電話の接続を切り替えると、切り替える前に接続していた携帯電話の発着信履歴は消えてしまいます。

Q: 着信中に着信音量を設定しようと▲または▼を押しましたが、着信音量が変わりません。

A: 着信音量は、VOLキーでは変わりません。「電話の設定をする」(P.82)をご覧ください。「着信音量」の設定を変えてください。

Q: 電話がかかってきたら、自動的に電話に出ることはできますか？

A: 「電話の設定をする」(P.82)をご覧ください。「自動応答」の設定を「する」にしてください。

Q: 操作が正常にできない。表示されない。

A: 携帯電話により、接続応答を返さず通信異常が発生する場合があります。携帯電話機の電源をOFF→ONまたは、「電話の設定をする」(P.82)をご覧ください。「Bluetooth電源」のOFF→ONを行ってください。

Q: 相手の電話機からこちらの声が聞こえない。

A: マイクの接続を確認してください。プライベートONの場合、プライベートOFFにしてください。

Q: 通話相手から聞こえづらいといわれた。

A: マイク感度の設定を調整してください。

Q: 発着信・通話中、スピーカーから異常な音が出力される。

A: 携帯電話の充電が少ない場合、異常な音が出力される場合があります。携帯電話を充電してください。

Q: 「自動接続」を「する」にしているのに電話が接続されません。

A: Bluetoothオーディオ接続中は、携帯電話の自動接続を行いません。手動で接続してください。手動で接続を行うと、接続が確立するまでBluetoothオーディオの音声が届かなくなることがあります。電話が接続できないときは、いったんBluetoothオーディオの電源をOFFにしてください。

Q: 走行中に電話をかけることはできますか？

A: 走行中はリダイヤル、着信履歴からのみ発信できます。安全上の配慮より、ダイヤル、電話帳、発信履歴からは電話をかけることはできません。なお、「自動応答」(P.82)を「する」に設定しておくと、着信から8秒後に自動でつながります。

Q: 携帯電話へ着信しても、着信状態になりません。

A: internavi接続中は、ハンズフリー機能は動作しないため、着信しません。通信が終了するまでお待ちいただくか、通信を中止してください。

よくある質問について (Q&A)

Q: Bluetooth携帯電話は、登録した携帯電話全部を同時に使用できますか？

A: ペ어링可能な携帯電話の登録は10台ですが、使用できる電話は1台のみとなります。他の携帯電話を使用する場合には、登録電話機一覧から使用したい電話に切り替えてご使用ください。

■画面表示

Q: 画面を時計表示にできますか？

A: 画面全体を時計と日付の表示にすることが可能です。詳しくは「**画面の表示を消す／時計画面にする**」(Q-P.41) のアドバイスをご覧ください。

■リアカメラ

Q: リアカメラの明るさを調整できますか？

A: 可能です。詳しくは「**画質を調整する**」(P.213) をご覧ください。

Q: リアカメラの映像は、リア席モニターに映りますか？

A: リアカメラの映像はナビゲーション本体のみ映り、リア席モニターには映りません。

■その他

Q: 赤外線カットおよびUVカットのフロントガラスに、フィルムアンテナを取り付けても大丈夫ですか？

A: 赤外線カットガラスは、通常は電波を通しません。しかし最近では電波透過型IRカットガラスもあり、電波を受信できるものがあります。詳しい内容については販売店にご確認ください。

エラーメッセージ一覧

■画面にこんなメッセージが出たら

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法に従って障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。



- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態では使用しないでください。



- 以下の処置を行う場合は、車を安全な場所に止めてから行ってください。
- 以下の処置を行ってもまた同様のメッセージが表示されるときには、お買い求めの販売店にご相談ください。

	エラー表示	原因	処置
C D / D V D / M P 3 / W M A	MECHANISM ERROR	メカニズムに障害が生じている。	ディスクを再度挿入し直すか、電源を入れ直してください。
	DISC ERROR	ディスクの向きが逆にセットされている。	ディスクを交換してください。 または、もう一度ディスクを挿入し直してください。
		再生可能なファイルが存在しない。	
		ブランクCD-R、DVD-Rがセットされている。	
		MIX MODE CDがセットされている。	
	CD-DA以外のCD（オーバー バーンCDなど）がセット されている。	ディスクが正しくセットされ ていない。	ディスクを取り出してください。 ディスクを正しく挿入してくだ さい。
	FOCUS ERROR ディスクを確認して ください。	ディスクの傷などにより、 フォーカスが合わない。	ディスクを交換してください。
	FORMAT ERROR このディスクは再生 できません。	デッキ内のディスクに傷など があり、再生できない。	ディスクを交換してください。
		ディスクのデータフォーマッ トに不正がある。	
		再生できないメディアがセッ トされている。	
	DSP ERROR	録音が継続できない。	再度録音の操作をしてください。

困ったときに…

エラーメッセージ一覧

	エラー表示	原因	処置
CD / DVD / MP3 / WMA	WRONG REGION このディスクは再生できません。	挿入されたディスクのリージョンが設定と一致しない。	ディスクを交換してください。
	DISABLED FILE	拡張子が「.MP3 / .WMA」で、中身が再生できない形式（DRM含む）でファイルが保存されている。	ディスクを交換してください。
	PARENTAL VIOLATION ディスクを抜いてパレンタルレベルを変更してください。	設定されているパレンタルレベルより制限が厳しいコンテンツである。	「パレンタルレベルを設定する」(P.123) をご覧になり、パレンタルレベルを変えてください。
SD カード	ACCESS ERROR	以下のいずれかの状態です。 ・SDカードと通信ができない ・SDカードが正しいフォーマットでない ・認識できるSDカードではない	SDカードを交換してください。
	NO FILE	SDカードにMP3 / WMAファイルが入っていない。	SDカードにMP3 / WMAファイルを入れてください。
	DSP ERROR	再生が継続できない。	他のモードに切り替え再度SDカードを選択してください。
MUSIC RACK	SCMS ERROR このディスクは録音できません 録音をキャンセルします。	コピー不可ディスクを再生している。	コピー可能なディスクを再生してください。
	DSP ERROR	再生が継続できない。	他のモードに切り替え再度MUSIC RACKを選択してください。

	エラー表示	原因	処置
USBメモリ / iPod	FORMAT ERROR	再生できないメディアを接続している。	再生可能なメディアを使用してください。
	USBを確認してください (E01)	USBハブを接続した。	USBハブは非対応です。使用しないでください。
	USBを確認してください (E02)	通信エラーが発生した。	USBメディアの接続を一旦解除してから、再度接続してください。
	USBを確認してください (E03)	iPod認証エラーが発生した。	iPodを接続し直すか、iPodの接続を解除してiPod本体をリセットしてください。 それでも改善されない場合は、エンジン（アクセサリ電源）をOFFにし、再度ONにしてください。
SSD系	ACCESS ERROR	SSDとの通信ができない。	販売店にご相談ください。
	SSDに異常がみられます、販売店にご相談ください。	SSDが壊れている。	

困ったときに…

Memo

付録

収録データベースについて	256
VICSシステムの問い合わせ先	259
VICS情報有料放送サービス契約約款	260
カントリーコード一覧	261
お手入れ.....	262
仕様.....	263
商標について	265

収録データベースについて

■データ取得日について

本機SSD内の情報は、以下を使用しています。

- ・道路情報 : 2009年9月現在
- ・ハイウェイ情報 : 2009年9月現在
- ・交通規制情報 : 2009年9月現在
- ・イラスト情報 : 2009年10月現在
- ・スマートIC情報 : 2009年9月現在
- ・施設検索情報 : 2009年11月現在 (一部のジャンルは2008年10月現在のものです。)
- ・住所検索情報 : 2009年10月現在
- ・市区町村合併情報 : 2010年4月1日施行分
(2009年10月時点の情報をもとにしています。)
- ・郵便番号検索情報 : 2009年10月現在

※本機SSD内の各情報は、作成日の都合上、現状と異なる場合があります。

■地図データについて

- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース (© 2010 財団法人日本デジタル道路地図協会) を使用しました。
(測量法第44条に基づく成果使用承認 90-063) [2009年3月発行データ使用]
- 新刊地図図更新は2009年9月刊行分を反映しました。
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の2500分の1国土基本図を使用しました。(承認番号) 小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1の都市計画基本図を使用しました。
(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号)
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用しました。
(平成12年 養建第1902号)
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の2500分の1全図を使用し、調製しました。
(承認番号) 平10. 近公. 第34号
- この地図は大木町の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。
(承認番号) 15大木建第734号
- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。
(承認番号) 16堀第5417号
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500使用し、調製したものです。
(承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認)
- この地図は、伊香保町長の承認を得て、平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。
(承認番号) 伊建農発229号 平成17年7月14日承認
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものです。
(承認番号: 18東デ共041号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものです。
(承認番号) 18都市基交 第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用し調製したものです。
(承認番号 平成17年津山市使用承認第5号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものです。
(承認番号) 指令宇都第13号 平成18年5月15日承認
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものです。
(承認番号) 指令宇都第14号 平成18年5月31日承認
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものです。
(承認番号) 周防建設第56号 平成18年5月12日承認
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものです。
(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用し得たものです。
(承認番号 H18東温都第174号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
(承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)

- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものです。
(承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258)
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものです。
(承認番号森第18-10号)
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものです。
(長都政第477号 平成18年3月28日承認)
- この地図は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。
(使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号)
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものです。
(承認番号 18森政第5-5号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものです。
(承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものです。
(承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
(広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
(承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認)
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
(承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認)
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものです。
(承認番号 18林第492号 (平成18年10月6日))
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものです。
(承認番号 森整第993号・平成19年2月14日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものです。
(承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。
(承認番号林18-1 平成18年12月5日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。
(承認番号林18-2 平成19年3月7日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。
(承認番号 使18-1号 平成18年12月8日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。
(承認番号 使18-3号 平成19年3月8日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。
(承認番号 平18 林振第360号)

- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものです。
(承認番号) 平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものです。
(承認番号 平19総使、第24号-11号)
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。
(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認 平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものです。
(承認番号 平19総使、第247号-11号)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものです。
(承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947)
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものです。
(承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものです。
(承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものです。
(承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。
(承認番号 平19 林振第404号)
- この地図は、東根市長の承認を得て同市保管の東根市道路台帳図を用い調製したものである。
(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)

© 2010.財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2010.INCREMENT P CORP.

交通規制データについて

- 本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

■検索データについて

- 施設検索データは以下のデータを元に作成されています。
 - ・ NTTタウンページデータ
 - ・ INCREMENT P株式会社提供のデータ
 - ・ 日本観光協会提供のデータ
 - ・ 株式会社昭文社提供のデータ
- NTTタウンページデータなどの元データそのものが間違っている場合、間違った位置を表示する事があります。また、住所番地が広大な場所や、元のデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示される事があります。
- 施設検索データは、その施設の住所位置（中心位置）を表示しますので、そのままルート設定をした場合、必ずしも入口や、駐車場までの案内にはなりません。

■注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図あるいは検索データが現状と異なることがあります。ご了承ください。
- 自然災害による道路形状の変更等につきましては対応いたしかねます。
- 本品で表示される地図や検索結果データの内容が、誤字・脱字・位置ずれなど、現状と異なることがあっても、商品の取り替えや代金の返却は致しませんのであらかじめご了承ください。
- 本品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求などにつきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本品を弊社に無断で、複製・複写・加工・解析・業務上での使用や第三者への有償での譲渡・貸与を禁じます。またネットワークや他の方法などで複数の機器での同時使用を禁止します。
- 本品の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品に収録されている地図データ及び検索データ等、収録内容に誤りが発生する場合や調査時期によっては、新しい情報が反映されていない場合等、実際の地形と異なる場合があります。ご了承下さい。

■ジャンル検索リスト

大分類の項目と、そのジャンルに分類される中・小分類の例です。

大分類	内容・例
交通機関	交通に関する施設です。→駅・空港・フェリー乗り場
カー&ドライブ	車に関する施設です。→ガソリンスタンド・駐車場・カーディーラー・カー用品店など
遊ぶ・見る	レジャーに関する施設です。→レジャーランド・観光ポイントなど
食べる・飲む	食事に関する施設です。→おすすめのグルメ情報・ファミリーレストランなど
泊まる	旅行・宿泊に関する施設です。→ホテル・旅館・ペンションなど
お店	各種のお店です。→コンビニ・スーパー・ホームセンターなど
公共施設	公共の施設です。→役所・学校・図書館など
医療	各種病院や薬局です。→総合病院・内科・小児科など
金融機関	お金に関する施設です。→都市銀行・信用金庫など
その他	その他の施設です。→結婚式場・葬儀場など

VICSシステムの問い合わせ先

VICSは、受信した内容をそのまま表示するレベル1（文字情報）、レベル2（図形情報）の表示と、ナビゲーション機器が地図上に表示するレベル3を提供するサービスです。表示内容のお問い合わせについては以下のVICSセンターへ、その他の内容に関連するお問い合わせについては、弊社「お客様相談室」（連絡先は裏表紙をご覧ください）にご連絡ください。問い合わせ先は次のようになります。

問い合わせ項目	問い合わせ先	(株) ホンダアクセス お客様相談室	VICSセンター
VICSの概念、計画		—	○
レベル1（文字情報）の表示内容		—	○
レベル2（図形情報）の表示内容		—	○
レベル3（地図上に表示される情報）の表示内容		—	○
情報のサービスエリア		○	—
受信の可否		○	—
ナビゲーション機器の調子、機能、使いかた		○	—

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは（財）VICSセンターにお問い合わせください。

■（財）VICSセンター

電話番号：0570-00-8831

※PHSからはご利用できません。

受付時間：9:30～17:45（土曜、日曜、祝祭日を除く）

FAX番号：(03) 3592-5494（東京）

受付時間：24時間

●インターネット・ホームページ

<http://www.vics.or.jp/>

VICSリンクデータベースの著作権について

VICS情報のデータの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しております。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総 則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICSサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICSサービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICSデスクランプラー

FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約 約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランプラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランプラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができますものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICSデスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICSデスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条

1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条

1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条

1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されているので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の間隔を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 315円（うち消費税15円）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

カントリーコード一覧

国名	国コード	入力番号
ALBANIA	AL	6576
ANDORRA	AD	6568
AUSTRIA	AT	6584
BAHRAIN	BH	6672
BELGIUM	BE	6669
BOSNIA AND HERZEGOWINA	BA	6665
BULGARIA	BG	6671
CROATIA (local name:Hrvatska)	HR	7282
CYPRUS	CY	6789
CZECH REPUBLIC	CZ	6790
DENMARK	DK	6875
EGYPT	EG	6971
FINLAND	FI	7073
FRANCE	FR	7082
FRANCE, METROPOLITAN	FX	7088
GERMANY	DE	6869
GREECE	GR	7182
HUNGARY	HU	7285
ICELAND	IS	7383
IRAN (ISLAMIC REPUBLIC)	IR	7382
IRAQ	IQ	7381
IRELAND	IE	7369
ISRAEL	IL	7376
ITALY	IT	7384
JAPAN	JP	7480
JORDAN	JO	7479
KUWAIT	KW	7587
LEBANON	LB	7666
LESOTHO	LS	7683
LIECHTENSTEIN	LI	7673
LUXEMBORG	LU	7685
MACEDONIA, THE FORMER YUGOSLAV REPUBLIC OF	MK	7775

国名	国コード	入力番号
MALTA	MT	7784
MONACO	MC	7767
NETHERLANDS	NL	7876
(NETHERLANDS ANTILLES)	AN	6578
NORWAY	NO	7879
OMAN	OM	7977
POLAND	PL	8076
PORTUGAL	PT	8084
QATAR	QA	8165
ROMANIA	RO	8279
SAN MARINO	SM	8377
SAUDI ARABIA	SA	8365
SLOVAKIA (Slovak Republic)	SK	8375
SLOVENIA	SI	8373
SOUTH AFRICA	ZA	9065
SPAIN	ES	6983
SWAZILAND	SZ	8390
SWEDEN	SE	8369
SWITZERLAND	CH	6772
SYRIAN ARAB REPUBLIC	SY	8389
TURKEY	TR	8482
UNITED ARAB EMIRATES	AE	6569
UNITED KINGDOM	GB	7166
Vatican City State	VA	8665
YEMEN	YE	8969
YUGOSLAVIA	YU	8985
FAROE ISLANDS	FO	7079
GIBRALTAR	GI	7173
GREENLAND	GL	7176
SVALBARD AND JAN MAYEN ISLANDS	SJ	8374

付録

お手入れ

本機や、CD・DVDなどディスク類のお手入れについて説明します。

ディスクのお手入れ

大切なディスクはきちんとお手入れして、長く楽しみましょう。

- ・ディスクが汚れたときは、やわらかい布でディスクの内側から外側に向かって、よく拭いてください。
- ・レコード用のクリーナー液やアルコールは使用しないでください。
- ・DVD/CD専用クリーナーは使用できますが、その場合はよく乾燥させてからお使いください。
- ・ディスクは次のような場所には保管しないでください。
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・湿気やホコリの多い場所
 - ・暖房の熱が直接当たる場所

本体のお手入れ

本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

- ・本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量つけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。



- ※ ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長期間接触させておくと、シミのつくことがあります。
- ・タッチパネルに保護シートを貼らないでください。誤動作する場合があります。
- ・液晶表示部は、ホコリがつきやすいので、ときどきやわらかい布でふいてください。



TVアンテナのお手入れ

- ・フロントウィンドウ（室内側）をお手入れする際は、アンテナを柔らかな布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- ・一度貼り付けたアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。

仕様

ナビゲーション部

受信周波数 : 1575.42MHz
C/A コード
感度 : -143dBm
チャンネル数 : パラレル12チャンネル

LCD モニター部

画面寸法 : 7型
(156.2mm×82.3mm)
表示方式 : 透過型TN液晶パネル
駆動方式 : TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス駆動方式
画素数 : 336,960画素
480×3 (RGB) ×234

CD プレーヤー部

周波数特性 : 20Hz ~ 20kHz
SN比 : 75dB
高調波ひずみ率 : 0.05% (1kHz)

DVD プレーヤー部

周波数特性 : 20Hz ~ 20kHz
SN比 : 75dB
高調波ひずみ率 : 0.05% (1kHz)

FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz ~ 90.0MHz
実用感度 : 8dBf (IHF)

AMチューナー部

受信周波数 : 522kHz ~ 1,629kHz
実用感度 : 30dBμV

オーディオ部

定格出力 : 16W×4 (10%、4Ω)
瞬間最大出力 : 45W×4
適合インピーダンス : 4Ω

共通部

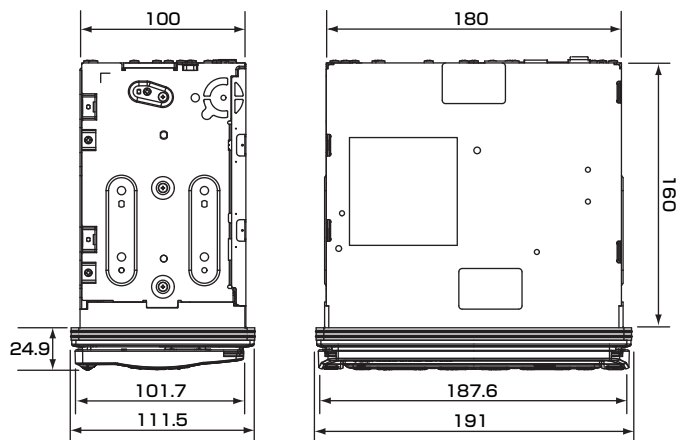
電源電圧 : 14.4V
接地方式 : マイナス接地
消費電流 : 約4A (1W出力時)

Bluetooth部

受信周波数 : 2402MHz ~ 2480MHz
(1MHzステップ)
感度 : -73dBm以下

構成内容

外形寸法図（本体）



※ これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

商標について

●本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、ロヴィ コーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁じられています。

●本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。それらの一部にはMPL (Mozilla Public License) のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。ソースコードの入手およびMPLについては以下のWEBサイトをご覧ください。
<http://www.clarion.com/jp/ja/products/navigation/mpl/index.html>

その他、本機には以下のソフトウェアモジュールを使用しています。

・Independent JPEG Group

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



● はDVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。

●「SDHCメモリーカード」「SDメモリーカード」「miniSD™」「microSD™」はSDカードアソシエーションの登録商標です。



●マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。



●GracenoteおよびCDDDBは、グレースノート社の登録商標です。Gracenoteロゴ、ロゴ標記、および「Powered by Gracenote」ロゴはグレースノート社の商標です。



●VICSは、(財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。



●「マップクリップ」はインクリメントP株式会社の登録商標です。

●「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●「iMapFan」および「ケータイ地図Map Fan」はインクリメントP株式会社の登録商標です。

●「タウンページデータベース」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

●「ATRAC3」および「ATRAC3」ロゴは、ソニー株式会社の商標です。



●「Made for iPod」とは、iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

iPod および iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。



●Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有物であり、クラリオン(株)は許可を受けて使用しています。



付
録

Gracenote[®] Music Recognition ServiceSMについて

Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ：copyright © 2000 to present Gracenote.
Gracenote Software, copyright © 2000 to present Gracenote.

本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。

Gracenote、CDDb、MusicID、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote”ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

※本機のデータベースは、2010年2月時点のものです。



Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

索引

Q: クイックガイド

あ

アーティスト名検索… 139
アイコン・名称変更… 28
アイコン設定… 168
アイコン表示… 181
愛称の変更… 28
明るさ… 194
明るさ (画質調整) … 195
アッテネート… 175
アルバム削除… 143
アルバム情報
(MUSIC RACK)
…………… 142
アルバム情報
(データ編集) …… 221
アルバム情報の更新… 221
アルバム情報の編集… 142
アルバム並べ替え… 143
アルバムリスト… 139
アングルの切り替え… 117

い

位置調整… 44
一般道交通情報… 52
一般優先… 35
一方通行… Q-80
一方通行表示… 171
緯度・経度検索… 25
イベントリレー自動選局
…………… 107
色合い… 195
色濃度… 195

う

迂回計算… 35

え

エリア切り替え (ラジオ)
…………… 89

お

オーディオON/OFF
…………… Q-82
オーディオ設定… 191
オートスケール… Q-72
オートプリセット
(テレビ) …… 101
オートプリセット
(ラジオ) …… 87
オートリルート… 173
オープニング画面
(データ編集) …… 222
オープニング画面の設定
…………… 198
お気に入り… Q-61
お気に入り検索… Q-61
お気に入り登録… Q-62
お好み一括検索… 18
お好み最短検索… 18
お好み最短リストの登録
…………… 17
お知らせ設定… 62
音と音声設定… 175
音質の設定… 191
音声案内… 175
音声案内アイコン選択
…………… 175
音声ガイド… 181
音声切替… 106
音声言語… 120
音声の切り替え… 117
音声を鳴らす距離… 175
音量設定… 176
音量調整… Q-83

音量バランス… 192

か

カーソル表示… 184
カード入れ忘れ警告… 181
ガイドライン表示… 214
開閉ボタン… Q-40
拡大… Q-71
画質調整… 195
画質調整 (リアカメラ)
…………… 213
カスタムボタンの割付
…………… 185
画面ON / OFF …… Q-41
画面サイズ切替… 116
画面設定… 165
関係者以外立ち入り
禁止区間… Q-74
カントリーコード… 123

き

キーワード検索… 15
軌跡設定… 170
軌跡の間隔… 170
軌跡の消去… 170
軌跡の表示… 170
軌跡マーク… 170
緊急情報… 56, 59
緊急放送… 105

<

区間設定… 39
グラフィックEQ …… 191
グループ選択… 28
グループ名称変更… 29

け

計算時に地点登録…… 184
 計算条件……Q-66, 37
 経由地の削除…… 44
 経由地の追加…… 42
 経由地の並べ替え…… 43
 系列局自動サーチ…… 108
 経路情報…… 48
 経路色…… 165
 現在地ボタン……Q-44
 検索アイコン消去…… 16
 検索アイコンの表示…… 168
 検索結果画面表示…… 30

こ

広域ボタン……Q-48
 交差点案内……Q-70
 交差点表示……Q-71
 高速道交通情報…… 52
 高速道路の案内表示……Q-73
 交通情報…… 60
 候補を表示……Q-120
 コード……Q-65
 コーナーカメラ…… 215
 コーナーカメラ設定…… 184
 ここに行く……Q-64
 個人情報初期化…… 108
 コントラスト…… 195
 コントロールバー自動消し
 …… 184

さ

サーチ…… 113
 再音声…… 49
 細街路案内……Q-74
 再計算…… 35
 再生停止……Q-100

サブチャンネル…… 92

し

時刻/日付表示…… 165
 自車位置の精度…… 231
 自車位置の調整…… 185
 自車位置マーク
 ……Q-45, 165
 自車周辺検索…… 19
 施設情報…… 31
 施設名称入力検索……Q-57
 施設名称入力検索
 (ハイウェイ)…… 25
 自宅登録……Q-52
 自宅へ戻る……Q-53
 自宅編集…… 183
 視聴制限の設定…… 121
 シティモード……Q-77
 シティモード自動切替
 …… 171
 自動応答…… 82
 自動選局 (テレビ) ……Q-94
 自動選局 (ラジオ) ……Q-90
 自動録音…… 137
 字幕言語…… 120
 字幕の切り替え…… 117
 字幕表示…… 107
 車速連動音量設定…… 193
 シャッフル再生 (iPod)
 …… 154
 車輛設定…… 187
 ジャンル検索…… 14
 ジャンル検索リスト…… 258
 住所検索……Q-54
 渋滞考慮計算…… 177
 渋滞情報…… 48
 周波数設定…… 179
 周辺検索メニュー…… 16

受信バンド (テレビ)
 …… 99

受信バンド (ラジオ)
 …… 86

手動選局 (テレビ)
 ……Q-94

手動選局 (ラジオ)
 ……Q-90

手動録音…… 138

詳細ボタン……Q-48

状態表示…… 124

情報メニュー…… 52

初期設定 (DVDビデオ)
 …… 118

所要時間…… 56, 59

す

スキャン再生
 (CD・MP3・WMA)
 …… 133

スキャン再生 (DVD)
 …… 115

スキャン再生
 (MUSIC RACK)
 …… 141

スクリーン設定…… 196

スクリーンデータ
 (データ編集)…… 226

スクロール位置情報表示
 …… 165

図形情報…… 56, 59

スロー再生……Q-100

せ

設定/情報ボタン
 ……Q-26, Q-28

設定とメモリの初期化…… 82
 選局 (テレビ)…… 102

索引

選局（ラジオ）	88
センサーの学習リセット	186
全選択	Q-127
選択演奏（iPod）	153
選択演奏 （MUSIC RACK）	140
全ルート表示	46

そ

操作音出力	175
操作パネル	Q-36
操作パネルの開閉	Q-40
操作パネルの角度調整	Q-40
ソースの切り替え	Q-83
その他メニュー	22

た

立寄地	21
タッチパネルの操作	Q-117

ち

地域設定	108
遅延補正	107
地上デジタル放送の設定	107
地図（交差点表示）	Q-72
地図色	166
地図を拡大／縮小	Q-48
地図のスクロール	Q-50
地図の向き	Q-49
地図凡例	Q-132
地図表示選択	166

地図表示タイプ切替 （OPTIONボタン）	190
地図表示の種類	Q-75
地図表示の変更	Q-75
地点登録	Q-59
地点メニュー画面	Q-65
地名入力検索	Q-56
着信音量	82
着信履歴	77
注意警戒情報	59
駐車場ニアピン	19
駐車場リレー検索	20

つ

次の案内	48
------	----

て

ディスクメニュー再生	113
データの消去	200
データ編集	220
データ放送	104
デジタル放送	93
デモ走行	47
テレビ	Q-91, 91
電源ON/OFF	Q-39
電話受信	81
電話設定	82
電話帳	78
電話番号検索	14
電話番号変更	28

と

到着予想自動設定	173
到着予想速度設定	174

登録アイコン文字表示	168
登録地情報	Q-65
登録地点（データ編集）	224
登録地点編集	184
登録地の位置調整	28
登録地の音声案内変更	28
登録地の削除	29
登録リスト	Q-59
登録リスト検索	Q-58
登録リスト編集	Q-60, 28
道路名検索	23
特別設定	188
時計画面表示	Q-41
時計画面表示 （OPTIONボタン）	190
時計表示	107
トラック削除	144
トラック情報 （CD・MP3・WMA）	134
トラック情報（iPod）	155
トラック情報の編集	144
トラックリスト （CD・MP3・WMA）	131
トラックリスト（iPod）	152
トラックリスト （MUSIC RACK）	139

な

ナビゲーション コントロールバー	Q-46
---------------------	------

ナビ設定…………… 164

の

ノイズコンシールメント
…………… 108

は

ハイウェイ検索…………… 22
ハイウェイモード…………… Q-78
ハイウェイモード自動切替
…………… 171パスワードの消去…………… 122
パスワードの編集…………… 122
発信履歴…………… 78パラエティボイス…………… 175
パレンタルレベル設定
…………… 123番組内容…………… Q-94
番組表…………… 97番号指定再生
(CD・MP3・WMA)
…………… 132番号指定再生 (iPod)
…………… 152

販売店情報…………… 64

ひ

ビーコンVICS情報…………… 57
左地図角度調整…………… 172
左地図設定…………… 171
表示先周辺検索…………… 19
昼画面…………… 194

ふ

フォルダリスト
(MP3・WMA) …… 131複数計算…………… 36
プリセットチャンネル
(テレビ) …… 99
プリセットチャンネル
(ラジオ) …… 86
プレイリスト…………… 114
フロントカメラ…………… 215
フロントカメラ設定…………… 184
分岐図…………… Q-79

へ

ペアリング…………… 71

ほ

方位マーク…………… Q-49
放送局の登録 (テレビ)
…………… 100
放送局の登録 (ラジオ)
…………… 87
放送局名の編集…………… 88
放送メール…………… 109
方面看板表示…………… 173
ポータブルオーディオ
…………… 208
本体情報…………… 82
本体ブザー音…………… 181

ま

マイク感度…………… 82
マップコード検索…………… 26
マルチチャンネル…………… 92
マルチメーター表示…………… 167
マルチメーター表示
(OPTIONボタン)
…………… 190

み

右地図角度調整…………… 172
右地図設定…………… 171

め

メインチャンネル…………… 92
メディアの出し入れ…………… Q-84
メニュー言語…………… 120
メモリーカード内の
登録地編集…………… 225
メンテナンス情報…………… 62

も

目的地解除…………… 45
目的地検索…………… Q-54, 12
目的地自宅設定
(OPTIONボタン)
…………… 190
目的地周辺検索
(周辺検索) …… 19
目的地周辺検索
(ハイウェイ) …… 24
目的地表示…………… 48
目的地ボタン…………… Q-24
目的地メニュー …… 13
文字種類の切り替え
…………… Q-120
文字情報…………… 56, 59
文字情報表示…………… 177
文字の入力…………… Q-118
文字パネル…………… Q-118
モニターサイズ切り替え
…………… 119
最寄りの入り口…………… 24

索引

ゆ

優先エリア切替…………… 108
誘導画面の種類…………… 173
誘導情報…………… 49
誘導設定…………… 173
郵便番号検索…………… 26
有料優先…………… 35

よ

夜画面…………… 194

ら

ラジオ…………… Q-87, 85
ランダム再生
 (CD・MP3・WMA)
 …………… 133
ランダム再生
 (MUSIC RACK)
 …………… 141
ランドマーク…………… Q-133
ランドマーク (VICS情報)
 …………… Q-136
ランドマークの表示… 169

り

リアカメラシステム… 212
リア席モニター …… 211
リストから再生
 (CD・MP3・WMA)
 …………… 131
リストから再生 (DVD-VR)
 …………… 114
リストから再生 (iPod)
 …………… 152

リストから再生
 (MUSIC RACK)
 …………… 139
リストから発信…………… 80
リストの絞り込み… Q-123
リストのスクロール
 …………… Q-122
リストの選択／解除
 …………… Q-127
リストの操作…………… Q-122
リストのタブ切り替え
 …………… Q-122
リストの並べ替え… Q-128
リストの表示方法… Q-129
リダイヤル…………… 77
リピート再生
 (CD・MP3・WMA)
 …………… 133
リピート再生 (DVD)
 …………… 115
リピート再生 (iPod)
 …………… 154
リピート再生
 (MUSIC RACK)
 …………… 141
リモコン…………… 204
履歴検索…………… 15

る

ルート…………… Q-64, 34
ルート案内…………… Q-64
ルート案内中の案内表示
 …………… Q-70
ルート案内中の音声案内
 …………… Q-67
ルート案内中の地図画面
 …………… Q-68
ルート確認…………… 46
ルートサイド検索…………… 21

ルート編集…………… 40

れ

レーン表示…………… 173

ろ

録音…………… Q-109
録音設定…………… 137

わ

ワンセグ…………… 92
ワンセグ自動切替… 107

A

AUDIOボタン …… Q-33
AV画面での割込み … 173
AVコントロールバー
 …………… Q-47
AV操作キー
 …………… Q-45, Q-47

B

B-CASカード …… 94
B-CASカードのID情報
 …………… 110
Bluetooth …… 69
Bluetoothオーディオ
 …………… 157

C

CD …… Q-101, 125
CD-TEXTの優先表示
 …………… 134

D

DVD-VR Q-95, 111
 DVDビデオ Q-95, 111

E

EPG 97
 ETC警告表示 66
 ETC情報 65
 ETC設定 181
 ETC予告案内 66
 ETC料金案内 66
 ETC履歴 67
 ETCレーン図 Q-80
 ETC割り勘 68
 ETC割り込み時間 182

F

FM VICS情報 53
 FM文字多重放送 55

G

GPS情報 186
 GPS測位状態 Q-44

I

iPod Q-113, 149
 iPodビデオ
 Q-113, 149

L

LOUDNESS 191

M

MP3 Q-101, 125
 MUSIC RACK
 Q-107, 135

N

NAVI操作キー
 Q-44, Q-46

O

OPTIONボタン 190

Q

QRコード 32

S

SA/PA図 Q-79
 SA/PA図のマーク
 Q-135
 SDカード 219
 SDカード地点検索 27
 SSD情報 61

T

TAG情報の優先表示
 134

U

USBメモリー 145

V

VICSアイコン情報表示
 177
 VICS情報画面 Q-51
 VICS情報更新の通知
 177
 VICS設定 177
 VICS表示項目選択 179
 VICS割り込み時間 180
 VIEWキー Q-75
 VIEW設定 171
 VTR機器 208
 VTR接続設定 210

W

WMA Q-101, 125

数字

12セグ 92
 2D地図 Q-76
 2画面 Q-76
 3D地図 Q-76
 3Dマップ星座表示 167
 50音並び 184

Memo

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎ 0120-663521

(受付時間 9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く)

販売元	株式会社 ホンダ [®] アクセス	〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号
製造元	クラリオン株式会社	〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2



280-8936-00

PART NO.08A40-2M0-4010-8A
2010/5 Printed in Japan